

此の頃精衛兄よりの來信に據れば、東京の事につきて問ひ合せ來りたる閣下の十一月二十六日附の電報に對する弟よりの返電に不明なる所あり。之が爲に閣下に釋然たらざる點有り云々と有り。査するに十一月二十六日精衛より來電あり。其の文に謂ふ「暹電は已に受取られしや。昨日當地に到着し、鄧と共に各地に赴きて運動せり。今乃ち無聊に居り、且つ未だ返書を得ず。歸來せんと欲す。方法如何に關し詳電ありたし」と。弟は此の電報に接したる時、精衛自らが新架坡に於て無聊に苦しみつつあるを述べたるものにて、他の人を指したるものには非らざるべしと思考せり。

蓋し弟は先きに十一月十二日會つて一電を精衛に致したるが、其の文に謂ふ『日本より來翰あり「是非一人を派し、歸東して新聞の事に當らしめられたし」とあり。仍つて克展兄と詳議し「新聞の方は公等に於て勉めて之を支持せよ。精衛は陽曆年末の頃歸東すべし」と返電し置けり。資金調達の状態につきて返電ありたし』と。従つて二十六日の來電に所謂「歸東せんとす、方法如何」なる語も精衛自身の歸東と、新聞事務整理竝に東京の團體維持の方法に關するものなりと考へ、仍つて遂に精衛に復電して「各地歴訪の中止と、資金に關する問題とは、歸來の上重ねて談議すべし。歸東の事につきては、近時複雑なる事情あり。運動とは關係無きを以て

未だ通告せず。兄の事は澁滞し居るを以つて、急を要す」と通達せり。所謂近時複雑なる事情あり、運動とは關係無しとは、西に在つて企圖しつつある事は、複雑にして變幻常無く、進歩甚少く、精衛の經濟的運動を益する能はざることを言へるものにして、此の故に未だ精衛に書を致さざりしなり。然るに精衛より得たる最近の信書により、先きの電報は閣下の爲に問ひ合せたるものにて、原電には「萱久しく無聊に居り、且つ未だ返書を得ず。歸東せんと欲す云云」とあり。萱久しくの二字を誤つて今乃ちとし、之が爲に詞意不明となり、意外なる誤解を生むに至れるを知れり。若し今回の精衛よりの來信に接せざれば、尙此の電報が閣下の爲に發せられたるものなることを知らず。精衛も今尙當方の電文の意味を解するに至らざりしなるべし。然るに此の頃に至り閣下が精衛に代書せしめたる書翰を読み、始めて其の間の事情を明かにするを得たり。東事の失敗の責任は全く許雪秋一人に在り。閣下の任務は速に武器を載んで目的地に運送することにて、此の事に關する限り、完全無闕なりしなり。然るに許氏は事に遇ふや倉皇として偵察し、而も不明にして兵鑑の準備し有るを知らず。無能にして大船を僱用し得ず。斯くて虚偽の報告を爲し（李子蔚の日本船への報告を指す）、爲に已に運送して目的地に到り乍ら、遂に其の武器を用ふることを得ざりしなり。故に其の責任は全く雪秋一人に在るなり。

且つ雪秋は潮州の事もあり、今回の事を加ふれば已に三回の失敗をなし居る譯にて、彼自身條理に乏しき上に、其の左右には李子蔚、林鶴松等の如き才の尤も下劣なるものあり。故に今後は各事とも敢て再び雪秋を信用せざるべし。武器の處置問題及び其の他の事に關する限り、弟は閣下が一度河内に來り、弟と共に面談して其の方法を協議されんことを欲するものなり。故に精衛に打電し「暹羅方面の贖金にして萬に及べば、當に壹、鄧を邀へて共に來るべし」と傳へ置きたるなり。即ち弟は閣下を邀へて東京の武器一件及び其の他の事項を協議せんと欲するものなり。更に資金を待ちつつある所以は、閣下よりの來翰に、吉田等の歸來に對する措置と其の再來とには、均しく數千元以上の資金有るに非ざれば、以つて各般の事を解決するに難しとあるが故なり。精衛の西貢に於ける運動は頗る好成績なりしを以つて、暹羅に於ても亦容易に一萬元を集め得べく、資金にして一度び得らるれば、閣下を邀へて東事の處置方法を協議することを得べく、武器問題も依つて以つて落着けることを得べしと考へゐたるも、精衛が暹羅に到りたる後、集め得たる資金は多額に上らず。仍つて暹羅より新架坡に歸り、十一月二十六日前記の電報を寄越したるものなるが、精衛自身の歸東を意味するものなりと考へ、之に對して返電を發し置きたる所、其の後二日を経て重ねて精衛より來電あり、「萱野は電報を得て歸

東するに決せり」との申越しあり。「此の電報を得て」云々の點につきましては猶疑ひ有り。閣下が別に東京よりの電報を受取りたるものと考へ、其の當方よりの電報なることを悟らざりしなり。故に先きに閣下の新架坡よりの書を受取りたるも、之に對して返書を出さざりしは、萬事は面晤の上會談するに非ざれば適當なる解決を得難しと考へ、暹羅に於ける精衛の資金調達を渴望し、且つ精衛は必ず暹羅より新架坡を経由して河内に歸るべきにより、遠からずして面晤することを得べく、返信を出す迄も無きことと考へたるが故なり。然るに精衛の暹羅に於て集め得たる資金は多額に上らず、彼が新架坡に歸つて數日ならずして、遂に閣下の歸日する旨の電報を受取りたる譯なり。然れども弟は尙東京或は神戸より閣下の歸國を促す旨の來電有りたるものと考へ、之が爲に始めて書を三上君と閣下とに寄せたるなり。從來未だ曾つて返書を出さざりしは、全く以上の如き理由に依るものにして、斷じて閣下の行動を疑ひしが爲に非ず。雪秋の權責は武器を受取りて兵を惠潮に擧ぐるに在り。閣下の權責は武器を輸送して目的地に至るに在り。雪秋既に武器を受取る能はず。其の經營の地點も亦再擧する能はず。従つて事實上其の權責は已に消滅したるものなり。閣下は輸送して目的地に至れるを以つて、完全に責任を盡したるものなるも、重ねて之を日本に回送することとなりたる爲、更に新なる權責を生じ

たる譯なり。而して如何にして日本に輸入し、如何にして引渡すかの問題につきては弟の知能の及ぶ所に非ざるを以つて、唯閣下の今後の報告に聽従すべく、更に弟の急を要する所も亦之に聽き、書面を以て閣下と胡に照會とすべし。

許の行動は阻止すべからざるを以つて、必ず閣下を邀へざる可からず。許氏の言は實を踐まず。彼は出發に當つて「新架坡行きの萱野君の一切の費用は全部之を負擔すべし」と言へるも、胡は之を信ぜず。故に閣下の爲に書を作りて張、陳等に致し、以つて東道者たらしめしなり。即ち其の書には、閣下は許氏と共に來れるものなるも、資金の調達は意の如くならず、武器の輸入と領收とは安全に終りたるときは電報を以つて通知されんことを乞ふと書き送れるなり。現在經濟問題は未だ解決し得ざるも、日本より運送して澳門附近の海上に至り、他人に請負はしめて目的地に到る方法につきて協議しつあり。斯くすれば日本汽船にて重ねて輸送し來るとも何等の危険無く、其の事は比較的容易に行はれ得べし。然れども現在尙未だ何處の地點を途中第一の引渡し場所とするかにつきては協議し居らず。日本に於ける消息を得たる上は、直ちに弟等に打電通告し、如何にして再度の計畫を實行するかを協議するに便せられん事を望む。以上閣下に倚託せる事につき、努力と援助とを賜らば幸甚なり。特に書を寄せ、併せて俠安

を祈る。弟孫文謹啓、十二月二十六日。

七、欽廉の役に鄧澤如へ

——一九〇八年——

1、澤如同志仁兄足下

舊臘、新架坡の同志より兄の醸出せる軍資金一千元を送金し來り、已に領收せり。次で精衛、子瑜兩君の報告書を得、備さに兄の熱心に義を好むを知り、深く感謝せり。

弟鎮南關を攻破して後、廣西の全局を默察して大いに爲す有るを知り、月來圖る所從來に較べて著しく進歩有り。蓋し我軍苦戦八ヶ月なれども、未だ曾つて少しも挺けず。軍心堅定して渙散の憂無く、各郷の人民の革命軍を視ること親友の如し。獨り郷民のみ然りとせず。各團體も亦暗に附和し、軍心と民心とに關する限り、誠に憂ふべきものなく、従つて革命軍の根本は已に立ちたる譯なり。且つ眼前に更に千載一遇の機會有り。即ち廣西邊疆の兵の多くが來降を暗約せるなり。軍興りて以來、虜廷は兩廣の兵を調し、之を欽州、南寧、龍州の三ヶ處に聚め、其の兵數六萬に近かりしも、能く戦ひ得る者は甚少く、客兵は戦に慣れず、巡防の各營は久し

く已に來降の意有り、能く戦ひ得るものは只陸榮廷の部下四千人のみなり。此の四千人は皆千軍萬馬の間を往來せる者にして、現に邊防に當りつつあり。昔日我軍が鎮南關を破れる際、陸榮廷は其の部下の衆を傾けて來戦し、時に我軍僅かに數百人、陸の軍は總計四千人なりしも、相持すること七晝夜に及び、我軍の死者二名、敵の死傷數百に上れり。其の後我軍は欽廉の革命軍と約して十萬大山に到つて相會し、共に南寧を取れるが、陸榮廷の軍は遂に之に口實を得て關を恢復せりと稱せり。而して此の役以來、廣西の各營の兵は悉く風を聞きて膽を寒くし、陸の軍も亦我軍の堅勁に心折せり。我軍中には舊時陸の軍の將士と兄弟の情誼有りし者尠からざるを以て、我軍は百方手を盡して陸の軍の將士に運動し、遂に之が爲に彼等は漸次心を我軍に寄するに至れり。且つ虜朝の人を待つや信無く、我軍が鎮南關を功破せる當時、虜は令を廣西の巡撫、提督及諸統領に下して、十日以内に關を奪回し得ざれば一律に斬首し、若し能く奪回し得ば大賞を與ふべしと言へり。然るに我軍は血戦七晝夜の後關を棄てて前進し、陸の軍は總てを奪回せるも、何等の賞與を與へず。之が爲に全軍の怨みを買ひ、就中陸榮廷の諸將は虜の濫りに刑罰に處し、而も賞を與ふるに吝なるを怨みたる爲、我軍の將士は隙に乗じて運動し、之が奏功して現に陸榮廷部下の兵士には來降を約し居る者多し。之に對し弟は各人が銃と

彈藥を携帯して來降せば、龍州と南寧とを破りたる後、每人一百元の賞與を給すべしとの條件を提出せるが、各兵は來降の時に三十元を與へ、龍州、南寧攻破後更に多くの賞を給すべしとの要求を提出せり。其の求むる所は決して多きに過ぐるものに非ず。弟惟ふに、此の軍にして來降せば龍州、南寧は確實に攻破し得べし。現在此の軍を除けば他に戦ひ得る軍隊無きが故なり。而して來降の初め各人に三十元を給することせば、四千人分の總計は十餘萬元となる譯なるも、此の十餘萬元を以つて流血を見ずして南寧、龍州を取り、之を以つて革命軍の根據地と爲すことを得ば、之れ實に得難き機會なり。只惜い哉軍資金缺乏し、之が調達に由し無きを以つて、弟は決意して之が爲に新架坡に來りたるなり。即ち現在陸の軍狀は已に來降を約し居るを以つて、内地は此の一二月以内に於ては惡戦するが如きこと無かるべく、故に弟は暇を得て新架坡に來りたるものにして、若し能く二十萬乃至十餘萬の資金を得るに於ては、大事の成就是確實なり。語に云ふ、山を爲し、九仞の功を一簣に虧くと。今革命軍苦戦八ヶ月にして始めて今日の時局を造成す。之れ九仞の山に異る無し。望むらくは南洋の同志、一簣の勞を吝むこと勿れ。

兄素と熱誠を抱く。我が爲に之を籌らんことを祈る。陸弼臣翁は弟と晤談すること數次、共に

革命の事を語り弼臣翁も極めて賛成せり。唯先づ須く根據を立てて後、其の事に従事すべしと爲し、此の故に弟に勧め、先づ鑛業其の他を經營して、厚く資財を集め、然る後之を用ふべしと爲せり。今革命軍の轉戰斯の如く久しく、兵力亦斯の如く強大なり。根據已に立てりと言ふべく、更に又此の千載一遇の機會有り。兄に於て弼臣翁と會談され、能く之を説かるべく、若し弼臣翁にして賛成の意有らば、直ちに電告して來り會することを得せしむべし。更に其の他の事に關しても兄の力の及ぶ範圍内に於ては、勞瘁を憚らず、以つて大業を成就されんことを切望す。今後若し返信又は電報有りたる場合は下記住所宛御回送願ひ度し。茲に書を寄せ、専ら義安を請ふ。弟孫文謹啓、陽曆三月七日。

2、澤如仁兄同志足下

先きに返書に接し、一切を誦悉せり。弼臣翁の處は専ら兄に託するにより、然る可く説得されんことを望む。今弼臣翁に一書を寄するにより、兄に於ても諸事繰合せの上、専ら此の事に當られんことを望む。即ち一つには熱誠を以つて之を感動せしめ、又一つには許すに大利を以てせば、或は能く効果を擧げ得べし。最上の方法は弼臣翁に説き、書面を以つて弟を呼び寄せることとせば、弟より彼を訪問すべく、斯くすれば一層容易に談合することを得べし。

貴書に所謂利權許與の主張は、寔に適法なるを以つて、弟の書面は先づ其の如何なる利權を欲するものなるかを問ひ合せたるものなり。故に其の回答如何を俟ち、重ねて協議すべし。此の點も他人の能くし能はざるることなるにより、是非共兄に於て考慮あらんことを望む。不日重ねて精衛を遣し、兄と面談の上、一切を處理せしむべし。

不取敢茲に返書を致し、併せて義安を伺ふ。弟孫文謹啓四月一日、通三十八號。

3、澤如同志仁兄鑒

只今精衛、應培兩同志よりの來翰に接し、備さに足下の革命に熱心なることと、資金の調達による軍需の供給に努力しつつあることを知り、欽佩無極なり。

現下我が西路の義師は欽廉に在つて連戰大勝して聲勢大いに張り、廣西の邊防に當りつつある敵兵には、反正を思ひて義師に内應する者甚だ多く、今や其の數箇大隊は已に我が廣西の別軍と同時に事を起すべきを約せり。従つて之が賞與と月給の金とを要すること頗る急なり。精衛よりの來翰に言ふ、足下に於て能く五千元を調達し得べしと。若し果して然らば、速に調達送金し、戦線に轉送して事を行ふに便せしめられたし。若し此の時に當り廣西軍が能く大活動をなして、欽廉に在る義師の聲援を爲し得るに於ては、之に依つて西路の大局を定め得べく、東

路の惠潮方面も亦再舉を準備し得べし。雲南の局面も亦布置しあるを以つて、廣西を入手し得ば、雲南軍も亦之に隨つて動き得べく、斯くすれば兩廣と雲貴とをも恢復し得て、革命軍の根本も鞏固なるを得べし。故に全局の成否は廣西邊防軍の響應すると否とに係り、其の響應の遲速は資金調達の成否に係るなり。今足下の助力を得たるを以つて、事憂ふ可き無し。只機會は得るに難く失ふに易し。此の千載一遇の機會に當り、若し遲延錯誤を致さざれば、南方の基礎は之に依つて定る可く、破竹の勢も亦之に依つて成すを得べし。御高配に預り幸甚し。

集りたる資金は新嘉坡の張永福兄に於て代收すべきにより、其の方へ送金ありたし。便宜の爲次に張兄の住所を記載し置きたり。茲に致し、義安を候ふ。不一。

各同志へも宜しく傳言ありたし。弟孫文謹啓。陽曆四月十七日。

4、「パラオ」同盟列位義兄大人均鑒

鄧彬兄來新し、澤如兄の許に書翰一通と、盟表二十枚と、軍資金一千元とを携へ來り、共に已に預收せり。彬兄等の述ぶる所に據れば、各同志は極めて熱心に國を愛し、現に已に力を竭して勢力を擴張し、陸續資金を調達して、革命軍の地歩を助けつつありと言ふ。風を聞きて欽佩し、感慰無量なり。漢族の前途の爲に慶賀に耐へず。

弟今回南來してより資金の調達に當り、已に數ヶ處の同志より相當の贖出を得、之が爲に欽軍は近日來能く活動し、連戰大捷して軍威之が爲に振ひつつあり。今又貴地其他の各同志の贊成を得たるを以つて、前途更に大なる望み有り。現に廣西の邊防兵は已に來除を約し、雲南の布置も亦已に妥當なるを以て、時に隨つて事を擧げ得べく、待つ所は唯資金のみなり。而して現在最も急を要するものは廣西軍來降の爲に要する賞與と月給の一萬餘元、雲南擧兵の爲の補助金一萬餘元、欽軍彈藥補充の爲の二萬餘元、計僅に五六萬元に過ぎず。若し能く直ちに此の額を得ば、兩廣雲南の三省數千里の地は、同時に活動を開始することを得べく、虜に百萬の兵有りと雖、必ず首尾兼顧するを得ざるべし。況んや彼の虜兵は國を傾くとも、十萬餘の弱卒有るに過ぎず。廣西雲南の兩省一度び起てば、欽軍は後顧の憂無く、長驅して進取することを得べく、東路の惠潮の義師も再び起ち、福建、漳泉も響應することを得べく、斯くて南方七省の局面も從つて定るに至るべし。然る時は北軍は必ず直隸山東に起ち、中央軍は必ず兩湖と江蘇とに於て蹶起すべく、之れ弟の數年來の計畫なり。惜い哉、財力足らずして爲さんと欲する所を爲し得ず。加ふるに近日來、兵を欽廉廣西の窮荒の地に用ふること久しく、費す所の費用も亦巨額に上り、而も昔時の同志は已に強弩の末となり、爲に今日に於ては青黃接せざるの憂有

り、區々五六萬の資金も亦支出するに由無き状態なり。今幸に公等の新力を得たるを以つて、或は九仞の功を一簣に虧くを致さざるべし。惟ふに今日の得失成敗は、能く速に此の資金を調達し得ると否とに在り。此の資金を得るに於ては我軍の勢力は立ちどころに十倍に増大することを得べく、此の目的を達すれば、基礎は鞏固となりて能く持久することを得べし。能く持久し得れば軍政府は以つて成立すべく、軍政府にして一度び成立せば、國內に於て軍需品を求め得べく、外債を借ることも可能となり、數億、數千萬の國費、軍費も以つて憂ふるに足らざるに至るべし。惟ふに之れ得失の岐路に當り、我が漢族存亡の關する所たり。従つて公等に其の能力を竭して此の急需に任ぜんことを望まざるを得ず。公等の力を以つてして重ねて幾何を負擔し得るやにつき、豫め通知して打算に備へしめんことを乞ふ。更に續いて集りたる資金は速に送金して戦前の急需に應ずるに便せしめよ。革命軍の規定によれば出資して軍資金を助けたる者に對しては、軍政府成立後一年以内に四倍にして償還するものとす。即ち出資一萬元ならば四萬元として償還する譯なり。且つ其上、國內各種の鐵道、鑛山、商業等の優先的利權をも與へ、更に國の爲に功を立てし者として、戰士の勳勞と同様に表彰するものとす。公等は義の爲に起ちしものにして、斯る事の爲に計をなす者に非ざるべきも、之れ軍政府の典則なるを

以つて、公等が將來各地に於て奮闘し、援助されし場合も皆之に則るものとす。若し更に大なる財力を有する者にして他種の特別利權を得んことを願ふ者有らば、弟亦之を許し之を約するの權有り。依つて公等が極力其の難に任じ、國の爲に功を立てられんことを切望す。

茲に書を致し、併せて義安をうかがふ。不一。弟孫文謹啓、陽曆四月二十二日。

5、澤如、心持盟兄鑒

我黨財政の困難が眞に十餘年來未曾有のことたるは、先きに書翰を以つて屢々述べたる通りなるが、雲南の義師起りて以來、更に急なること星火の如きものあり。茲に河内の總本部よりの來信を得て、急ぎ十萬元の資金を得るに非ざれば進取し得ざることを知れり。茲に原翰を抄寫して同封し、其の詳細を知るに便せしむべし。惟ふに此の十萬の大金を如何にして集むべきかにつきては、弼翁を捨てて他に能く之が爲に力を致し得る者無し。仍つて近日來電報と書翰とを以つて之が游説を託したるも未だ復示を獲ず。想ふに事未だ著手し易からざるものなるべし。蓋し之を持つるに堅忍を以つてし、之を出すに至誠を以つてし、而も懇ろに之を求むるに於ては、則遂に未だ心を動かさざる者有らず。若し屢々求めて屢々却けらるるとも、求むる者にして依然其の望みを失はざれば、必ず之に應ずる時有り。先きに兄等の力を竭して革命軍を

助くるや、實に熱血に出で大義に出づ。若し革命の前途に如何なる見込有りやを問はるれば、兄等自ら問うて茫然たるべきも、今河内よりの來信を讀めば、瞭然として火を觀るが如きもの有るを以つて、今後兄等が出でて人を説くに當つても必ず一層條理有るを得べし。既に此の詳細なる事實有りて運動の資料たらしめ得る以上、兄等が此の手紙の到着後重ねて再三弼翁に説き必ず其の承諾を得られんことを望む。蓋し此の事の關する所たるや小ならず。我黨今日の成敗得失は則ち繫つて之に在り。之れ實に數千年の歴史有る祖國と四億の同胞との一線の生機に係る所なり。故に兄等は再三再四之を圖り必ず成功するに至つて後已まんことを望む。唯運動の方法は必ず時に隨つて變ずべきものにして、先づ之を動かすに大義を以つてし、成らざれば更に動かすに大利を以つてするを要す。然れども想ふに此の兩方法は兄等必ず已に之を試みて效果無かりしものなるべし。果して然らば更に一方法有り、即ち當に之を動かすに情誼を以つてすべし。兄等久しく弼翁と往來し、交誼自然に深かるべきを以つて、之を用ひて游説の具と爲さば、前記一方法に比して一層有力なるべし。而して此の方法を用ふるには、必ず多數人の協力を得て始めて容易に其の事を成し得べし。此の故に弟想ふに陸秋傑君は必ず協力すべく故に先づ陸君をして此の事の確實性を諒知せしむる必要あり。然る時は協力して他人に説くこと

を肯んすべく、自らも力を出して革命軍を助くるに至るべし。弟素と聞く、陸君は常に自重して然諾を輕んぜざるも、一度び彼の承諾を得ば、彼は必ず其の言を實行すと。今革命の事に關しては陸君に其心無きに非ざるも、只彼は革命事業の内容を詳かにせず。近時我黨の傳ふる雲南革命軍の事に對しても、彼は深く之を信用せずと聞く。蓋し外字新聞が多く其の事を論ぜざるが故なり。而して雲南と此の地とは關係甚少く、之が爲に英字新聞は左程此の事に意を注がず。且外字新聞所載の中國に關する記事は、多くは北平より傳りたるものにて、清政府は雲南の事の外部に傳ることを極力禁じ居るを以つて、外字新聞は之に關して知ること少きなり。雲南に事を起して以來、北京よりは此の事に關し只一度の通信有りたるのみなり。即ち陽曆五月五日北京發電によれば、清軍は已に河口を回復せりとあり。其の後は何等の通信無し。而して河口を回復せりとは雲南督軍よりの虚報にして、當時我黨は尙未だ大兵を進めざりしを以つて、雲南督軍は猶欺蒙することを得たるなり。斯の如く北京政府は只勝利をのみ報じて敗北を報ぜざる爲、各國の新聞は真相を聞くに由無きなり。只安南の佛蘭西新聞は、同地が雲南と密接なる關係を有する爲、雲南革命軍の事につき多くを論じ居るも、英字新聞は之を譯さず。(想ふに佛文の譯者無きによるものならん。)只香港の「サウス、チャイナ、デイリー、ポスト」紙の特

派員は河内に駐在し居り、其の五月十二日の紙上に記載されたる訪問記（五月九日に打電せるもの）には雲南の軍事を言つて頗る詳細なるもの有り。且つ盛に我黨の進歩的なるを稱揚し居れり。河内は河口を離ること汽車にて十二時間、刻々に電報を通じ得る位置に在り。五日の北京通信に河口を回復せりとあるも、河内の記者の五月九日の訪問記によれば、革命軍は一面河口を守ると共に、他方兵を分つて蠻耗、蒙自等の處を攻め、今や已に蠻耗を破りたりと有り。此の記事は北京よりの通信に較べて尤も確實なるものにして、且つ其の後に發せられたるものなり。茲に五月五日の北京通信たる河口回復の記事を掲載せる外字新聞と、五月九日の河内記者の訪問記を掲げたる香港の新聞とを送附すべきにより、代つて陸君に示し、彼をして之を看て雲南革命軍の兵を起したるは、事實にして虚傳に非ざるを知らしめ、然る後、河内よりの書翰を彼に示し、今日の革命軍には斯の如く將來に對する見透し有るを知らしめば、彼の協力を望むことも不可能には非ざるべし。若し秋君或は弼翁にして此の十萬元の調達に任ずることを肯んずるに於ては、報酬として十ヶ年間雲南全省の礦山採掘權を獨占的に許與すべし。望むらくは法の如く先づ秋傑君を説き、彼が肯んずるに於ては彼と協力して弼翁を説かるべし。然る時は事當に成る有る可し。速に回示されんことを望む。茲に書を致し、併せて義安を伺ふ。

不一。弟孫文謹啓。

6、澤如盟兄大人鑒

四月五日の貴書、爲替一千元竝に譚棟翁の信書一通は確に落掌せり。仍て返電を發し置きたるが、想ふに已に貴覽に達したるならん。茲に領收證二枚と譚翁への信書一通とを送附致すべきにより、代つて交付ありたし。

數日來我が雲南軍は到る所皆捷ち、清兵の來降する者已に四千有餘に達せり。従つて日々所要の糧食彈藥は頗る巨額に上り、刻々之が補救の必要有り。雲南城を攻破すれば能く自給し得べきも、現在のところ補救最も急を要す。弟先きに屢々書翰と電報とを以つて弼翁が助力を肯んじたるや否やを詢ねたるも、未だ其の如何を審にせず。此の翁にして一度び諾すれば、大事は之に依つて成るべし。方今我軍の聲威大いに振ふの時に當る。望むらくは足下と心持兄と、力を竭して之を動かされよ。若し能く成就せば、足下等の革命軍に盡せる功德は實に無量なり。先きに欽廉軍に補救せんとせる軍費と彈藥と、竝に廣西の邊防軍を招降せんが爲の資金とは、皆雲南の事急なるを以つて、未だ充當すべき剩餘の資金無く、情勢之が爲に頗る停頓しつつあり。若し資金充足し、三處呼應して同時に大活動を爲さば、清虜を滅すこと掌を反すよりも容

易なり。望むらくは之を圖れ。返書を賜らんことを祈る。茲に書を致し、併せて大安を候ふ。不一。各同志に宜敷く傳言を乞ふ。弟孫文謹啓、陽曆五月十二日。

7、澤如兄並列位同志公鑒

送金し來れる二千元は既に落掌せり。雲南の軍事は人多く、資金少き爲、進歩する能はず。先月二十四日大勝を博して以來隊を收め、鐵道及河口等の處は之を守り居らず。先日の弟の電報並に書翰に詳言せる通り、成敗如何は資金の補救如何に在り。之れ兄等に力めて弼臣翁を説かんことを託せる所以なり。而も今事既に斯の如し。之れ痛惜を禁じ得ざる所なり。十萬元有れば能く雲南全省を獲得し得べきも、吾人の力を以てしては之を集め能はずとせば如何にすべきか。之が爲の方法としては、各地協力し、別に良法を定めて大金を集め、然る後事を擧げ、勝利に乗じて利に趨くより他なし。若し事を擧げ、然る後資金を調達せんとするに於ては、之が目的を達成し得ざる可く、若し能く調達し得るも機を失する恨みあり。幸に雲南の事は、河口を破り隊を收めて山に入りてより以來、一ヶ月を経るも傷亡極めて少く、河口には退出三日後再び清兵到來せるも、我軍の元氣は毫も傷く所無きを以つて、大金にして一度び得らるれば、再擧は甚だ容易なり。現在善後處置を講ずる爲、資金二萬元を要す。此の我軍大勝の時に當つ

て、尙資金調達の困難なること斯の如くなるに於ては、事失敗するに至れば必ずや一層困難となるべし。如何に對處すべきかにつき、貴地同志の垂教を祈る。書きて言を盡さず。茲に致し、併せて大安を候ふ。不一。弟孫文謹啓、六月九日。

8、澤如先生大鑒

來書敬悉、赤兄より送金し來れる壹千元領收後、貴表列記通りの領收證を作成し、茲許書留を以つて送附致すべきにより、入手の上は遺失の有無につき通知して取調べに便せしめられたし。詳細なる軍情は前便に記載し置けり。先は要用のみ。敬しく義安を伺ふ。弟孫文謹啓、六月十三日。

9、澤如仁兄同志鑒

先きに來電に接し、銀五百元並に麻坡^{マダガ}申込銀二百元を送金したる由承知せるが、今日手書と爲替とを受取りたり。急迫の際兄の助力を得たることは衷心感謝に耐へず。弟の慮る所は新架坡の同志には現に如何ともすべき法無く、而も河内の銀行には近日中に期限満了となる借越金五千元有り。全部の支拂は出來ずとも、少くとも半額を支拂はされは期限の延長を求め得ず。然るに現在調達し得たる金額は尙未だ半額に足らず。之が爲に極度に焦慮しつつあり。兄の書面

中に「若し各地の同志が力を竭して、多少なりとも資金を調達し得ば、直ちに送金すべし」と有り。之に依れば尙一線の望み有るが如し。仍つて諸同志に大局救済の爲に努力し、法を設けて二千元を立替へ、以つて眼前の急を救はれんことを傳言ありたし。當方に於ては本年内には資金の調達可能なるべきも、當場の急に應ずる能はず。若し同志に於て先づ二千元を調達して急債の償還に當つれば、年内には當方に於て調達償還し得べし。右手配ありたし。茲に書を致し、併せて公安を請ふ。弟孫文謹啓、八月一日。

八、南洋の同志に資金の調達を依頼す

——一九〇八年——

國民盟長竝列同志仁兄大鑒

先きに一書を寄せ、各同志に資金を調達して香港の機關を救済し、以つて長流の經費とし、事の進行を停滯せしめざる様にせられたき旨懇請し置きたるが、想ふに既に貴覽に達し、手配せられたることなるべし。

方今機日に通り、外は朝鮮既に滅び、滿洲亦分れ、中國の運命は一線の内に懸り、而も戸籍を

調査し、税金を徴收し、民心大いに變じて時に反抗する者有り。我等新軍の運動は既に雲南、廣西、三江、兩湖に普及し、時機已に熟し居るも黨の財政は日に困難となり、香港の方は布哇の同志より援助を受け得べきも、他地方には何等の方法無く、且つ何時迄も現在の如き状態にては不得策なるを以つて、内地各地の同志の催促を受け、各主領とも協議の上、計畫を決して遠からず再舉することとせり。現在の情勢は以前に比較して、より有利なるを以つて、弟が近きに就きて指揮畫策せば、事の成功疑ひ無し。只之が爲には十萬元の準備金有りて、始めて布置周密にして、策萬全なるを得るなり。故に今南洋、布哇、米國等の各地の同志の力を合せ、此の一兩月内に此の額を調達せんとしつあり。而して南洋各地の華僑は、其の數多きも風氣閉塞し、其の上總ての同志は従前屢々其の力を竭したる爲、今や殆んど強弩の末たる感有り。従つて今回の資金は其の大部分を布哇と米國との同志より籌畫する考なり。弟が革命を提唱して以來、今日は第一等の好機會にして、民心の歸向と兵士の來降とに缺くる所は只此の區々たる十萬元の財力なり。而も此の額たるや布哇にすれば四五萬に過ぎず。若し布哇の同志が、内地の同志の生命を棄つる勇氣と同様の勇氣を以つて贖金するに於ては、此の區々たる金額は布哇のみの同志にて負擔し得べく、他地方に之を求むるに及ばざるべし。

本書到着次第、民衆に宣布し、即日贖金の事を開始して、豫め軍費に備へ、會員と會員に非ざるものにと論無く、凡そ漢人たる者は悉く此の事を助成し、力有る者は多く力を盡し、力無きものも其の能ふ限りの事を爲せば、衆志、城を成すべく、若し能く此の金額を調達し得るに於ては、決して失敗の虞れ無かるべし。故に今回の事は、其の利鈍は全く海外同志の盡力すると否とに依るなり。内地の同志は既に身命を惜まず、苦心焦慮して其の力を盡し、能く此の地歩に達し得たるものなるにより、今や唯海外同志の一臂の助力さへ有れば、直ちに葡萄牙の近日の偉業と同様の大功を樹立するを得べし。勉めて全功を竟げ得れば幸甚し。本書到着の日より二ヶ月を限つて資金を集め、集りたる資金を貴地支部の理財員に送り、更に弟の許に送金することとし、差當り該理財員より領收書を發給し、弟の許に送金し來りたる後、資金調達局より證明書を發行して、受取れることを明確にすべし。茲許資金調達局の規約書一枚同封すべきにより、衆に宣布されんことを請ふ。併て義安を候ふ。不一。弟孫文謹啓、陽曆十月十六日。

九、暹羅より鄧澤如等へ

——一九〇八年——

1、澤如、心持、赤霓三兄公鑒

返信拜承、前議の件につきては、兄等の堅持を蒙り、努めて其の難事に任じ、全力を傾注しつある由、感佩甚し。

虜家の子母相續いて死亡せるを以つて、人心必ず大動すべく、時局爲す可しと思考さるるも、惜い哉、財力足らずして眼前の好機に乗ずる能はず。想ふに同人等も亦扼腕して歎じ居るべし。弟急ぎ事に従はんと欲しむるところ、偶々暹羅よりの消息を得、情勢甚だ佳なるを知り、遂に今日午後四時漢民と共に暹羅に赴くことに決せり。到着の上は資金の事に關し、其の状況如何を電告すべし。若し弟に宛てたる重要なる來信有りたる時は、暹羅の華暹新報陳景華氣付として回送ありたし。又團體に關する通常の事柄は同志鄧慕漢を新架坡に留め置きたるにより、彼に於て處理することを得べし。

昨日保皇黨の聯高全領事が、人を集めて仕事を休み、虜帝に哀悼の意を表したるを以つて、我黨は之に反對せり。又午前何心田が店を開くや、遽に無數の羣集が殺到し、破壊投石して其の妻女を虐げ、警察は多數の人を逮捕して伴れ去りたり。華人は保皇黨に惑され居るも、輔政司は吾黨の勢力大にして黨員多數なるを見て、感情を挑撥して地方の妨害を除去せんとする心算

有るものの如し。仍つて弟は部下をして妄動せしめざる様彈壓せり。然れども在新の華人は其の數多き爲、口頭を以つて説得するは困難なるにより、訓示を出すこととせるが、警察署長も之を認めたるにより、今日已に多數を印刷して公然と宣布せり。之を以つて見ても輔政司が我黨の領袖に對して、責任を以つて事を爲さしめんとするの心有るを知り得べし。然れども弟は暹羅に赴くにより、永福兄をして奇策を實行せしむることとせり。想ふに保皇黨と満奴とは之を見て駭然たるべし。英政府は既に弟を認めて團體を統制する力有る者と爲し居るを以つて、吾人は之を利用して勢力を擴充することを得べし。只弟は勿々たるを以つて未だ此の特權を發揮するに至らず。然れども將來は之を利用することを得べし。併せて義安を伺ふ。弟孫文謹啓。

2、澤如仁兄同志大鑒

弟暹羅に於て兄よりの送金を受け取りたる後、書翰によつて一切を報告すべき筈なりしが、十四日漢民と共に新架坡に歸りて以來、連日繁忙なりし爲、未だ通信の暇を持ち得ず。該件の談判は進行中なるを以つて、其の効果は尙未だ決定し得ず。各省の同志は虜家の子母死亡せるを以つて、各派夫々専門員を新架坡に派し來りて對策を講じつつあり。弟情勢佳なるも、吾人の財力未だ充足せざるを以つて、今回は一勞永逸の計を爲さんと企圖しつつあり、吾人は實力を

養足して時の至るを待たざるべからず。現に海内の人心は已に大いに動搖し、之が爲に虜朝も警備を怠らざるを以つて、若し遅るること半載に及べば、吾人は遍く銳氣を蓄へ得べく、虜の嚴戒も弛みて益々事を圖り易きに至るべし。

中興報は支持によつて越年を望み得べく、來年は株式を擴充して増資することも可能なるべし。今年は資本不足し、渴して井を掘るの觀あり。従つて諸般の事にも資金の缺乏を來せり。故に資本を充實せしむるに非らざれば改良進歩に従事するを得ず。今年の記事と議論とは頗る人心を満足せしめたるも、如上の理由により經營を擴張するを得ざりしなり。想ふに兄も亦必ず賛成せらるべしと考へらるるにより、適當なる規則を定めたる上は送附致すべし。先は要用のみ。併せて大安を請ふ。弟孫文謹啓。十二月十九日。

一〇、新架坡南洋支部設立の通告

——一九〇八年——

近年南洋各地の同志日に多く、夫々各處に於て團體を結合して、主義を實行し、勢力の發展すること蒸蒸日上の勢有り。殊に慶慰に耐へず。今新架坡に南洋支部を設立し、南洋各

地の團體を聯絡統一せんとす。而して情誼を聯絡せんが爲には互に消息を通ずること肝要なり。消息通ずれば情誼融洽し、情誼融洽すれば、協力相扶、同心共濟し得て黨力増大し、以つて事有成し得べし。故に特に通信方法を定むること次の如し。

- 1、各處團體の通信の爲の宛名を通知し置き、今後少くとも二箇月に一度宛相互に通信することとす。
- 2、各團體の宛名變更有りたる時は、直に南洋支部に通知するを要す。
- 3、今後續いて新立の團體有りたる時は、南洋支部（支部長胡漢民）より各處に通知すべきにより、通知に接したる時は直ちに新立の團體に書を寄せて、其の成立を賀し、且つ之を勵ますものとす。

以上の三ヶ條は心を留めて之を實行し、同志團結の精神を以つて、廣く各地の情誼を通ずる様致したし。此の儀囑望に耐へず。茲に致す。弟孫文謹啓。

中國同盟會分會總章

- 一、本會は名を中國同盟會と稱し、直接支部の統轄を受くるものとす。
- 一、本會は中國の革命事業を贊助實行するを職志とす。

- 一、本會の會員は須く宗旨を謹奉し、親ら盟書を書き、當日宣誓して其の誠意を表すべし。
- 一、本會は左の如き職員を公舉して會務を司理せしむ。
正會長一名、副會長一名、華文書記一名、歐文書記一名、會計係若干名、計算係一名、調査員若干名、幹事若干名。
- 一、本會の職員は定例として毎年一回之を選舉し、會員の倍加する毎に一回の選舉を行ふものとす。

- 一、本會員は全部選舉權と、被選舉權とを有するものとす。
- 一、當該地の會所と一切の經費とは、會員に於て均分負擔するものとす。
- 一、總ての會員には同志を紹介して入會せしむる權利有るものとす。
- 一、會員にして能く宗旨を明白に解釋し得る者は知主盟者たり得るものとし、隨時隨地に於て同志の入會を受け得るものとす。
- 一、主盟者は同志の入會を受けたる場合は、其の盟書を書記に交付して登録し、書記は一括して支部に送つて保存し、受取證を發給して證據となすものとす。
- 一、凡そ會員にして既に完全に自己の義務を盡したる者は、革命成功の日には、名を中華民國創

建者中に列して、青史に垂れて永く記念するものとす。

一、凡そ會員にして主盟者に新同志十人を紹介せる者は、一回の功を樹てたるものとし、百人を紹介せる者は一回の大功を樹てたるものとし、夫々記して年末に至つて功を計り、會長より慰勞嘉獎し、支部より本部の總理に申請して功勞表を給し、革命成功の日には將士と同列に論功行賞を爲すものとす。

一、本會は會員の團結を密切ならしめ、其の聲氣を靈通せしめんが爲に、革命軍の編制方法に依つて會員を組織す。

其の方法左の如し。(此の條は直ちに之を實施せられたし)

八人を以つて一排とし、其の内より排長一名を自擧す。計八名。

三排を以つて一列とし、更に列長一名を自擧す。計二十五名。

四列を以つて一隊となし、更に隊長一名を自擧す。計百一名。

四隊を以つて一營とし、更に營長一名を自擧す。計四百五名。

一、各列長、隊長、營長等を以て會員の代表者とす。

一、本會の事務施行細則並特別規定は隨時職員に於て各代表會議を召集して訂立す。

一、本會の各規則と特別條項とは、總て支部の號令と本會の規定とに違反せざるものなることを要す。

注意、會員を營、隊、列、排の順序に組織することは極めて緊要なることにして、斯くすれば會員の感情は密接なり、團結は鞏固となるべく、會内に事有りたる際は、職員より各營長又は各隊長に通達し、各々其の所屬の隊長又は列長に通達すれば、僅に四人に通報すれば足り、列長は三人の排長に、排長は七人に順次通報すれば足りる譯にて、手續頗る容易なり。會費又は月費を徴收する如き場合も、排長に渡せば排長より列長に渡し、各列長が之を會計係に渡せば足り、事至つて簡單にして而も效果大なり。若し此の法則を行はず、各地の會員が千乃至數千名に達すれば、能く會員全部に知らしめ得る人無く、分會の職員も各人の住所全部を知る事は不可能なるべし。故に前記の如き組織とすれば、排長が七人に通知することは何等の困難なることに非ず。更に營長より隊長、列長に夫々通知することは恰も自己の手足を動かすと同様、極めて容易且つ迅速なるを得べし。

一、「クアフルンプル」等の處より
鄧澤如等へ

—一九〇八年—

1、澤如、心持、赤霞我兄同志大鑒

弟等昨日「クアフルンプル」より巴羅に來り、午後五時半到着せり。「クアフルンプル」にては「セレンバン」より轉送し來れる書面を受取りたるにより、介意すること勿らんことを乞ふ。該用件に關しては弟已に陸秋傑兄と面談せるに、秋傑兄も極めて賛成し、大事を爲さんとせば此の方法に非ざれば不可なりと爲せり。即外人に利益を許與することに關しても、左程疑念を有し居らず。只豫め數千元を醸出することに關しては、現在の經濟的困窮は外人の想像以上に、各地の資金は支出に方法無く、已に原料を抵當として王家より金を借り、毎月九厘の利息を支拂ひつつあり。其の花園も維持困難なるを以て賃貸せんとしつつある状態なるを以て、其の事に對しては衷心賛意を表するも、之が爲に盡す力量を有せず云々と言ひひたり。「クアフルンプル」の人々も秋傑君の窮狀を熟知し、其の言が決して虚構の事に非らざるを知り居れり。

故に此の事は「クアフルンプル」に於ては良好なる結果を得る能はず。心持兄は此の頃自ら「クアフルンプル」に至りたりと聞く。弟も亦秋傑君と、心持兄に別の良法有れば、共に他地方の同志と協議せば、或は適當なる方法有るべきを言へり。現に弟が通過せる各地に於ては諸君子は勇敢にして、「セレンバン」の如きに於ても新氣横溢し居れり。「クアフルンプル」には熱心なる人有るも團體散漫なるを以つて、弟は各同志と其の改良と擴張とを謀り、以つて之が進歩を求めたり。巴羅に至りては遠く「クアフルンプル」に勝り、其の進歩は殊に速かにして、其の精神も「セレンバン」に比較し得るものあり。

先は取急ぎ右迄。餘は後便にて。公安を頌ふ。弟孫文謹啓、十一月三日。

2、澤如我兄同志大鑒

弟等巴羅に到りたる後、曾つて「クアフルンプル」に在りし時の情況を書信にて報告し置きたるが、想ふに已に閱覽せられたるならん。巴羅には三日滞在し、昨日午後五時「ピナン」に到着せり。當地に三日滞在上、新架坡に歸る豫定なり。巴羅にては新架坡よりの來信に接したるが「曾つて「セレンバン」に打電し、心持兄に託して交付せんことを求め置けり」とあり。然れども弟は未だに此の電報を受取り居らず。而も前記書翰内には詳細に此の事を述べあり。

續いて又新架坡よりの來電によれば「河内に於て兵器彈藥を受取りて貯藏せんが爲に、直ちに外國商店に千五百元を支拂はざるべからざるにより、速に電報替爲にて送金有りたし云々」とあり。更に又其の電文に言ふ「已に「セレンバン」の心持兄に打電し置けるを以つて、轉送し來るべし」と。想ふに心持兄は續いて二電を受取りたるを以つて、一括して轉送せるものなるべく、爲に未だ弟の許に到着せざるものなるべし。

例の千五百元の件に關しては、弟已に螺生、源水兄等と熟談し、武器彈藥の受取り貯藏の重要な所以をも告げたる所、螺生兄等は已に悦んで之が擔任を承諾せるにより、近日中に調達し、電報爲替にて送附することを得べし。佛人と一十萬元の借款交渉を爲す件につきては、螺生兄等とも商議せるが、只其の意見を詢ねたるのみにて、未だ此の事の擔任を囑せず。螺生兄等は裕福なる者に非ず、而も既に其の力を竭して千五百元の急需に應じたる者なるを以つて、勢ひ其れ以上に他事を顧る餘力無きが故なり。仍つて此の事に關しては「ピナン」の同志と之を謀るべく、成否は後日再報すべし。精衛と降生とは船にて「ラングーン」に赴けり。弟と漢民とは後日船にて新架坡に歸る豫定なり。餘事は後便にて。敬しく大安を請ふ。弟孫文謹啓、
戊申十月十一日。

3、澤如、心持、赤霓三兄公鑒

「ピナン」より巴羅に到りたる當時の情勢を一通り報告し置きたるが、想ふに已に覽に入りたるならん。「ピナン」の同志も甚だ熱心なるも、運動聯絡の事に當る人物に至つては「セレンバン」と巴羅とに及ばず。仍つて弟は別に主として此等の事に當るべき者を、夫々決定派遣し置きたるを以て、團體擴張の事も、將來必ず其の發達を見るに至るべし。

資金醸出の件につきては、吳勢榮、黃全慶の二君は皆營業不振の爲負擔の力無し。之れ其の實情なり。（其の經濟的困難の狀況は弟等の目覩せる所なり）偶暹羅の同志より同地往訪を勸むる旨の來信有り。更に新架坡の同志陳武烈君（同君は暹羅に於て極めて勢力有り）も暹羅に於て此の件に關して大いに約する所有り。該地の商業は何等影響を受け居らず。熱心にして實力有る者も乏しからず。従つて數千元の資金調達も彼等の意中に在る事なるも、弟は新架坡に尙未了の事件有るを以つて、漢民兄をして、貴方に於て已に調達せられたる資金を携へて暹羅に赴かしむることとせり。之れ一つには暹羅に於て殘餘額を調達したる上は、直ちに合して越南に送金して面倒を免れんが爲にして、二つには既に半額を集め得たる事を彼の地の同志に示し、以つて彼等の心を堅からしめんが爲なり。此の故に茲に專函を致して兄等に望む、先きに

惠諾を蒙りし金額を速に新架坡宛送金し、漢民をして直ちに出發して暹羅に到り、以つて速かに其の事を成すを得せしめよ。感幸に勝へず。

精衛等八日「ピナン」より「ラングーン」に赴く。聞く該處の會黨は私争頗る烈しと。惟ふに廣東人は皆精衛の到着を渴望し居るべく、従つて運動は容易なるべし。

以上要用のみ。併せて公安を請ひ、竝に覆示を祈る。弟孫文謹啓、陽曆十一月十日。

一一一、渡歐前鄧澤如等へ

——一九〇九年——

1、澤如、心持、赤霓我兄大鑒

第十九日新架坡發、歐洲巡遊の途に上ることに決定せり。此の行は財政外交の二問題に最も意を注ぐ考へなり。即ち英、佛、和等の各國に對する各種の外交は、共に其の本國政府に運動して始めて能く効果を擧ぐることを得べし。財政問題に關しては、先きに提起せる借款問題につきて督促協議すべし。此の問題は之れ以上は延期し得ざる問題なり。

弟の出發後は公等に於て熱と力とを以つて同志を鼓吹し、一日千里の勢を以つて團體を擴張増

進されんことを望む。南洋支部の事は、之を漢民君に託して處理せしむべきにより、各事均しく常の如く通知處理せられたし。近日中漢民は用件有りて暫く香港に赴くこと有るやも知れざるも、間もなく歸新すべく、彼に於て兼顧するの暇無き場合、彼の代理人を囑託する權利も、亦之を漢民に囑し置きたり。茲に專告し、併せて公安を伺ふ。弟孫文謹啓、三月十七日。別に譚樂亭に致す一書を同封し置きたるにつき、代つて交付せられんことを乞ふ。慎重に取扱はれたし。

2、澤如仁兄鑒

中臺報は先きに弟より湯伯令君に來新して代つて一切を處理し、業務を改良せんことを請ひ、仍つて伯令君は來新したるが、其の後永福君と意見合すして小なる衝突有り、伯令は遂に決然として辭去し、永も亦一切の責任を却くるに至れり。然れども中興報は大局と大なる關係有るを以つて、力を竭して維持せざるを得ず。仍つて弟は重ねて當地の林義順君に出でて一切を處理せんことを請ひ、吳悟叟君に之が副たらんことを請へり。數日來已に記帳事務を開始し居るも、各地の株金は多くは未だ送金し居らず。而も中興報は既に後日の爲の資金をも費消し、先きに貴處より送金し來れる一千元も債務の辨濟と日常の費用との爲に已に費消し盡し、今急を

告げつつあり。故に各地に散在せる株を集めて登記し、有限會社となして株券を發行するに非ざれば、資金の調達は容易なることに非ず。貴處に於て能く殘餘の一千元を速に送金して焦眉の急に應ずる様願はれざるや。中興報にして若し能く此の難關を通過し得るに於ては、即ち何等の憂ひ無きを得べし。蓋し登記後は直ちに株券四千枚を造り、先きに已に株を有する者に之を給與するは勿論、新に株を持ちたる者にも株券を給し、餘れるものは夫々同志に於て買ひ取ることとせば、立ちどころに株式資本を集むることを得べし。現在のところ差し當り貴處に於て先づ急ぎ法を設けて維持せらるれば幸甚の至りなり。此の儀囑望に耐へず。

弟夙に渡歐して重要問題を解決せんことを企圖しつつあるも、未だ暹羅よりの旅費到着せざる爲、途に上る能はず。旅費遅延の原因は同志の領袖が米穀商を經營し居りたる所、營業不振の爲、破産に瀕し、之が一切に影響して弟の旅費も殆んど支出の望み無きに至りしなり。故に漢民に託し「ラングーン」の同志に之が調達を依頼せしめ置きたるが、前週の日曜日、再び暹羅より來信有り「近日中に力を竭して調達すべし」とあり。更に「ラングーン」よりの來信に據れば、該處には已に公金千餘元有り。隨時使用し得るものなるが、此の外更に同志に向つて讓出方を求めつつあり。集り次第漢民に渡して持參せしむる趣なるを以つて、此の兩地より

の釀金を合すれば、渡歐の事も遅延せず。絶大なる機會を失するが如きことなかるべし。惟ふに現在當地（新架坡）に於ては諸般の事皆逼迫し、各同志は悉く窮地に陥り、多くは自ら顧みて暇無き有様にて、之が爲に弟の處は已に食を絶てり。而も事務整理の要人等尙十餘人有りて斯る状態の下に相依りつつあり。更に數日中には熊成基と共に事を起せし安徽省の同志、砲兵隊長洪承典等も來新すべく、之れ亦當方に於て世話せざるを得ず。従つて暹羅、「ラングーン」よりの資金到着以前に是非共三百元を必要とする次第なり。三百元有れば今月内の用は以つて足すことを得べきにより、之れ亦足下等に懇請せざるを得ず。即ち此の一ヶ月の經費を供給して救濟せられんことを切望して已まざる次第なり。以上の二事は共に皆緊急事に屬するも、弟の日給を以つて尤も甚しと爲す。公等若し能く二事共に之を爲し得ば最も佳なるも、然らざれば、請ふ速に三百元を送金し來つて、上述せる如き弟の困窮を解かるべし。又送金方法としては直接弟の處に宛てて送金せられたく、單に Chung Ian と書けば何人にも受取り得べく、便利にして迅速なるを得べし。又爲替手形は書留として左記へ郵送ありたし。

Mr. Chung Ian,

111 Orchard Road,

右の宛名は陽曆の四月末迄とし、其れ以後は用ひざる様特に茲に聲明す。

更に中興報の株金も受取人を中興報の名義として、同様前記の宛名に送金し、以つて弟自ら交付し、一切を托するに便せしむべし。

先きに掠奪事件激烈を極むるや、石山の労働者たる同士二十一名は之が爲に捕縛せられたるが、近日來弟は出頭して華民と交渉しつつあるを以つて、或は釋放を望み得べし。安南より來りたる人々は極めて雑多にして、其の盡くが革命軍人には非ず。中には極めて劣悪なる者もあり。従つて他人の治安を破壊するが如きことも免れ得ざる所なり。仍つて法を設けて其の善惡を分つこと必要なりと思考す。茲に書を致し、併せて大安を候ふ。弟孫文謹啓、四月六日。

3、澤如仁兄鑒

來函並に盟書二十一枚、爲替手形一枚、共に已に領收せり。南洋の近況此の如く、爲に大事進行上全く大なる阻滯を免れず、幸に尙熱血兄の如き者有り。然らざれば我等は坐して此の地に困惑するの虞れ有り。茲許領收證を同封せるにより查收相成度し。併せて大安を請ふ。弟孫文謹啓、四月十二日。

4、澤如仁兄鑒

盟書十八枚と郵便切手五十元とは共に領收せり。漢民兄は昨日已に船に乗りて香港に歸りたり。弟も十九日出發の豫定なり。先きに當地に於て逮捕せられたる十九名も、已に一昨日釋放され、船にて暹羅に赴けり。中興報も聞く所に據れば其の登記を終り、近日中に有限會社としての株券を發給する由。吳悟叟の經營は従前に較べて、より良好にして略意に稱へるものと言ひ得べし。南洋の大局は兄等と各同志とに於て努力維持されんことを望む。茲に大安を伺ふ。不一。弟孫文謹啓、五月十二日。

5、澤如我兄大鑒

貴翰拜悉、茲に命の通り一函を書けるにより、代つて戰鬥兄に交付されんことを祈る。弟は明日出發すべきにより、南洋の大局は公等に於て維持擴張されんことを切望す。中興報は登記を終り、有限會社としての成立を見、現在株券を印刷しつつあり。近日中には完成するに至るべし。完成の上は重ねて人を各地に派して株券を交付し、未拂込株金の拂込みを督促し、殘餘株の發賣に當らしむべし。之が爲に何人かが貴地に到りたる時は、一切を贊助されんことを望む。茲に致し、併せて大安を候ふ。不一。各同志に宜敷傳言ありたし。弟孫文謹啓、陽曆五月

十八日。

二三、渡歐後各同志へ

——一九〇九年——

同志公鑒

弟渡歐以來力を竭して經營籌畫し、以つて同志の望みを輔けんことを期したるが、謀る所は今に至るも尙緒に就かず。南洋に在りし時得たる將來に對する希望條件（「セレンバン」に於て呈覽せし件）は媒介者が中間に於て利を漁ることとなり、資本家は之を喜ばず。仍つて弟は此の間の事情を察して婉曲に媒介者を却け、政界に勢力有る韜美君（前安南總督）に資本家に運動せんことを托したるに、同君は滿腔の賛意を表し、此の議將に成らんとしたるに、計らずも突然佛國政府更迭し、新首相「ブリアン」は此の事に賛成せず。従つて資本家も遲疑するに至れり。仍つて韜美君は重ねて外務大臣と商議し、彼をして首相を動かさしめんとせり。蓋し佛國の資本家は政府の許可を得るに非ざれば、斷じて巨資を投ずることを肯んぜざるなり。先の媒介者と交渉せる結果も亦斯の如し。此の媒介者が吾人の河口に於て爲せる事實を見て、條件を提出して吾人に

示せるは、彼が前内閣の「クレマンソー」は必ず其の投機を許可すべしと付度したるが故なり。即ち内閣の更迭は全く意外の事にして、此の事無ければ何人と協議しても必ず成功を見るに至りたるならん。韜美君の外務大臣説得の事に關しては數日前始めて來書有り「現在のところ求め能はざるにより、暫く待つ有らんことを請ふ」等の語有り。弟此の來書に接し、陽曆十月三十日直ちに渡米の途に上ることとせり。蓋し米國は頗る有望なるを以つて、一應渡米して情勢を觀察せんが爲なり。英京に於ても一方法を見出したるも、尙未だ確たる見込み立たざるにより、敢て茲に詳報せず。此の方の條件は甚だ容易にて、利息も通常の計算方法により、何等特別の利權を求めず。只各地の我黨同志の名を連ねて保證すれば足るものなり。且つ英國の紹介者は現在米國に在るを以つて、渡米の上は弟と彼と重ねて商議し、若し具體的結果を得るに於ては、必ず別に詳報すべし。連名保證の一事に關しては弟に一つの方法有り。具體的結果を得たる上は通報致すべきにより、示教を賜りたし。前借の金は現在返却に由無きを以つて、差し當り期限の延長を求め、此の事の解決を待つて改めて之が對策につき通報すべし。

茲に致し敬んで大安を候ふ。弟孫文謹啓、陽曆十月二十九日英京にて。

追而五月三日戟門兄よりの來示を收讀したるが、別に便りせざるにより不惡諒承を乞ふ。

一四、渡歐の途次「マルセイユ」より吳稚暉へ

——一九〇九年——

稚暉先生足下

來示は讀悉せるも、途中碇泊せざりし爲、未だ返書せず。別後の事は千緒萬端なるを以つて筆墨に盡し得ず。後日倫敦到着の上、一切の事につき面談すべし。尊夫人等は思ふに已に無事倫敦に到着せられたるならん。「マルセイユ」より張兄が會つて御子息に一書を托したるが、已に貴覽に達したるべし。請ふ、貴兄より英國在留の各同志に詳細なる事情を通達せられたし。次に舊知 Mueken 君とは數年來未だ通信せざるが、先生には近來彼と面談せられたること有りや、彼は依然倫敦に居住し居るや、其の近況如何等を併せて通報ありたし。茲に書を致し、大安を候ふ。不一。弟孫文謹啓、六月二十四日。

追而弟は現在祕密裡に行動中なるを以つて、外人と中國人との論無く、若し已に弟の來歐を知れる者有らば、他言せざる様、且つ絶対に新聞社に知らざる様、先生より傳達ありたし。

一五、歐洲滯在中吳稚暉へ

——一九〇九年——

稚暉先生大鑒

弟期を定め明日午後「ブラッセル」より倫敦に赴き明晩（七日晚）十時「チャーリング・クロス」停車場に到り、八日午後貴寓を訪れて詳細面談すべく、若し八日に差支へありて訪問し得ざる時は、九日の午後には必ず參上すべきにより、此の兩日の午後は努めて外出せざらんことを請ふ。弟の倫敦滯在は四五日に過ぎざるべく、便船有り次第渡米する考なり。然れども倫敦到着後は、各方面に通電すべきにより、其の結果或は意外の事有るやも知れず。若し之れ有るに於ては暫く滯在すること有るべし。餘は面談の上にて。先は右迄、併せて大安を候ふ。不一。弟孫文謹啓。六日。

一六、歐洲より渡米せんとするに當つて

吳稚暉へ

——一九〇九年——

稚暉先生足下

巴里の情勢は頗る有望なり。只直ちに成功を期待することは不可能なるを以つて、夏の過ぐるを待ち、各富豪の巴里歸來を待つて、當路者と一々面談するを要し、然る後始めて能く確實なる結果を知り得べし。斯る狀況なるを以て弟が之れ以上巴里に滞在して待機するは得策に非ずと思考し、仍つて已に土曜日「ブラッセル」に來りたるが、同志八九人相見て甚だ歡べり。弟は多分今週中には倫敦に赴きて面晤することを得べし。聞く所に據れば曹亞伯君は已に其の居を遷せる由なるが、未だ其の新住所を知らざるを以つて、先生に一書を托するにより、之が轉送を請ふ。先は右迄、併せて大安を候ふ。御芳族各位へ宜敷御傳言ありたし。弟孫文謹啓、八月二日。

一七、渡米後各同志へ

——一九〇九年——

1、澤如仁兄並各同志鑒

歐洲より米國に渡りて已に數ヶ月を閲したるも、計畫せる事は尙未だ大就せず。然れども頗る有望なるを以て將來或は成就するやも知れず。米洲の華僑は先きには多く保皇に附和したるも、今や大いに醒悟し、漸次革命に向ふ傾きあり。不日各地を聯合して一大團體となし、以つて我黨の事業を贊助することを得べし。

弟今米國に於て、一面既定の大目的の爲に籌畫すると共に、他面華僑の聯絡に努め、現に已に紐育、市俄古、桑港の三箇所に同盟會を設立し、人心躍如たるものあり。他日の進歩は必ず觀る可きもの有るべし。之れ告げて公等を慰むるに足るものなり。

茲に貴意を得たき一事有り。各同志に請うて意を留めて之を謀り、若し行ふ可くんば努めて法を設けて共同經營とし、行ひ得ざる場合も其の旨速に回示する様取計はれたし。其の事とは華人所産の錫を買占め、自ら之を米國に輸送して販賣する事なり。弟思ふに馬來半島は錫の産出

最も多き處にて、米國は錫の一大市場なり。然るに從來は錫の轉運は倫敦商人が獨占し、其の價格の高低も自然彼等によつて定めらるる有様なりしなり。仍つて弟の意は、若し華人が能く其の所産の錫を、自ら米國に運送販賣するに於ては、中間に倫敦商人の手を経ず。爲に仲買料の一部を省くこととなり、價格も倫敦商人の掣肘を受けず。雙方共に利益有るべしと思惟するなり。弟紐育に於て會つて一市場の大仲買人に遇ひ、共に此の事を商議せるに、彼も頗る之が販路の擔任に賛成せり。只大なる幫助者を必要とするを以て、若し馬來半島出産額の大半又は一半を一手販賣することに決せば、彼より大資本家を紹介し、一ヶ年又は數ヶ年分の産額を一括し、之が購入の豫約を爲すことも可能なり由語りぬたり。茲に要略を列記すれば左の如し。

- 一、産出額の中、毎年引受け得る額は幾何なりや。
- 一、一擔當の價格幾何なりや。(長期定價)
- 一、交易の方法如何。(此の點双方より協議すべきものなるも、先きに公等の意見を開陳ありたし)

蘭領の産額も甚多額なるも、之れは和蘭政府の專賣となり居る爲、商人は之を過問し得ず。只馬來半島に於ける華人所産の錫にして、若し能く聯合して一大會社を成し、直接米人と交易し

得るに至らば、甚大なる仲買手数料を收得することを得べし。若し聯合して獨立の會社を成し得ざれば、先づ豫め一定の價格を決定して、同業者の長期合同をなすも亦可なるべし。之を要するに此の間の事情は、公等は弟に較べてよりよく熟知し居るべきにより、此の事の施行し得べきや否やにつき、詳細に調査の上桑港大同日報氣付として回示されんことを乞ふ。茲に致し、竝に大安を候ふ。不一。弟孫文謹啓、正月二十日桑港にて。

2、澤如我兄鑒

陽曆三月一日桑港より書留にて一書を足下に寄せ、錫を米國に運んで一手販賣する一事を言ひ、足下に之に關する各種調査を托し、大同日報氣付として返信を寄せられ度旨依頼し置きたるが、今弟偶要務有りて布哇に赴くこととなり、三月二十二日桑港出發、二十八日の朝には「ホルル」に到着すべく、同地に約二三箇月滞在し、其の後再び渡米するか、或は東方に歸るか、現在のところ尙未だ決定し居らず。弟よりの前便に對し、足下は已に返書を出されたりや若し未だ出し居らざれば直接布哇宛郵送ありたし。(宛名別記)。布哇は桑港に較べ六七日程だけ近きにより、より早く到着し得べきを以つてなり。若し又已に返書を出せる後ならば、更に改めて一通を書き布哇宛郵送あらんことを請ふ。蓋し一應桑港に郵送され、更に之が布哇に回

送せらるる場合、若し適當なる汽船無ければ、必ずや一ヶ月以上の日數を要すべきにより、寧ろ改めて一通を書きて布哇宛郵送する方、より速に到着すべきが故なり。南洋の近日の人心如何、黨勢には進歩有りや否や。諸般の事情につき詳細に通報有らんことを望む。併せて大安を候ふ。不一。弟孫文謹啓、三月二十四日船中にて。

二伸、事又しても失敗し寔に惜むべし。然れども弟の海外に於ける運動は日に佳境に入りつつあり。遠からずして必ず成議有らん。

現在英米兩方面共に頗る有望なるも、若し英國の事にして成就せば、弟は重ねて南洋に歸り、各同志と切實に一辨法を講ずべし。米國の事に至つては別に方法有り。再び憂慮する必要なかるべし。

一八、日本の萱野氏と菅原氏とへ

——一九〇九年——

1、萱野我兄大鑒

正月二十二日附の貴書は夙に落掌せり。數週前、弟途に市俄古を通過し、曾つて足下の親戚大

塚太郎氏を訪れ、非常なる歡待を蒙れり。唯同氏は甚しく繁忙の様子なりしを以つて、資金の事には談及するに至らず。數週の後には弟再び市俄古に到るべきにより、其の際若し機縁有らば此の事に言及する考へなり。

弟は明日米京に到り、米國の外務大臣並に一二の元老、其他政界の有力者達と會見する考なり。當地の人士は漸く支那問題に注意し始めたるにより、不日必ず其の實力により援助を得るに至るべし。

弟の日本廻航の問題は何時實現し得るや、現在内閣は已に更迭したる由なるが、其の後の對支政策は如何になりたるや。此等の諸點に關し足下より詳細を余に告げられんことを望む。若し信書有らば前回の宛名の場所に郵送ありたし。併せて大安を候ふ。不一。弟孫文謹啓、五月二十日。

2、萱野君英鑒

別後未だ近況如何を審にせず。計畫は能く成就し得るや否や。此の點甚だ以つて念と爲す。弟が某處と交渉中の問題は尙未だ最終の目的を達せず。現に「ピナン」に在つて間居し、君と某處とよりの消息を待ちつゝあり。君が事の進行は如何になり居るや。東京の近況如何、政情

如何等につき君より時々余に告げられんことを請ふ。之が通報を得ば幸甚し。茲に書を致し、竝に俠安を候ふ。不一。弟孫文謹啓、九月七日。

3、菅原君足下

此の頃事を以つて急に京を離れ、未だ告別するに至らず。寔に遺憾なり。然れども先日約せる事は、想ふに忘懷せざるべし。此の頃貴同志等已に政權を握れりと聞く。他方吾人の義兵も亦起れり。之れ眞に千載一遇の時に遭へるなり。而も擧兵後今に至る十餘日、連戦よく大敵に克ち、屢々堅城を破りて軍威大いに振ひ、人心亦附従し、從來の擧事も其の成功の迅速なる點に於ては未だ之に及ぶもの無し。唯現在萬事草創の時なるを以て、人才兵器共に不足し居り、故に今特に足下に托す。代つて貴同志に、政府より暗に一臂の助力をなし、我に貸すに士官を以てし、我に供するに兵器を以つてされんことを求められよ。然る時は清朝の腐政を掃除して、別に漢家の新猷を設くることを得べし。努めて伊藤侯星君等に向つて之を力言されんことを望む。若し暗助の允諾を蒙らば、横濱海岸九番地佛國郵船會社に御出君の上、同志黎煥堉君に通知し、彼に托して電報を以つて當方に通達する様取計はれたく此の儀懇請す。竝に大安を候ふ。不一。弟孫文謹啓、十月二十三日。

此の書面は祕密に附し、新聞紙には一切登載せざる様御注意を乞ふ。

一九、廣州新軍の役に米國の同志へ

——一九一〇年——

1、公璧盟兄足下

一月一日桑港に到り、足下よりの來信を読み、已に香港に送金せるを知れり。我軍は四日に義を擧げ、省城の新軍六千は反正投降し來りたるも、現在尙苦戦中にて勝敗未だ決せず。香港の同志は別に各府縣の兵を起して響應せしめんとしつゝあり。之が爲に資金を需むること頗る急なり。各同志に望む、力を竭して大衆に向つて資金の調達を計られよ。今や事已に發露せるを以つて必ずしも祕密に附するを要せず。此の役は事前に資金甚だ少く、二日には尙借金五千元あり。而も擔任者より未だ曾つて送金無かりし爲、黨軍の大隊は期の如き省城に進む能はず。然らざれば一鼓にして之を攻取し、今日の如く苦戦するには至らざりしなるべし。然れども我軍には六千の新軍有り。尙大いに爲す有る可きにより、若し時に及んで供給救濟せば、成功も大いに其の望みあり。救兵は救火の如し。各自之が爲に努力せらるれば幸甚し。弟孫文謹啓、

庚戌正月七日。

2、公壁盟兄大鑒

今日來電に接したるも、未だ返電せざりしは、省城の新軍又失敗に歸したるに因るなり。今回の事の成らざりしは、僅に五千の資金無く、之が爲に會黨軍は期の如く省城に到ること能はず。此の故に新軍は已むを得ずして發動せるも、發動後資金無き爲、外部に在つて援兵を起して之を救ひ得ざりしが爲なり。幸に二三聯隊は尙能く保全し得て恙無きを以つて、留めて再起を圖ることも不可能ならず。弟は今久しく米國に留り、各地に赴きて同志を聯合して大團體となし、以つて巨款を調達せんと欲す。現下當地は加盟者甚だ多く、人心大いに爲す可き有り。定に告げて以つて慰むるに足るものたり。茲に致し各同志の大安を候ふ。弟孫文謹啓、庚戌正月十三日。

3、公壁盟兄足下

正月十三日の來翰は已に誦悉せり。省城の軍事の大略は已に通報致し置きしにより、想ふに已に覽に達したるならん。貴地の同志の熱心なる關心は眞に得難きものなり。然れども今回の失敗は、舊年末の不足金五千元有り。致公堂は初め之が全額の支出を引受けたるも、送金せる額

は一千九百餘元に過ぎず。致公堂に調達の擔任を約したる者も未だ一文の送金をも爲さず。之が爲に遂に年初に至り黨軍は資金缺乏の爲に應援の計を爲す能はず。新軍の第一聯隊は遂に支へずして退散するに至れるなり。幸に二三聯隊は尙恙無きを以つて、留めて再起を圖り得べし。弟は今久しく米國に留り、遍く各地に至りて同志を聯絡し、藉りて巨金を集め、然る後徐ろに再舉を謀らんとしつゝあり。現在桑港の人心は極めて踴躍し、已に同盟の成立を見、之が規則も已に制定し、一部を抄寫して周超兄の許に送り、彼に請ひて同志を招集して宣布舉行する様依頼し置きたり。弟は桑港に一つの完全なる機關を設立し、然る後他地方に赴きて演説し、以つて分會を設くる考へなり。只現在旅費缺乏し居る爲、未だ新團體を設立する能はず。貴地の同志に乞ふ、尙能く力を竭して此の小額の資金を調達し、以つて弟の行動を可能ならしめよ。西方一帯に良好なる團體を設けたる上は、更に東方に到つて各處に本會を擴張設立すべし。望むらくは、足下並に各同志、力を竭して既成の團體を擴張し、努めて漢人をして夫々一部の責任を負はしめよ。然らば事は容易に爲し得べし。茲に致し、大安を候ふ。不一。弟孫文謹啓、庚戌正月二十日。

二〇、廣州新軍の役に紐育の同志へ

——一九一〇年——

紐育同志公鑒

我軍已に事を起せるも、惜しい哉、事前に資金の缺乏甚しく、二日に至つて尙五千の不足金有り。爲に大隊は期の如く省城に進んで、一鼓にして擒にするの計を爲す能はず。四日に至り新軍反正投降し來りたるも、現在尙苦戦中にて勝敗未だ決せず。仍つて急ぎ外部の兵を起して救援せんと欲す。之が爲に資金を需むること甚だ急なり。各同志に望む、速かに各華僑に向つて資金を籌畫し、以つて此の急を救はれよ。接濟時に及べば成功を望み得べし。幸に坐視して此の良機を失ふこと勿れ。若し一度び省城を破れば則ち大功を成就し得べし。集りたる資金は多少に論無く、速に香港宛電報爲替にて送金ありたし。火急懇願の至りに耐へず。

弟一日桑港に赴き溪記、周超兩兄に托されたる信書は已に受領せり。若し勝利を得ば即日通知すべし。先は右迄、併せて年安を請ふ。不一。弟孫文謹啓、庚戌正月七日。

二一、日本より新架坡に抵りたる後同志と

鄧澤如とへ

——一九一〇年——

1、同志公鑒

弟七月十一日、日本より新架坡に抵る。此の地を離れてより一年有二ヶ月、偶地球を一周せり。經る所五六ヶ國なりしも、圖る所の件は尙未だ最終の目的を達せず。唯進歩は従前に較べて甚だ多きを以つて、將來大なる希望あり。弟米國に到るや、頗る華僑の歡迎を蒙れり。該地の保皇黨員は已に多くは革命に歸依せり。弟固と一年乃至半載の間該地に留つて團體の事を經營せんとせるも、如何んせん、祖國の情勢日に急を告げ、且つ精衛兄等の北京に於ける失事有り。爲に東に歸り近きに就きて自ら一切を籌畫せんとし、日本に到つて二週間滞在せるが、清政府は日本政府に交渉して、弟を久しく留まらしむることを難責せるにより、遂に南下して此の地に來りたるものにして、之れ弟の本意に非らざるなり。然れども既に此の地に來りたる以上、新に團體を整頓して我黨勢力の進歩を求むべし。斯くすれば革命の前途に必ず補ふ所有らん。

貴地同志の熱血は人に過ぐる所有り。必ず良策の以つて違はざるを補ふに足るものあるべし。爲に教を賜らんことを望む。

弟は現在張永福君の花園に寓し居るも、不日當に別に家を覓めて居を移すべきにより。傳書有らば新長美氣付とするか、又は廣憶昌旅館鄧子瑜の處に宛て、郵送ありたし。澤會兄の桑港と布哇とに宛てたる書翰は共に已に領收せり。例の件に關しては追つて面談すべし。茲に義安を候ふ。弟孫文謹啓、七月十四日。

2、澤如同志仁兄大鑒

六月二十九日の書貴拜悉せり。現下新規則改定等の諸議未だ定らず。之が爲に返書遅延せり。然れども足下の處に受取りある盟表は、日既に久しきを以つて、「ピナン」の緞羅申街得昌號黃金慶君宛郵送相成度、同君より弟に手交することとし、暫く弟の手許に保存して、會員章を發給すべし。

今後新規則に於ては一切入會費を取らざることとし、支部の事務費は會員の自由意志によつて喜んで醸出することとせば、新進者の畏縮を免れ得べし。足下及各同志以つて如何と爲す。

茲に致し、竝に義安を候ふ。不一。弟中山謹啓、八月十一日。

3、澤如同志仁兄鑒

茲に貴地の人より英文の書翰一通を受取りたる所、足下に代書を依頼せるものなる旨稱し居れども、内外を審察するに皆同一人の筆跡にて、且つ足下の言葉と思しきもの無し。仍つて今原翰を同封送附すべきにより、足下觀て其の人を穩當なる人物となさば、弟に代つて彼と面會の上、其の欲する英字新聞と英文の書籍とは現在弟の許に其の物無きを答へ、又彼の知らんと欲する革命の總方針は、彼が已に會員たるか、會員たらんことを願ひ出たる者なるか、會の職に在る者に非らざれば告げ得ざる旨申し傳へられたし。若し彼が革命の宗旨を知らんと欲する者ならば、請ふ、足下の知れる所を之に告げよ。窮極するに彼が如何なる人間なるやにつきては、足下より詳細復示されんことを望む。

先は右迄、併せて大安を候ふ。不一。

各同志へ宜敷御傳言ありたし。弟孫文謹啓、陽曆八月十六日。

4、澤如同志仁兄大鑒

貴信竝に盟表三十枚、爲替手形一枚は共に已に受領せり。茲に會員證を送附すべきにより、分給されんことを乞ふ。

盟書の改良は重要性を捨て、輕便に就くものに非ずして、一層嚴密さを加ふるものなり。即ち先きの中間の四語を改めて三語となし、其の夫々に一主義を包含せしめて其の説を完全ならしめ、又先きの中國同盟會會員なる字句を改めて中華革命黨員となし、以つて名實相符合せしめ、且つ南洋各殖民地政府の干渉を避けんとするものなり。蓋し各殖民地には私會を嚴禁す、なる例則あり、英佛兩國の殖民地に於ては先年既に革命黨を政治團體として公認せるが故なり。安南が黨人を送つて出境せしめ、英國の殖民地が之を收納せるが如きは其の一例なり。若し同盟會の名を各殖民地に於て皆登録せざれば、彼の官吏は視て私會となすべきにより、此の點革命黨なる名稱はより有利なり。故に盟書に之を用ふるは頗る至當なり。(米國と布哇とに於ては已に一律に之を用ひつゝあり)團體と團體との往復には兩者を並用して可なるべく、人によつて之を擇ぶこととして然る可し。茲に盟書用式の原稿一枚送附すべきにより、省察の上、様式通り施行せられたし。

更に新分會總則に照し、今後は入會費を免することとし、多くの主盟者を擧げて廣く資金を募集し、地方會の費用は會員に於て均分負擔することとされたし。又本部及支部の従前の方法は多く妥當ならざりしを以つて、今其の組織を改善し、執務員には一定の俸給を與ふることとし、

將來組織完成の時を俟つて豫算表をつくり毎年の本部經費は、各地の分會が分擔し、其の定額に達する迄、各會員に於て釀金し、又支部の經費も各所屬地の分會に於て、前同様の方法によつて分擔釀出することとせり。

毎月の釀金に至つては「ピナン」の同志は、各一株につき毎月五十仙を釀出し、持株の多少は各人の財力に依ることとし、毎月の總釀出高を銀行に預け、慈善の名義を用ひ、六人を選んで之を管理し、此の金は彼等の黨事には使用し得ず、只革命の爲に兵を擧ぐる者の爲にのみ用ひ得ることと爲し居れるが、此の處置にして當を得ば、必ず此の方法を他地方の同志にも通告する考なり。茲に致し、同志各位の大安を候ふ。弟孫文謹啓、八月二十四日。

5、澤如仁兄並列位同志大鑒

近來内地に於ては戸口を調査し、橋税を徴收し、各地の人心服せずして皆反抗を思ふ。之れ大いに爲す有るべき時局なるを以つて、我黨は時に乘じて大學を圖らざるべからず。兄弟の謀る所の歐米各方面の事は尙未だ成就せざるも、若し革命軍起らば此の事も亦立ちどころに議を成す可し。現時の民心と軍心とは皆已に變化せるを以つて、大なる資金を要せずして事を擧げ得べく、若し事前に十萬の豫備費有れば即ち畫策して成功を贏ち得べし。弟已に各地に出信し、

夫々幾何を負擔し得るやを詢ねあり。各地に於て調達し得る金額を合して此の額に達すれば固より可なるも、然らずして少額の不足有る場合も、險を冒して事を發して不可なるべし。貴地は幾何を負擔し得るや、又此の舉を助くる爲に別に他地方より資金を調達し得る方法有りや。以上の各點につき通達あらんことを請ふ。弟は事の一通り落着せる上は、當に行きて各位と面談協議すべし。茲に致して大安を候ふ。不一。弟孫文謹啓、陽曆十月十四日。

6、澤如同志仁兄大鑒

夢生代筆の書翰竝に盟書百四十八枚は已に領收せり。茲に接續の儘の會員證を送附致すにより、切り離して各人に交付ありたし。中には號數の不明なるものあり。番號順に唐の字を補寫して受領者の記憶に便せらるれば、一層可なるべし。

新規則決定以來、各地に於て已に大なる効果を收め、「カタバル」の如きは加盟希望者甚だ多く、現に已に二百餘人に達し、聞くところに據れば、千人の加盟者を得べしと言ふ。茲に規則書數枚を送付すべきにより、遵守施行されんことを祈る。最も重要なるは十三款なるを以つて新舊會員を組織して排、列等となし、切實に之を實施せられよ。斯くすれば團結を鞏固ならしめ得べきも、然らざれば依然散沙に等しからん。

弟が先きに米國にて調達に當りゐたる巨款は、此の頃該地よりの消息によれば、速に集め得ざる趣なるにより（絶望には非らざるも）弟は意を決して今後は再び外部に於て他人に向つて求めざることとし、我黨の力を盡し、以つて再舉を圖ることとせり。惟ふに現在の時局の良好なると、人心の大いに變化せる事實とに徴し、軍隊も大金を需めず、十萬の資金にて準備を爲し得べく、一度び事を發したる上は、弟親を行きて師を督すれば、成功も不可能にはあらざるべし。而して此の十萬元の内、「フィリピン」のみにて三四萬元は負擔し得べきにより、殘餘額は各地の同志に於て負擔し、各自が義務の一部を盡し、衆力を合して事に當れば、必ずや容易に調達することを得べし。貴地の同志は能く幾何を負擔し得るや、若し力足らざるに於ては、宜しく團體を擴張して多人數とし、各人の醸出額を少額ならしむれば、容易に効果を擧げ得べし。此の資金は冬季中に需要するものなるにより、各同志と豫め之が對策を講ぜられんことを請ふ。弟は今某處よりの來信を俟ち、一二ヶ月以内には自ら「フィリピン」に赴きて此の資金を集むべく、或は豫定額以上を集め得るやも知れず。幸に協力して之を謀れ。茲に致し、併て大安を候ふ。不一。同志各位に宜敷く傳言ありたし。弟孫文謹啓。

7、澤如同志仁兄大鑒

貴友李君、民鐸社員楊君と「ピナン」に來り、足下の彼等に托せる書面を拜讀し、且つ兩君の言により各般の事を知るを得たり。足下大局の事を切に顧念せらるゝ趣、寔に欽感に耐へず。「ボンチャナク」行きの一事は、漢民兄の南來を俟ちて、楊君と共に赴けば或は効果を收め得べし。楊君も亦深く以つて然りと爲す。且つ徐ろに之を圖れば、弟にも別に考ふる所あり。足下數週間の時日を犠牲にし、親ら來つて協議助力さるれば、事の成功を望み得べし。本書閱讀の上は如何に繁忙なりとも必ず急ぎ來臨あらんことを請ふ。至急、切望す。余は面談の上にて。以上要用のみ。併せて大安を候ふ。不一。

同志各位にも宜敷く。弟孫文謹啓、十月二十八日。

8、夢生、澤如兩兄同志大鑒

來書敬悉、澤如兄は一週間の後、事の處理完了を俟つて惠臨せらるゝ由、斯くても尙未だ遲しと爲さず。弟は當に此の時の到るを待つべし。不取敢返書し、竝に大安を候ふ。不一。弟孫文謹啓、陽曆十一月三日。

9、澤如、夢生兩兄同鑒

琪羅よりの來信は已に收讀せり。源水、秋露二君が斯の如く踴躍して義軍の援助を謀ることは

實に欽敬に耐へず。各地の同志も亦喜んで賛成し居るを以つて、想ふに此の度の舉は必ず能く目的を達することを得べし。

先きに書を寄せて囑せる件につきましては、各位已に命の如く之を行ひ、贖金簿も五十冊に達せる由。兄等は何日に能く出新し得るや。弟も當に同時に行きて受領すべし。

福州より鄧子瑜に來信あり。該地の人心は多く革命に向ひ、現に同志百數十名有り、皆同地の人望ある人々なりと言ふ。兄等の友人にして該地に仕官し居る者無きや。若し有れば兄等が該地を訪るれば、必ず能く大いに心願に酬ゆることを得べし。

楊錫五君は、民鐸社員の言に據れば、確に未だ加盟し居らざる由。弟の總名簿を詳査せる結果によるも、未だ其の名を見ず。然れども未だ加盟せずして、心力を盡して革命を助けし者は、嘗つて其の人有り。我黨も亦必ずしも之に拘泥するを要せず。只楊君は自ら認めて援助者となし居るものなるべきも、無爲は有爲に似ることあり。故意に僞るものなるやも計り知れず。其上彼の同輩の言に據れば、彼の平常の人品は平凡にして、衆の欽仰するが如き行ひ無しと言ふ。而も貴地に到るや兄等の敬服する所となる。之れ恐らくは爲さんと欲する所有つて之を爲すものならん。又彼の同輩の言ふ所によれば、「ボンチャナク」の廖季等君は實に熱心にして

全黨に同情を表し居るも、個人的に特別の感念を有し居るに非ずと。之れ亦楊君の言と符合せず。此の間の事情につき、兄等が詳細に之を審察せらるれば幸甚し。蓋し世の偽君子の患を爲すこと、眞の小人に較べて一層甚しきものあるが故なり。弟文頓、陽曆十一月二十日。

一一一、米國より日本經由南洋に赴ける

後吳稚暉へ

——一九一〇年——

稚暉先生大鑒

八月二十三日の來翰は已に收讀せり。計畫中の事尙未だ成就せず。爲に手を下すにも猶躊躇せざるを得ず。聞く、石貞君現に北に在りと。先生より彼に通信し、之が方法の調査を依頼し得ざるものなりや。弟は現在「ピナン」に在り。若し良き消息を得ば通報あらんことを請ふ。近來廣東及南洋の黨勢には頗る進歩有り。米國に於ても同様なる進歩有りと聞く。此の情勢を以て進まば、他日必ず良好なる結果を得べし。

茲に書を致し、敬んで大安を候ふ。不一。

夫人令嬢令息へも宜敷く。弟孫文謹啓、九月二十七日。

一一二、「ピナン」より日本へ到りたる

後紐育の同志へ

——一九一〇年——

紐育同志公鑒

六月十五日「ピナン」より無事日本に到り、現に東京に寓居しあり。數日前一通の長函を「ピナン」に寄せ、該地の同志に托し、其の一部を抄寫して貴地の同志に郵送する様依頼し置きたるが、該書郵送後、清政府は種々なる手段を用ひて日本政府と交渉し、爲に日本の外務大臣は頗る之が爲の紛擾を苦慮し、弟の久しく日本に留ることを欲せざるの意有り。其の他の大臣は以つて然りと爲さざるも、此の事は全く外交問題に屬するを以つて、恐らく他の大臣は容易に干渉し得ざるべく、従つて弟は久しく留り得ざるやも知れず。一兩日中に重ねて閣議を開く由なるにより、當に分明する所有るべく、其の結果の如何は再報すべし。

茲に致し併せて大安を候ふ。不一。

追而先きに公鑒兄より來翰あり、長沙の排外事件に關し問合せありたるが、同事件は全く餓民の舉動にして、革命黨の所爲に非ず。仍つて茲に覆す。弟孫文謹啓、庚戌六月二十二日。

二四、「ピナン」より紐育の同志へ

——一九一〇年——

1、紐育同盟會列位義兄公鑒

弟桑港より「ピナン」に來り、先きに信書を差出し置けるが、想ふに已に覽に入りたるべし。弟「ピナン」に來りてより已に一週間を逾ゆ。前週の日曜日、同志が劇場に於て弟の大歡迎會を開催し、來會者二千餘人に達し、人心頗る躍如たるものあり。全く昔日の比に非らず。歡迎會後、每晚自由新聞社の二階に於て加盟會を開き、場所的障礙有る爲、每晚の招待者は百數名なるも、來會者は皆喜んで加盟し、先を争つて後れんことを恐るゝ有様にて、人心の進歩を證するに足るものあり。革命の前途の爲に慶賀すべきことなり。

先きに同盟會が各地に於て制定せる規則によれば、盟書は皆當に其の人自身が記入するを要し、文字を書き得ざる者は紹介者が代つて之を書き、本人が捺印するか又は摺印を押して證據

となすこととなり居るも、昨今「ピナン」に於ては每晚の加盟者多く、爲に各人自身が記入すれば數時間を費しても尙記入し終らず。初日と二日目の晩には二時間餘を費し、商工業者たる各人は甚だ之が爲に不便を蒙りたるを以つて、其の方法を變更し、加盟者は只原籍と姓名と月日のみを記入して捺印することとあり。斯くすれば多くの時間を費すが如き不便無きを以つてなり。此の方法は「ピナン」に於て始めて創始せるものにて、一晚の入會者が百名以上に達する如きことは、他地方に於ては未だ曾つて見ざる所なれども、今後人心の進歩日に速となり、風潮一日千丈の勢となれば、將來各地とも亦「ピナン」と同様の状態となるべきにより、此の方法は他地方にも推し廣めて然るべく、先きに盟書を送附せる各地に於ても、同様此の方法に倣ひ行つて不可なかるべし。「ピナン」の同盟會は創立匆々のことなるにより、諸事未だ定り居らざるにより、二三週間の後、職員の撰定を終りたる上、書翰を以つて通告する所有るべし。先は以上懇請まで、茲に大安を候ふ。不一。弟孫文謹啓、庚、陽曆四月八日。

2、紐育同志列位仁兄公鑒

唐麟兄よりの四月二十日付書翰は已に受領し、閲讀して一切を諒承せり。長沙の亂は、當地に於て傳聞し、更に新聞紙の傳ふる所に據れば、事前には何等聞く所無かりし由なるにより、一

時的暴動に過ぎざるべし。而も新軍の之に附和せるより見れば、彼等の素志が久しく虜廷に反對せるものなることを知り得べし。故に如何なることあるとも、情勢は總て我黨に有利なりと言ひ得べし。

精衛君は北京に赴き、身虎口に入つて圖る所有らんとせるも、不幸事敗れて逮捕されたり。昨日香港の漢民君よりの來電に接したるが、其の電文に云ふ「精は永禁せられたり」と。蓋し精衛君は虜廷の爲に終身監禁に處せられたるなり。虜が彼を殺さざるは、己の心に顧みて敢へて爲し得ざりしに依るものなるべし。然れども我黨が一人の文武兼全の有能なる黨員を失ひたるは、殊に深く痛惜すべきことたり。今後我黨の同志は如何にもして勉勵し、以つて一己の份を盡して、我に先きだつて犠牲となれる者の志に酬いざるべからず。請ふ共に之れに勉めよ。弟文頓、庚、陽曆五月五日。

3、紐育同盟列位仁兄公鑒

弟省城の新軍失敗後、素と久しく米國に留り遍く各地に到り、人心を聯絡して革命の大業を贊助せんと欲せり。革命軍の近年事を擧ぐるや、皆未だ外地諸同志の大なる助力を得ず。之が爲に財政窮乏して事に敗れたるなり。若し海外の同志と洪門會とが、能く聯絡して一團體となつ

て革命を贊助せば、米洲を合計して既に四五萬人を集め得べく、決して事を爲すに難からず。各人が毎月一元宛を支出すれば、一年の内には數十萬元を積むことを得べし。而して此の一臂の助力を得ば、大事の成らざるを憂ふるに及ばざるなり。弟桑港に於て此の事の經營を開始せるも、「ピナン」の同志より急電有りて催促を受けしにより、先づ彼の地に行き、二ヶ月の後桑港に歸らんと考へゐたるも、此の頃又東方よりの來信に接し、中國内地の各情勢が一層急を告ぐるに至りたるを知り、遂に意を決して五月三十日「ピナン」より日本に赴き、同志を會して善後措置を講じ、若し暇有れば必ず弟自ら重ねて渡米して聯絡の目的を達せんことを期し、若し自ら到り得ざれば代理の者を派遣して代つて此の事を行はしむる考なり。若し他日弟の依頼を受けし者が貴地に赴ける場合は、各位の力を竭して之を助け、以つて聯絡の舉を助成せしめられたし。又貴地に赴ける者は必ず弟の自筆の書を持參し居るべきにより、之れ無き者は僞せ者として充分御注意願ひたし。

現在米洲各地の華僑は漸次革命に歸依する趨勢有り。望むらくは各同志に於て務めて此の機に乗じて、革命思潮を鼓舞し、日に進んで已まざらしめよ。然る時は將來聯絡の事は自ら當に易易たるべし。更に會つて省城の軍事に力を致せし者の姓名を悉く列記して通報し、以つて證書

の發給と報酬の受領とに便せしめられんことを請ふ。

若し信書有らば當分は従前通り「ピナン」の自由新報氣付として郵送ありたし。渡日後は手紙の宛名とすべき住所決定次第直ちに通知すべし。各般の情況は渡日の上、重ねて報道すべし。茲に致し併せて籌安を候ふ。弟孫文謹啓、庚、陽曆五月二十五日、「ピナン」より。

追而鐵夫兄と溪記とよりの來信各一通は確に受領せり。

二五、歐米再渡前鄧澤如等へ

——一九一〇年——

1、澤如、夢生兩兄惠鑒

弟此の頃要務有り、近日中に歐米巡遊の途に上らざる可からざることなれり。然れども今回は急ぎの旅なるを以つて、尙期に及んで歸東することを得べし。

南洋に於ける資金調達の事は、既に略其の見込みあり、且我兄も極力提唱しつつあるを以つて、必ず大なる効果を擧げ得べし。弟より漢民兄に打電し、香港より當地に來つて、各般の事務を擔任すべきことを依頼し置けり。望むらくは兄等力を竭して共に籌畫し、務めて完全なる處置

をとらんことを請ふ。時機既に近きを以つて、吾人は破釜沈舟の計を爲すを要す。經濟的には一仙を多く得れば、一仙だけ多くの準備をなし得る譯なり。大局の情勢は火を観る如く明かなるを以つて、箇中の得失は贅述を要せず。我黨は熱心なる人士に乏しからざるも、之れ迄は力を分散せる爲、勢力薄弱となり、且つ未だ事に先きだつて備へを爲さず。常に時に臨んで資金の調達に當りし爲、井を掘れども渴を止め得ざるの憂ひありたり。今全力を擧げて經營し、經濟問題に關する限り、前車の轍に鑑みて、此の憂ひを除去せざる可からず。而して此の問題を能く解決し得ると否とは繋つて兄等の運動に在り。其の責を負うて勉めて難きを爲すは、海外の賢者の祖國に對する第一の責任なり。先きには弟何「ピナン」に在りし爲、登固兄等に約して、來つて協議せんことを請へるも、彼等は暇無くして之を爲すに至らず。將來とも彼等が來らざる場合は、諸般の事は近きに就き、香港の事務擔當者等と協議せらるべし。先は右要用のみ。併せて偉安を伺ふ。弟孫文謹啓、陽曆十一月二十六日。

2、澤如我兄大鑒

一昨日書面を差上げ置きたるが、想ふに已に貴覽に達したるならん。蝶生と源水とには弟より已に手紙を差出しあり、秋霞と黃子とには別れに當つて英文の書を與へ置きたり。「ラフアン」

に従前通り兄の友人が仕官し居らば、彼の地に赴けば必ず能く其の助力を得べし。又新架坡に於ても若し源水、秋霞と漢民と協力して運動せば、其の成績は必ず期して待つべきものあるべし。兄が知己多からざるを以つて専ら「ラブアン」を志すは、當を得たる方法なりと言ふを得べし。仍つて茲に該地同志の姓名を調査し、且つ紹介狀一通を作成し置きたるを以つて利用ありたし。該地に於ては偉廷も勢力者なるを以つて、彼の同情を得ば尤も佳ならん。

次に兄が該地に赴きて貴友に遇はれし際は、必ずしも釀金の事は之を言ふ必要なし。寧ろ交情を利用して自然に其の事に迄誘動すれば尤も妙なりと言ふを得べし。關丹、林明、武叨は近日一層の進歩ありと聞く。夢生兄に既に親友有れば、最も好都合なるべし。茲に該三地への紹介狀をも同封せるにより、夢生兄に行きて處理されんことを懇請せられたし。

漢民は明日「デリー」に赴き、一週間の後始めて太平、頃羅を経て新架坡に至るべく、途中「セレンバン」に立寄つて兄と敘談すべし。

餘事は已に前便に詳述し置けるを以つて、専ら右要用のみ茲に奉覆す。併せて偉安を頌ふ。

本書翰を書き終りたる後、漢民と語り、談じて關丹、林明、武叨の同志の事に及びたるが、彼等とは久しく已に通信せず。爲に現在の事務擔當者と機關の所在地とにつきて調査する必

要有り。然る後夢生兄に與へて始めて運動に利せしむることを得べし。想ふに夢生兄は、漢民が新架坡に到りて右の各項を調査し、紹介狀を書きて郵送するを俟ち、然る後該地に赴けば更に一層良好なる結果を得べし。弟孫文謹啓、陽曆十一月二十八日。

二一六、再渡歐の途次鄧澤如等へ

——一九一〇年——

澤如、夢生、並列位同志仁兄大鑒

弟十二月六日「ピナン」を發し、十日「コロンボ」に抵り、碇泊數時間の後、又解纜して西へ向へり。今後南洋と相隔ること日に共に遠ざかるを以つて、中途は或は書を致すに便ならざるべく、渡米後又は歸華後、始めて能く音信を通じ得べし。

弟の此の行には特別の外交的使命あり。之が爲に是非英京に赴く必要あり。更に又南洋に於て調達し得る資金は、恐らく十萬元に達せず、之が爲に舉事の期を誤る懼れ有るにより、速に渡米して彼地の華僑に向つて此の額の資金を調達し、以つて需要に應ぜざる可からず。想ふに此の行に於ては目的を達すること可能なるべし。即ち此の半年來華僑にして思想の開通せる者頗る多く、

且つ調達せんとする金額も多額ならざるにより、之が調達も必ずや容易なるべしと思考せらるるも、其の間の事は兄等に於て力を竭して之を圖り、以つて別途並進の效を收められんことを望む。漢民兄とは想ふに已に面會して一切を協議せられたることならん。茲に致し並に列位の義安を候ふ。弟孫文謹啓、十二月十日。

二七、滔天、宮崎、萱野等へ

——一九一〇年——

1、滔天先生大鑒

弟去夏貴國に到りたるも居留する能はず。已むを得ずして南洋に赴けるも、彼の地に於ては些して、爲す可き無く、爲に再び渡米し、現に革命運動に從來しつあり。此の地は甚だ自由にして、爲さんと欲する所を爲し得るも、唯不便なるは中國を去ること甚だ遠く、交通に頗る時日を費すことなり。若し先生能く法を設けて陸軍大臣に向つて運動し、余の渡日と日本在留との許可を得ば、北洋陸軍との交通も甚だ便利となるべきにより、弟は必ず即時日本に赴きて居住すべし。然れども貴國の政策は變更され、既に朝鮮を併呑し、更に支那をも合併せんとしつ

つあるを以つて、恐らく余の如き革命黨員の國內居住を願はざるべきも、若し然らざれば陸相の運動は必ず能く效を奏し得べし。仍つて本書受取り次第返書賜り、以つて貴國の政策を占ふに便せられよ。且つ時々貴國の時事政情等を詳細に指示し、東方時局の變遷を知るに便せしめらるれば幸甚し。

先きに南洋に寄せて母を慰められたる貴信を拜讀し、隆情に感謝せり。茲に致し、竝に大安を候ふ。不一。

萱野君に宜敷く。弟孫文謹啓。

2、宮崎先生大鑒

正月十八日附の貴書と東亞義會の會則一枚とを接讀し、喜び極りて狂せんと欲せり。寺内陸相、陸軍將校及民間の諸人士が既に斯の如く支那革命に同情を表する以上、我が事は以つて憂ふる無きを得べし。此の頃英米兩國に於ても政府人民俱に大いに我黨に同情を表し、恰も佛國の態度と同様なるものあり。只英米の政府は皆日本に支那を併呑する大野心有るかの如く疑ひつつあり。弟も貴國の政所が會つて弟の居留を許さざりし一事に徴して、貴國の政策が事實に於て斯の如きものなるに非ざるやを疑はざる能はず。然るに今東亞義會の發起人が多くは故交舊識

なるを見て、心中稍釋然たるを得たり。唯未だ民黨の力が能く政府の野心に勝ち得るや否やを知らず。

弟頗る再び横濱に到つて足を駐めんことを欲す。若し能く弟の爲に法を講じ、政府と交渉して其の許可を得らるれば實に至幸たり。先生及犬養、頭山の兩翁に於て、代つて力を竭して之を圖られんことを望む。懇願の至りに耐へず。

弟が米國に在つて謀りつつあることは、機局甚だ佳なるを以つて、不日當に目的を達することを得べし。

不取敢右迄、併て大安を候ふ。不一。

犬養、頭山の兩翁へ宜敷御傳言ありたし。弟孫文謹啓、二月十五日。

3、滔天先生足下

久しく未だ音信を通ぜず。想を馳すること切なり。此の頃克強兄よりの來信に接したるが、足下の近況は非常に困窮し居り、而も警吏が贈賄せんとせるに對し、足下は拒絶し、之に痛撃を與へたる由を述べあり。克兄は、足下は熱血男子にして、困窮しながら其の廉節と可風とを濫らざる者なるを以つて、弟より感謝と慰問との書を寄するを要すと述べあり。弟素と此種の行

爲が足下の天性にして、異と爲すに足らざるものなることを知る。然れども足下が他國の事の爲に、堅貞自操、備さに斯の如き艱苦を嘗められつつあることは、吾人の自ら問うて深く慚愧する所なり。弟此の事を同志に告げしに、人皆感激奮勵せり。之れ足下の天性流露の徴なるものなり。而も已に吾人の爲に盡すところ斯の如く多し。寔に感謝の意を述べて言辭無きに苦しむものなり。

足下と握別して以來、事變萬端、革命は曾つて防城、南關、河口等の處に於て三度び事を擧げしも、未だ一度も目的を達する能はず。之れ皆財力乏しき爲、布置充分ならざりしに依る。故に今後は斷じて再び輕舉せず。暫く元氣を養つて後、再擧を圖る考へなり。然れども虜の帝后死後、各省の人心は之が爲に一變し、躍々として動かんとし、殆ど日を終る可からざるの勢有り。只吾人に財力乏しく、能く時に乘じて起ち得ざるは、寔に惜む可きことなり。

弟最近歐洲の一名商よりの來信に接したるが「經濟上の計畫は之を圖る可き機運有り。貴下は何時渡歐して此の事に關する商議を爲し得るや」と述べあり。想ふに此の言は余を欺くものに非らざるべし。弟本と速に途に上らんと考へ居るも、旅費乏しき爲、行を成し得ず。故に目下四方之が工面をなしつつあり。近日中には或は某方面より調達し得るに至るべし。若し渡歐後

歐洲に於ける資金調達に成功し得れば、其の他の問題は刃を迎へて解くことを得べく、吾人が艱難辛苦して求めつつある一生の願望も、亦能く酬いらるる日有るに至るべし。想ふに之れ足下の聞くを楽しむ所なるべきにより、弟敢て豫め告げて以つて慰めとする所以なり。茲に致し、竝に大安を候ふ。弟孫文謹啓、三月二日。

4、滔天兄鑒

弟已に病氣消えて本日外遊の途に上り、清氣を吸うて體魄を抒べつつあり。

先日某君の來訪せる時、弟已に言に應じて言を盡し置きたり。若し能く弟の言の如く行はば、中國の前途には大いに裨益する所有るべし。餘は即ち能く弟の力の及び得ざる所なるを以つて、重ねて面談する必要無きが如し。

茲に覆し、併せて大安を候ふ。中山敬覆、四月一日。

5、宮崎先生大鑒

先生貧にして病むと聞き、弟が心殊に戚々然たり。客途力無く、案ずれども能く助くる莫し。故に久しく音問を缺きたり。今僅に日本金百圓を送り、横濱永新祥商店の林清泉君に托し、代

つて先生に手交する様依頼し置きたるにより、查收あらんことを祈る。固より杯水車薪、能く

事を濟ふ莫きを知る。唯以つて些か區區の情を表するに過ぎず。幸に諒承せよ。

弟近日加奈陀を遍遊し、到る所に於て頗る華僑の歡迎を蒙りたり。不日當に能く大いに目的を達することを得べし。之れ告げて慰めと爲すに足るものなり。日本の近時の情勢如何につき時時詳細に通報し、一切を周知せしめらるれば幸甚し。

茲に致し竝に大安を候ふ。夫人、令息各位へ宜敷傳言ありたし。弟孫文謹啓、四月一日。

6、宮崎先生大鑒

二ヶ月前弟曾つて日本金百圓を送金し、横濱永新祥商店の林清泉君に托して先生に手交する様依頼し置きたるが、受領せられたりや。

弟最近加奈陀より米國に來りたるが、明日は米京に行き、主として米國政界の有力なる人士と面談する考なり。想ふに良好なる結果を得ることなるべし。

此の頃聞く所によれば日本の内閣は更迭せる由なるが、對支政策には變更有りたるや否や。弟の日本入りの問題は、新内閣に向つて談判を再開し得るや否や。近來の東亞の大勢如何、日本の人心の趨向如何等につき、時々詳細に通報し、取つて以つて策を決するに資せしめられんことを請ふ。犬養、頭山等の諸公の發起せる東亞義會の進行如何、入會者の多少等につきても併

せて指示されんことを乞ふ。茲に致し、大安を候ふ。不一。弟孫文謹啓、五月二十日。
7、滔天、萱野兩先生鑒

十月五日の來書を接續し、弔慰に感謝せり。

近日我黨は窮極無聊にして、勢ひ久しく待ち難きものあり。此の故に大冒險に出で、破釜沈舟の策を爲して、速に再舉を圖らざるを得ず。弟今重ねて歐米に赴くこととし、十二月六日に出發し、數ヶ月以内には當に歸東し、期に應じて事を舉ぐべし。北京の各軍隊も亦近來歸依して、大いに革命に同情を表しつつあるを以つて、他日の舉は必ず成功するに至るべし。

足下等の日本に於ける運動は如何なる状態なりや。有力なる某當路者は已に歸國せるや。能く一臂の援助を望み得るや否や。速に實情を偵察して畫策の準備たらしめんことを望む。若し好き便り有らば、速に別紙英文の住所に宛てて御通知あらんことを請ふ。先は要用のみ。併せて大安を候ふ。不一。弟孫文謹啓、十一月二十七日。

二八、渡米せんとするに當り巴里より 倫敦の吳稚暉へ

——一九一〇年——

吳先生鑒

昨日の先生の意は、此の事を全部公表して第三者の疑ひを解き、公道を世に示さんとするものなりしが、弟之を再思したる結果、先生の言は甚だ正當なるも、世人の見て疑ひを存する所は、多くは金錢の使途に關するものなり。故に弟の發起せる第三革命に於て、外助に依つて得たる所の財の悉くを明確に公表すれば可なる如きも、斯くすれば前援助者の醸出額の少きことを發表する結果となるべく、之れ殊に吾人の面白からず考ふる所なり。且つ前三回の成績より推せば、一回は一回毎に増加し居る故に、明白に表示せば新に革命思想を有するに至りたる者をして、其の疑惑を消除せしめ得べきも、之が爲に次回の資金調達に當りて多額を集め得ざるやも知れず。且つ前二回の援助額は決算報告を爲す程のものに非らず。第三回の資金は多くは外助により、南洋各地の人々が少額宛を醸出して數萬元に達したるものにして、其の醸金者は千數百人に達し居る

を以つて、現在弟も其の數目を詳細に知悉し居らず。各釀出金の收入と支出とは、安南に在りし當時は弟自ら之に當りたるも、弟が安南を離れたる後は漢民が之を處理し、受入金各處に分給し之が使用に關する事は河内の五家字號に於て處理し、欽廉、廣西、雲南の三箇所に於て使用せり。又潮惠の資金は香港の同志が之を取扱ひ、日本に於て武器を購入し船舶を雇傭せる資金は富裕なる日本の商人に於て處理し、此等は皆數目を明記しあり。收入に比して一萬餘元の支出超過となり居れり。(之れ即ち河内の不足額なり) 弟の書ける各地の收入金は大約の數にて、詳細を記憶し居らざるを以つて、多少實際額との相違有るを免れざるべし。而して受入金は多くは精衛に於て取扱ひ、支出金は余と漢民とが取扱へり。此の點を明瞭にせば恐らく疑惑を解くことを得べし。更に此の三名の外に、各資金の收支の經緯を知れる者には尙多數の事を共にせる同志あり。巴里の張驥先生も亦其の一人なり。請ふ、先生に於て長文の一篇を作り、公道に遵據せる批判を加へられよ。然る時は新に革命に共鳴せる人々の心も、自然釋然たるものあるに至るべく弟の運動も従つて効果を收むるに至るべし。更に述ぶる所の事實を悉く第三者の言とすれば、弟自身の言とするに較べて一層有力なるものとなるべし。此の地に留りて面談し度きにより、今晚暇有らば弟の寓に來りて敘談されんことを請ふ。(原文缺字三十五字) 弟文字(缺字二)論難する

者は余を以つて名を得て、利を攫む者なりと爲し、余の革命經營の真相を知らず。即ち甲午(一八九四年)以前に於ては余の爲に虚偽の宣傳爲すが如き留學生無かりしも、乙未廣州の事に失敗するや、舉國の人士は皆余を以つて大逆不道となし、亂臣賊士となし、或は匪徒海盜となせり。當時若し陶成章の如き者有らば、想ふに同じく此等の名稱を冠せらるるを欲せざりしなるべし。然るに今日、風氣次第に開け、留學の士は革命を以つて大なる光榮の事業と爲すに至り、陶等の諸輩は始めて他人の名を得るを嫉視するに至れり。然れども余の初志は只管大義に赴き、宗旨を行ふに在り。事を共にせる各同志も亦皆然り。今日名を得んが爲に始めて革命を談する者有るが如きは、余輩の全く豫期せざりし所なり。此の故に彼等は風氣は開けたるも道德の退化せる者と言はざる可からず。

余を以つて利を攫る者となし、而も革命に従事せざる以前の余が、社會に於て經濟的に優秀なる地位を占めたることを知らず。即ち余にして若し革命に従事せざりしならば、必ずや余の地位を失はず世人の欲する所の快樂は余も亦之を得ざるなかりしならん。然るを革命に依つて利を攫るとは何たることぞ。且つ廣州に於て革命を圖りし當時、資財を以つて贊助せし者は固より幾人も無く資金を援助せし者は、香港の一兩人が數千元を醸出せると、布哇の人士が數千元を出資

せるのみにて、合計一萬元に過ぎず。而も數年間の經營と數省の聯絡と、羊城の失敗に依つて起きたる事象とは、已に一萬餘元の資金を以つてしては能く整理し得る所に非ず。之れ人の皆知る所なり。然らず其の餘の財は何處より來りたる乎。皆余の兄と余との支出せるものなり。又庚子年間惠州に於て兵を擧げたる費用と、他地方の經營救済に要したる費用とは、之れ亦十萬餘元を下らざりしも、之が爲に出資せる者は、香港の李君が二萬餘元を出資し、義俠心ある一日本人が五千元を出資したるのみにて、其の餘は余一人にて籌畫調達せり。然れども之によつて余の財力は已に盡き、爾來緩急共に皆家兄の助けに依り、妻子の生活費も亦家兄が之を支出せり。斯の如く革命に従事してより十餘年間、所用の經費は多くは余等兄弟二人が之を負擔し、同國人及日本人の援助に依つて得たる金額は、前後合計するも四五萬元に過ぎず。若し余が十餘年の時日を費し、革命に藉りて他人より四五萬元の資財を攫取せんとせる者ならば、寧ろ賣藥と醫業とに専念すべく、之によつて毎年一萬餘元を得るは困難なることに非らざりしなり。之れ香港廣東方面の各人の均しく知る所なり。更に其の他の事業、投機等に依つて獲る所の利益も亦之に過ぐる所ありしなるべし。此の故に若し利を圖らんが爲に計を爲す者ならば、何ぞ革命を樂しんで、生計の爲の地位を失ひ、余の固有の資財と、我が兄の恆産とを失ふが如き事を爲さんや。(二年前家兄は

布哇に於て窮乏之餘、遂に破産せり。而して其の原因は皆其の資産を擧げて革命運動を助け、已にして流動資産盡くるや、固定資産を抵當として金を借り、期に到つて償還し得ざりし爲、債權者が其の財産を競賣に附したるが爲なり。方今居を香港に還して他人の籬下に寄居し、耕種を以つて業と爲し居りしも、最近借地料を完納せざりし爲、將に地主の逐ふ所とならんとしつつあり。然るに陶は更に誣ひて、九龍に洋館を建てたりとなす。夫れ家兄は本と地主にして且つ實業家たり。余が若し革命に従事して其の産を破らざれば、洋館を建つるが如きは尋常の事たり。陶等何ぞ多言するを得んや。)之れ庚子以前に余が革命事業に従事したることによる、余一人に關する得失の結果なり。

庚子以後は中國内外の思想日に開け、革命の風潮日に漲り、忽然として萍郷の事起るや、人心大いに歓迎せり。時に余日本に在り。財力甚だ乏しかりし爲、運動靈敏ならざりしが、忽ちにして該地方の同志より五萬金の援助有り、始めて事に従ひ、人を派して湖湘方面と消息を通達したるも、萍郷の軍は武器無くして已に解散せり。(此の事は鑛山労働者の一時的變亂より起り、初め未だ計畫無くして發動せる爲、發動後該地方の同志も、多くは援助するに至らず。之が爲に支へ得ざりしなり。)然れども之が人心を刺戟し、爲に已に止む可からざるに至れり。仍つて計畫を決

して南行し、日本人より得たる資金一萬四千元と、前述の五萬元とを以て擧兵を圖り、初め潮と惠とに於て事を起さんとせり。而して潮州に於ては期せずして黃岡に事を擧げて遂に成らず。惠の七女湖に於ても倉猝として之に應じて起ちたるも亦功無く、茲に於て吾人は轉じて欽廉に向ひ、該處の軍隊と約して遂に防城を破つて靈山を圍めり。然れども此の時已に兵器を購入せる爲、資金の全部を費消し盡し、安南の同志が引續き資金を調達して軍需を助け、精衛も亦自ら南洋に赴きて資金の調達に當りたるも、集め得たる金額多からず。欽軍の首領は遂に資金の少きを口實にして約束通り來降することを肯んぜず。斯くて欽廉の事は遂に成らず。吾人は轉じて鎮南關の砲臺を破り、以つて欽軍の發動を促せるも又成らず。余は遂に關を出でて安南に入りしが、文淵を過ぐるに當つて清偵の探知する所となり、廣西の官吏は龍州の佛國領事に托して、安南に到つて余の蹤跡を調査せしめ、遂に余の寓居が某街の洋館なるを知り、次で此の事を密告せる爲、清政府は佛國政府と交渉し、余に逼つて安南を退出せしめたり。仍つて余は新架坡に到りたるが、余の新架坡に到れる後、河口の事起り、四砲臺を占據して、清の邊防督辦を誅し、清兵を降せり。此の時陸の軍は本と進んで雲南全部を占據し得べかりしも、指揮に其の人無く、糧食續かずして遂に退けり。

以上潮州、惠州、欽廉、鎮南、河口の五役と武器購入及び諸般の運動に要したる費用は合計二十萬元に近く、其の半は南洋各地の同志の醸出せるものなり。而して革命の爲の資金として初めて南洋に於て調達せるものを合算し、其れ以來南洋に於て集め得たるもの全部を茲に列記せば、精衛が蘭領に於て集めたるもの三萬餘元、英領に於て集めたるもの一萬餘元、計四萬元。安南、東京及暹羅に於て集めたるもの約五六萬元なり。余の手に受取れるものは前述の同志より得たる五萬元と、日本人の出資せる一萬四千元にして、河内の不足金と其他の各項の支出とにつきては夫々皆數目明確にして、皆仲介者あり。梁秀春が五千元を詐取し、船舶費及武器購入費數萬元を數度に互つて盜取せると、更に他の一人が千餘元を詐取せると、陶成章が一百元を費消せるとを除けば、其餘の金は些して冗費せず。余自身は此の二ヶ年間、居住費、食費、旅費の外は殆ど一錢の費用も使はず。之れ同輩の共に知り共に見る所なり。而して此の間余の名義に屬する資財を公用に充當せるもの一萬四千元、家人が個人として蓄へゐたる金錢並に首飾の類にして公の費用に充てたるもの、之れ亦千數百元なり。之れ余が利を貪りし實跡にして、固より天下に照示すべきものたり。

又東京の同志が官費の通帳を抵當とし、其の金を貸付けたることに對して、余が代つて辨償せ

ざることを責むる者あり。之れ寔に余の罪なり。更に家兄が家財を抵當として今日の破産を致せるは、之れ亦余の罪なり。又河内の五家が保證人となり居る一萬餘元を、今に至る迄、猶償還せざるは之れも同様に余の罪なり。而して現在此の如何とも爲し得ざる時に際して、陶は南洋に於て革命の名に托して、尠からざる金銭を集め居る由なるを以て、當然此等の負債を償還するの責ありと思考す。何が故に之を爲さざるや。

又謂ふ、南洋に於ては保護手形を出しつつありと。然れども之れ蘭領の一隅に於て同志が發起して行ひつつあることにて、本來自由行動に屬し、效果の如何に至つては、余未だ全く之を聞かず。従つて代つて責任を受くるに由なし。且つ陶成章も亦南洋に於て手形を印刷發行し、四ヶ處に於て金銭を集め、其の上余の名を冒稱しつつあり。之れ正しく騙りなり。流弊を伴はざるを得ず。陶成章は先づ當に自ら之を知らざるべからず。而も今自ら責めずして人を責むるは、寔に不合理なることなり。

二九、南洋より歐洲を経て渡米せる後吳稚暉へ

——一九一〇年——

稚暉先生鑒

渡米後、一書を郵送し置きたるが、想ふに已に受領せられたるならん。又轉送し來れる貴信は已に受取れり。深く御配慮を感謝す。

「新世紀」は尙未だ御送附に預らず。已に出版せられたりや否や。米洲の東方一帯は弟の到着以來見る所によれば、已に機運の動きつつあるを覺ゆるにより、或は能く漸次佳境に入ることを得べし。學生中にも亦十數人の革命事業に賛成する者有るを以つて、弟は新に團體を組織する考なり。若し効果を擧げ得たる際は、當に別に詳報して、歐洲に於ても之に倣つて勢力を擴張するに便せしむべし。茲に致し竝に大安を候ふ。不一。弟孫文謹啓、十一月二十五日紐育にて。

三〇、米國上陸後吳稚暉へ

——一九一〇年——

稚暉先生鑒

十一月八日早朝紐育に到着、無事上陸せるにより、御放念ありたし。到着後已に二三の舊知と面談し頗る歡を盡せり。只尙未だ多くの同志と面晤せざるにより、聯絡の事に従ひ得るや否やを

知ること能はず。

米國の政客は現に皆華盛頓と紐育とに在るも、余が面會せんと欲せる二人の内、一人は已に物故し、他の一人は前週渡歐せる爲、只其の代理者二人に面會せり。甚だ歡待せられたるも、未だ能く深く談ずること能はず。聞く所に據れば米國西部桑港等の處に於ては、華人の思想頗る開け居るも、陶が「ピラ」を散布して以來、新に革命思想を有するに有りたる人々の弟に對する感情は頗る惡化し、短時日を以つてしては容易に此種疑惑を釋き得ざる状態なりと。然れども「新世紀」は同人の名義を以つて米國西部の四新聞社即ち「大同」「米洲少年」「中西」及「ヴァンクーヴァ」の「華英」並に布哇の「自由民生」「大聲」の三新聞に夫々一書を寄せ、同業者相互に消息の誼みを通じ、陶が名利を争つて人を煽動し、弟の言を抹殺せんとすることの非理なるを指摘せり。其の言ふ所は嘗つて新世紀の言ひし所に較べて、より詳細にして新聞關係の同業者が、一方の言のみを聽きて誤れる判断を下すこと勿らんことを勸告し、若し外部の者が疑惑を感じる如きことある場合は、公理に遭じて之を釋き、以つて人道を維持すべきことを述べあり。此の書翰は巴里より郵送し來れるものにして、「新世紀」の印を押しあり。斯の如くなる以上、必ずや甚大なる効果を收め得べく、若し各新聞社が公論を支持するに於ては流言蜚語も能く民衆を感し

得ざるべし。即ち「新世紀」の論説の外に、之が爲の特別の書翰有るに於ては、此の事は依つて以つて消釋し得べく、従つて弟が自ら辯解するを要せざるべし。故に先生の之が爲に配慮されんことを請ふ。

弟現在紐育に在り。久しく滞在すると否とは尙未だ決定し得ず。若し示教を賜ること有らば、左記の處に書を寄せられんことを請ふ。此の住所は以前の宛名の處に較べて一層祕密を要するに より、左様お含みありたし。

茲に書を致し併せて大安を候ふ。弟孫文謹啓、十一月十二日。

三一、米國より吳稚暉へ

——一九一〇年——

1、稚暉先生鑒

十一月二十二日及二十六日の書翰並に港信及「新世紀」は已に受領せり。「新世紀」の陶の言に對する批評は甚だ當を得たるものにて、公の見る所明白ならざるなし。以つて再發するを得ざらしめ、新聞社に專函を致すことを得べし。更に此の頃東京の同盟會も各新聞社に一書を寄

せたるを以つて、之れ亦各人の疑惑を解くことを得べし。又最近東京よりの來信によれば、章太炎は又しても狂を發して攻撃を開始し、其の言ふ所は陶に比して更に卑劣にして、何等辯ずるに足らざるものなりと言ふ。即ち陶の志は猶巨額の金に在り、之を得ざれば反噬するものなるも、章の欲する所は數千元に過ぎず。而も之を得ざれば以つて人を罪に陥れんとするものなり。又陶は同盟會を以つて中國と爲すも、章は民報社を以つて中國と心得、民報の編輯を以つて彼一人の萬世一系の帝統たらしめんとし、此の故に供應周ねからざれば莫大の罪を爲すなり。民報復刊後、彼を編輯長と爲さざりし爲、彼は遂に民報を誣ふるに至れり。茲に章太炎の檢舉狀を送附すべきにより、之を觀れば其の寔に卑劣なるを知り得べし。聞く所に據れば太炎の此の書一度び出づるや、東京在住の人士は黨内黨外に論無く、皆之を非とせりと言ふ。之れ以つて公道の尙人心に存するを見るに足るものなり。重ねて「新世紀」に公評を載せ高見を以つて之に裁斷を下さるる譯には參らざるや。

此の胡氣暗黒にして黨に内紛有り、至難困苦の時代に際して、吾人は當に努力進取せざる可からず。若し少數人が毅力を以つて屈せず、勇往直進して此の危期を通過すれば、其の後に反動的佳境の到來するは必然の事なり。在米華僑の人心を靜觀するに、保黨の瓦解以來、革命に趨

向するの勢有り。只之が阻礙者有る爲、各地の先覺の士は皆其の影響を受けて、一時疑惑を抱くことを免れず。従つて驟に彼等の協力を望み得ざる状態なり。然れども此の惡潮一過せば必ず人心の合致を望み得べし。此の國に七八萬の華僑あり。其の一半は導いて革命に従事せしめ得べきにより、之れ亦以つて爲す有るに足るものなり。而して此の地の基礎一度び成れば、加奈陀、中米、南米、「パナマ」等の各處の華僑も、必ず風を望んで來付する者有るべし。然れども現在のところ、方法としては漸次革命黨の勢力を蓄積するより他無し。若し何等かの進歩有らば重ねて報道すべし。弟文啓、陽曆十二月四日。

2、稚併先生鑒

先きに一書を寄せ、且つ太炎の日華新報の論文一篇を同封し、先生に於て重ねて公評を下し得ざるやを詢ね置きたるが、今新架坡よりの來信に接し、太炎が此の論文を已に保黨の南洋總匯報に載せ、且つ大いに痛撃を加へ居る旨通知し來れり。其の黨事を破壊せんとする心算は已に餘地を留めず。従つて自然之が是非を辯駁せざるを得ず。先生に請ふ、努めて次期の「新世紀」に於て、重ねて傍觀者としての批判を加へ、人をして一目瞭然たらしめて、之が爲に惑はさるること勿らしめよ。太炎は從來盛名を負ひ、且つ上海にて獄に下りしことある爲、世人の重ん

する所なるを以て、若し其の失を匡正せざる時は、必ずや多數の民衆を惑はすべし。請ふ、先生之を除け。茲に致し、竝に大安を候ふ。不一。弟孫文謹啓、十二月十三日紐育にて。

3、稚暉先生鑒

先きに太炎の日華新報に寄せたる「檢舉狀」を送付し置きたるが、想ふに已に「新世紀」に於て公評を加へられたることならん。然るに最近の新架坡よりの來信によれば、此の文を又新架坡の保黨の南洋匯報に登載せる由なり。若し果して斯の如くならば、太炎の黨勢を破壊せんとする心は已に餘地を留めざるものにて、不日米洲の各保黨新聞にも必ず同様に登載すべきにより、之に反駁を加へざるを得ず。若し先生が未だ其の文を理解せざれば、次期の「新世紀」に之を全録して公評を加へ、其の誤謬を指摘して人の疑惑を解かんことを請ふ。

更に弟も各地に到り若し人の質問に遇はば、必ず繰返し太炎の人と爲りを述べべきにより、劉光漢が暴露せし太炎と共謀せる通奸の筆跡を寫眞に撮れるものを弟に送付し、以つて太炎の所爲を證明するに用ひしめられたし。庶くば彼の言の效力を破るに足らん。海外の革命志士は、多くは太炎を以つて我黨の泰山北斗と爲し居るを以つて、彼の非を證すべき實證有るに非らざれば、個人的反感による攻撃に類すべく、之れ弟の欲せざるところなり。

茲に重ねて書を寄せ、別に一書を同封せるにより、代つて手交されんことを祈る。

以上貴意を得、併せて大安を候ふ。不一。弟孫文謹啓、十二月十六日、「ポストン」にて。

4、稚暉先生鑒

今日一書を發送し、太炎と劉光漢との共謀になる筆跡の寫眞を送附ある様依頼し置きたるが、郵送の宛名を書くことを失念せるにより、恐らく書翰面記載通り「ポストン」へ送付あるべきも、同地にては不可なるにより、桑港宛郵送願度く、宛名は別記の通りなり。

弟は月曜日即ち十二月二十一日には「ポストン」より紐育に歸り、紐育には多くとも一週間以上滞在せず。次で華盛頓に赴きて一週間滞在せる後、一路桑港に到る考なり。茲に大安を候ふ。不一。弟孫文謹啓、十二月十六日晚。

三三、黃花崗の起義に先きだつて李源水、鄭螺生へ

1、源水盟兄足下

——一九二一年——

澤如、夢生兩兄より來函あり、我が兄が此回の計畫を極力賛成され、親しく出でて醜金の勸誘に當らるることを承諾されたるを知り、尤も深く感激せり。兄等既に包胥の苦計を致すを肯ず。弟敢て魯連の志を決して以つて公等に酬いざらん乎。抑も進んで今回の如き決心を爲せるは各同人が時機の已に熟せるを默察し、皆身命を犠牲にして虜と決戦せんことを願ひ、軍人は更に一層激烈なるもの有るが故なり。先年の土耳其の革命と、去月葡萄牙の成功とは、其の原動力は皆之と同一なりしなり。今我に既に此の雄力有り。安んぞ其の軀肉相搏つを聽き、而も準備を爲さずして我が志士を喪ふに忍びんや。之れ澤如兄が慈悲心を發して援助せんことを願ふ所以なり。我が兄は時局に明るく、尤も大義に切にして、知交既に廣く、貿易亦殷なり。必ず能く法を設けて巨款を調達し、以つて此の破釜沈舟の事を成さしめ得べし。弟今巴里、紐育、華盛頓等の處に試遊し、銅像の岷峨として高く雲表に聳え、後世國民の崇拜を受けつつあるものを見るに、決して其の總てが戰場に功を樹てし戰士のみに非らず。其の大半は財産を破棄して軍需に充當せる者なり。古語に云ふ、行く者有らざれば誰か社稷を捍らん、居る者有らざれば誰か糗糧を資けん。今弟等行く者と爲つて、身自ら槍劍に當らんことを願ふ。望むらくは兄弟等居る者となられよ。斯くて提携せば中國の事は以つて大いに爲す有るべし。之が爲に盡力さ

るれば幸甚し。

叨埠へ赴く件に關しては、期に及んで重ねて書を寄せて約す所有るべし。沈聯芳兄は素と黨事に熱心なる者なるが、兄と交情最も厚き由なるを以つて兄より勸むれば必ず其の助力を得べし。不取敢以上貴意を得、勞々大安を請ふ。弟孫文謹啓、陽曆十一月二十日。

2、源水、螺生兩兄惠鑒

先きに弟新架坡に到り、兄と共に資金調達の事に當る可きを約し置きたるところ、此の頃緊要なる問題の爲に、近日中に途に上つて歐米に赴かざる可からざることとなり、之が爲に弟は新架坡に到り得ざることとなるを以つて、先きに已に打電して漢民兄を當地に呼び寄せたるが、已に「ピナン」に赴きたるを以つて、間も無く坎羅に到り、共に新架坡に出でて一切處理すべし。

弟の今回の歐米渡航は行動甚だ速なるを以つて、期に及んで歸來することを得べし。今幸に南洋に於ける資金調達の事は已に見通しつき居るを以つて、兄等が力めて其の難きに任ずれば、必ずや大なる効果を收め得べし。之を要するに光復の擧は正に此の時機に於て爲さざる可からず。而して一分にても多くの資金を得れば、一分丈け多くの準備を爲し得る譯なり。南洋には

熱心なる人士乏しからず。且つ普通人の情は必ず感動せしめ得るものなり。至誠の到る所、金石爲に開くと言ふ。先きに會つて力を出せし爲、今回は弩末の虞れ無きに非らざるも、方今の事は勢ひ既に緩圖し難く、内外の同志は宜しく破釜沈舟の計を爲さざる可からざる所以を告ぐるに於ては、當に又之が爲に奮然として起つに至るべし。各般の事につきては漢兄より面晤の節、改めて詳述する所有るべし。

以上要用のみ。併せて壯安を頌ふ。弟孫文謹啓、陽曆十一月二十六日。

三三、廣州の役失敗後米國より各同志へ

——一九一一年——

澤如仁兄並各同志均鑒

三月二十六日の來書は已に收讀せり。心を苦しめ力を勞して國の爲に奔馳せらるること、欽佩無極なり。按ずるに來信の時は、省城失敗の時を去ること僅に三四日に過ぎず。當日を追憶して如何なる情をなせるや。弟も亦千萬の感慨に勝へざるものありたり。然れども事は失敗せるも、其の全世界と海外の華僑とに與へたる影響は頗る大なるものあり。之れに依つて得たる結果も亦

量る可からざるものなり。區々十餘萬元の資金を以つて、此の驚天動地の事を無し、我黨の勢聲を飛騰千丈ならしめしは、甚しき成功と言ふを得べし。弟想ふに今回の失敗は必ずや他日の成功を産むに至るべし。而して今後國の内外に於て謀る所の資金も、皆之が爲に容易に調達し得るに至るべく、弟が現在各方面に於て經營を開始せることも必ず成功するに至るべし。只其の時の遅速は之を知り得ざるも、之れ告げて以つて慰むるに足るものなり。

羊城（廣州の別名）の役後、外交も容易に行はれ得るに至れり。現に米國政府は皆大いに同情を表し居り、今已に人をして英國に赴きて、其の有力者を説かしめつつあるを以つて、必ず能く當を得べく、佛國政府にも從來已に情を通じつつある者有り。斯の如く我黨が英米佛三國政府の同情を得るに於ては、必ずや我黨の成功は樂觀して可なるべく、再舉の日に於ても、必ずや藉りて以つて干渉を爲すが如きこと無く、却つて之によつて他國の干渉を力阻することを得べし。故に外交の成功も亦羊城の役の影響によつて之を收め得るに至るなり。桑港の致公總堂は、洪門會員のつくれるものにて、反清復明を其の宗旨と爲し居るも、從來老朽頑固なる者多く進取の氣象無かりし爲、我黨の年少勇進の輩と好からず。數ヶ月以前迄は、同盟會の資金調達の事に反對する在米華僑の内、十中八九は洪門の徒にて、致公總堂が資金の調達に反對せる爲、熱心なる革命

者も敢て進まず。従つて米國程の華僑を有し乍ら、集め得たる資金は一萬餘元に過ぎず。遠く加奈陀の少數華僑の贖出高に及ばざりしも、羊城の役後、我黨の志士が身を捨てて義に赴き、勇氣絶倫なるを見て、頑固なる老朽輩も之が爲に感奮し、今や致公總堂は已に資金調達を發起して資金調達局を設け、以つて其の責に任じつつあり。想ふに不日必ず大なる効果を收め得べし。之れ又羊城の失敗の影響なり。茲に致公總堂の資金調達規則を送附すべきにより閱覽ありたし。弟は本月内に當地の資金調達局の規模定れば、重ねて米國東部に到り、今冬は再び渡歐して外交關係の要件を處理すべく、歸東の時期は尙未だ定り居らず。

南洋の人心も亦想ふに必ずや今回の失敗によつて愈々奮勵の度を増せるならん。望むらくは兄と各同志と力を竭して已に聯絡し居る人心を維持し、更に初めて覺醒せる民氣を鼓吹せられよ。若し大羣集の力と南洋、米洲の華僑の財力とを合し得て、以つて内地に於ける同志の需むる所を供給濟助し得ば、自然足らざるもの無きに至り、従つて成功の期は決して遠きに非らざるべし。幸に共に之に勉めよ。弟の家人は現に「ピナン」に居住し居り、其の家計は從來「ピナン」の同志贖金により、毎月百元を供給し居りたるが、弟が「ピナン」を去つてよりは、兩女は讀書し、家人は多く病み、醫藥の費は常に不足し、爲に前後二回港部に向つて公金の支出を請ひたり。之れ

寔に妥當ならざるも、已むを得ざりしなり。而して港部より金錢の支給を受けたる後は「ピナン」の同志より費用を取ることを中止せり。蓋し毎月、金慶君が同志よりの集金に當りたるも、仲々に容易なることに非ず。常に期を過ぐるも全部を集め得ざる有様にて、長貧顧み難しの實情なりしなり。天下の爲には家を顧みずとは言へ、弟萬里に奔馳しながら、常に家書に接する毎に之を度外視し得ず。常に之が爲に心神憂擾して志氣紛亂し、進取の前途に殊に障礙多し。請ふ、兄「ピナン」以外の各地に於て、着實なる同志十人乃至二十人を集め、毎月各人五元又は十元を支出し、月月の家計を協助して弟が内顧の憂ひを紓べ、一には以つて「ピナン」の同志の負擔を軽減せられよ。「ピナン」の同志は供線已に半載を過ぎたるを以つて疲勞を免れず。若し兄に於て他地の同志と之を分擔し得れば、實に感謝に耐へず。

茲に大安を候ふ。不一。弟孫文謹啓、陽曆七月十八日桑港にて。

三四、南米より再度渡米せる吳稚暉へ

——一九一一年——

稚暉先生大鑒

頃日、來示と伯耀君に致せる書翰とを讀み、篤生君投海の慘事有りしに驚悉し、殊に悲悼の情を深くせり。弟の觀る所によれば篤生君には兼ねてより一種悲觀懇摯の氣有りしも、斯る結果は豫期せざりし所なり。夫れ人生世間は、一個人の側より見れば、此の身は我が有に屬するに似、行動は自由なり得べきに似たるも、社會の側より見れば、之れ社會の一分子にして、其の盡くが我所有たるにあらず。従つて此の身を犠牲にして而も何等社會に貢獻する所無きが如きに、決して爲すべき所にあらず。楊君の死は弟の衷心憾みとする所なり。

羊城の失敗後、黃董午君も亦一種憤々たる不平の氣を生ずるに至り、單獨行動主義をとりて、李張等の生命を奪はんとするに至りたるが、我黨の同人は之を聞いて悉く驚愕色を失ひ、再び精衛君の如き悲劇を演ぜんことを恐れ、茲に於て各地より引續き書翰と電文とを寄せ來り、中止を勸告し、行ふ勿らんことを切望し來れり。茲に黃君よりの返電を得たるを以つて左に謹録すべし。

「少年學社、中山致公堂並市俄古より轉送し來れる書翰と電文とを敬悉せり。弟、廣東の事は先づ破壊するに非ざれば急に手を下し難く、且つ黨氣を壯にし、死友に酬ゆるに足らずと思はせるが、今論旨に遵ひ、先づ四隊を組織して漸次進行することとせるも、機關設置の費用と養恤費とは甚だ巨額に達す。李準は傷けるも再接再勵すべきに依り、資金一萬五千元を援助されんこ

とを懇願す。中國報宛送金ありたし。返電を待つ。興」

此の電文を見るに、先段には彼が單獨決行主義をとらんとせる理由を述べ、次で今論示に遵ひ云々とあり。之れ即ち各地の同志よりの電文又は書翰による勸告に聽從せることを意味するものなり。蓋し黃君の一身は同志の望む所にして、又革命成敗の繫る所なり。従つて彼の職務は更に大なる事業を爲すに在り。單獨行動主義は其の執るべき態度に非らず。故に前記の電文に接せざる以前、當地に於ては二名の同志が速かに歸國して彼に代つて之を行はんとしつゝありたり。今彼が四隊を組織して漸進主義をとらんとしつゝあることは同志の大いに賛成する所なり。仍つて昨日既に勉めて一萬元を送金し置きたるも、尙五千元の不足有るを以つて、弟は別に布哇に書を寄せ殘餘金を電報爲替にて送金する様依頼し置けり。之によつて大約一千元を得べきにより、若し石衛青君が能く速かに楊君の遺款を電送し得ば、差額は僅に三千元なるを以つて、能く一萬五千の數に達することを得べし。黃君は實は香港に居住し居るも、此の事は嚴重に祕密に附せられたく、石君の電報爲替は倫敦より直接香港の中國報宛とし、送金後は即時一電を發して黃君に通知することとし、其の電文には機密A字暗號を使用せられたし。(此の暗號帳は弟が曾つて英國を通過せる際、其の一冊を先生の處か乃至は石君の許に置きたる様記憶す)若し此の暗號無き時は

中國の普通暗號を用ひ、某銀行に若干元を電送し置きたるにより、克強（姓は記せざることに手交せられたき旨記載せられたし。

弟は陽曆九月二日桑港を離れて、米國の北部中部の各省に赴き、二ヶ月後には重ねて紐育に抵る可きにより、通信は表記の處に宛てて郵送ありたし。

茲に大安を候ふ。不一。

石衡青君には別に便りせざるにより、兄より宜敷く傳言ありたし。

三五、米國より吳稚暉へ

——一九一一年——

1、稚暉先生鑒

十二月二十一日の來翰に接し、一切を諒承せり。最近漢民兄よりの來翰によれば、章氏は瘋癲に托して詐偽を行ひ、其の近日の所爲は眞に忍ぶ可からざるものありと言ふ。之れ先生の考へと期せずして同一なり。先生が彼の行爲と心術とを詳細に發きて人心を正さんとさるること甚だ可なり。先生の文を登載せられたる後、夫々二三十部宛を（前號の陶を駁せる文も補充郵送

せられたし）紐育と「ボストン」の兩公所宛送付相成り度し。

米國東部の人心と大局とは漸次開通の氣運に向ひつつあり。若し何人かが之を鼓吹せば必ず能く一大勢力を成すに至るべし。米國西部にも亦之と同様の氣運有るも、惜い哉、一時章、陶の流言ありし爲、少しく阻礙せらるる所有りたり。然れども左程の事に非ざるを以つて、弟が一度び其の地に到れば、必ず能く之を清掃し得べし。望むらくは、先生同時に「新世紀」に邪惡開關の言を載せ、以つて援助を與へられよ。

弟は今週中に桑港に赴くべく、外人の友より來電あり、速に來つて大問題を商議すべき旨の申越しありたるにより、或は意外なる事態の進展を見るやも計り知れず。到着の上は重ねて報道すべし。茲に致し、併せて大安を候ふ。不一。

重行兄に宜敷く。弟孫文謹啓、正月三日紐育にて。

2、稚暉先生鑒

弟已に十九日午後、無事紐育に到りたりも、途中海上の風波甚荒く、爲に船暈に苦しみしこと未だ嘗つて無き程なりき。

幸に今已に米國に到着せるが、情勢頗る佳なるを以つて、目的を達することは不可能にあらず

るべし。弟は明日出發して西方に赴くべく、效果如何は追而再報すべし。

不取敢右迄、併せて大安を候ふ。弟孫文謹啓、正月二十日。

3、稚暉先生大鑒

弟紐育を離れて米國の西部に來りてより、資金を調達して軍用を救済するに急にして、日毎に餘暇無き爲め書を致し得ず。先週は「ヴァンクローヴァー」に到りたる爲多忙を極め、今日に至つて始めて寸暇を得て執筆するを得たり。而して茲に先生に告げたき重要事項あり。當地の年少なる人士は、多くは「新世紀」を以つて金科玉條と爲し、先生の安否を問ふこと頻りなり。弟曾つて在英中、門を閉ぢて書を著し、少年中國報に對して先生を招きて其の主筆と爲すべきを勸告せり。想ふに已に彼等より之が依頼の爲の來翰有り、書を致して先生の惠臨を請ひ來りたるならん。弟思ふに米國の中南北各地方に居住する華僑の數は十萬人を下らず。而も此の頃に到つて其の思想は皆初めて開け、多くは革命の理を歡迎しつつあり。若し先生の筆を得て之を發揮せば必ずや華僑の志に合するを得べし。此の事は中國の前途に關係すること甚大なるを以つて、弟は切に先生が大局の爲に一度來米されんことを望むものなり。翼くば少年中國報の願ひを却くること勿かれ。月給は六十弗なるも、先生は毎日千餘字の主要論說一文を書くを要す

るのみなるにより、手に順つて筆を揮へば僅か一時間内外にて完成すべく、其餘暇は尙著作に力を致すことを得べし。且つ此の地に居住することは華人にとつては便利なるを以つて、御家族を同伴されて可なるべく、令息等の入學讀書にも亦適當なる地なり。先生能く何時に來り得るや、又旅費幾許を要するや、等の件につき詳細を少年中國報に通知せば、當に法を設けて速に旅費を送付致すべし。

以上貴意を得、併せて大安を伺ふ。不一。弟孫文謹啓、陽曆二月十二日。

3、稚暉先生大鑒

二月二十二日の來翰は已に接讀せり。弟は這般來、加奈陀西偶の「ヴァンクローヴァー」、「ヴトリヤ」及び其の附近の數ヶ處に於て、資金の調達に當ること一ヶ月有餘、已に所要資金の半額を集め得たり。然れども尙残りの半額を集むる必要有るを以つて、東部加奈陀の各地に至りて之を集むる考なり。加奈陀領を全部巡りたる後は、再び米國に入り、約一ヶ月の後には重ねて紐育に赴くべし。「フィリップ」行きの日日は現在の所尙未だ見當つき居らず。一通り米國の經營を終りたる後、始めて行くことを得べし。謝君の精衛の事に關する言は想ふに傳聞せられたるならん。弟最近胡堂よりの來信に接したるが、其の言によれば、近時入獄せる或る人

の見し所に據れば、三人の中精衛は獨り足の鐵鎖を恕され、内部に在つて頗る自由なることを得、監視人も大抵は利を以つて動かし得べきにより、若し金錢有らば法を設けて脱出するに難からず、現に精衛と事を同じうせる者が已に自ら北京に入つて救出の方法を講じつつありと言ふ。由是觀之、精衛の事は尙望み有るなり。

弟昨日「ヴァンクローヴァー」より東行し、途中各地に立寄り昨晚 Kamloops に到着せり。此の地には華人四五百名居住し居り、甚だ熱心に革命の事に賛成し居れり。弟は此の地に一日滞在し、明朝は他處へ赴くべく、今寸暇を得たるを以つて、此の數行を草して先生に寄することとせり。大安を候ふ。不一。弟孫文謹啓、陽曆三月二十日。

三六、米國より南洋に歸りたる後吳稚暉へ

——一九二一年——

稚暉先生鑒

久しく音信を通ぜず。遙に想ふに健勝に亘らせらるることならん。弟は米國西部と布哇とに赴きて其の地の華僑より大なる歓迎を受けしが、之れ皆先きに先生が「新世紀」に於て辯護せられ

し力によるものなり。此等の兩地に於て弟は已に千四五百人の團體を聯絡せるを以つて、將來大いに進歩することを得べし。弟は本と久しく該處に留りて黨勢の發達を圖りたき考へなりしも、祖國の情勢日に急にして、再び羊城の覆轍を蹈む恐れあるを以つて急ぎ歸東し、日本に二週間滞在の後、六月二十五日、日本を離れ、七月十一日新架坡に到り、十九日同地より獨逸船に乗りて「ピナン」に來り、同志と會合して重大問題を謀議しつつあり。約二週間の後には新架坡に抵りて引續き同地に寄寓する考へなるを以つて、先生より時々教を賜らば幸なり。

今日の我黨の緊急問題にして、必ず須く法を設けて解決すべきものは、精衛救出の問題なり。今外部には已に之が擔任者有るも、残念乍ら北京の近情と精衛監禁の地とを詳悉せず。故に先づ當に確實なる調査をなしたる後、始めて事を行ふを得べく、之が爲には必ず北京の官界の同志に依頼して始めて能く之を爲し得べし。

當地の同志は已に夫々其の知人につきて之が爲に盡力せんことを依頼しあるも、猶耳目の遍なく到らざることを恐るるが故に、先生に於て重ねて歐洲の同志と密議し、若し信頼するに足る知人にして、北京に在住する者あらば、悉く其等の人に依頼して、現在精衛が監禁されある司法官署の所在地と、監視人の詳細なる様子等を探查し、彼等をして代つて適當なる救出の方法を案出

せしめられんことを請ふ。若し實際の状況を探知し、妙法を案出せる場合は、直ちに弟と香港の展堂君とに通知されんことを請ふ。大安を候ふ。不一。

李君と楮君とに宜敷く。弟高野謹啓、七月二十日。

三七、歐米旅行中宮崎氏へ

——一九一一年——

1、宮崎先生大人足下

頃日、英國宛の貴信を收讀し、各般の事を聞き得たるを欣べり。返書の遅延せるは、急ぎ東に歸りて諸事を面談せんと欲しむるが爲なり。然るに期せずして旅費缺乏を告げし爲、行かんと欲して行き得ず。遂に久しく留まりて今日に至れり。然れども茲に六月十一日「マルセイユ」より佛國郵船「トンキン」號に乗りて歸東することに決せり。途中南洋に暫く滞在するやも知れざるも、然らざれば七月十九日には必ず横濱に到着するを得べし。従つて相見る日も近きに在り。不日復先生と掌を拍つて天下の大事を談ずることを得ん。謹んで豫告す。待望の情を少くし得れば幸なり。餘は面談の上にて、、、大安を候ふ。不一。六月四日於巴里客舎。

各同志に宜敷く傳言ありたし。弟中山謹啓。

2、宮崎先生大鑒

只今香港より「シアトル」に到着せり。次で米國東部に赴き、十月末には紐育に到着するを得べし。其の後渡歐するか米國西部に歸來するかは、紐育到着の上決定する考へなり。

此の頃聞く所に據れば日本の内閣は已に更迭せる由なるが、西園寺の政策如何、支那革命黨に對する方針如何等の事につき、詳細に通知下さる譯には參らざるや。更に望むらくは木堂先生に托し、新内閣に向つて重ねて交渉を開始し、弟の日本入國の許可を求むる様、適宜御手配願ひ度し。若し政府の許可を蒙らば、請ふ、先生速に之を弟に告げよ。今後弟への通信の宛名は別記の通り願ひ度し。好音を切望す。茲に致し、併せて大安を候ふ。弟孫文謹啓、九月十二日。

三八、歐洲より歸國せる後鄧澤如へ

——一九一一年——

1、澤如先生執事

遠く御見送りを蒙り、感謝に耐へず。只話別匂々、未だ暢談するを得ざりしは頗る以つて憾み

と爲す所なり。

國內の情勢は上海に抵りたる後、當に詳細に通報すべし。將來先生の歸國援助を請ふ旨の來電ありし場合は、幸に御承諾あらんことを請ふ。仍つて此の手紙到着の上は、何時にても出發し得る様、一切の準備を整へられんことを祈る。弟は明日香港に寄港すべし。併せて通告し、竝に大安を候ふ。

別に各同志には便りせざるにより、先生より宜敷く傳言ありたし。弟孫文謹啓、陽曆十一年十二月二十日。

2、澤如先生大鑒

客秋風雲變幻し、波濤險惡なるに當つて、上海の志士は中華銀行を組織せるが、開業以來、市面の恐慌を救ひ、軍旅に資金と糧食とを供給し、斯くて努力經營すること將に一年に垂んとし、頗る中外の歡迎する所となりたり。然るに近日營業發表せるを以て重ねて擴張を計畫し、七月末協議の結果、既存の組織を改めて商人相互の民營とすることとし、約款を改訂して擴張に努力することとなり、弟を同銀行の總支配人に推舉し、處理進行の責に任せしむることなれり。此の國基大いに定り、商戰正に殷なる時に當つて、銀行は金融の樞機を操り、商業振作の機

關たるを以て、國計に關係する所細微に非ず。従つて弟は事を受けて競々たらざるを得ず。且つ方今我國の商工業は尙未だ萌芽時代に在り。航業、電氣業、鐵道、鑛山業等も、銀行有りて始めて其の借貸推移の便法を講ずることを得、艱難窒礙の虞れ無きを得るなり。此の故に銀行の擴張は一刻も忽にす可からざるものなり。先般株式募集員王奕友君が順路福州に赴きたるところ、福州の商會より來電あり、二十萬元の株式の申込ありたり。國內國外の各地に於ても亦均しく極端に賛成しつつあり。斯くて基礎確固となれば信用益々堅く、中華銀行をして民國に於ける最も強大なる銀行たらしむることも困難なることに非ざるべし。

執事は異地に僑居し、國事を思念して夙に熱腸を抱く。故に茲に特に約款を送付するにより高覽を賜り、務めて本銀行の株式募集員となつて努力し、力を竭して提唱し、法を設けて鼓吹し、且つ僑寓し居る諸同志に諄々として説き、中華銀行は民國最初の銀行にて、國と其の休戚を共にするものなるを以つて、羣策羣力、以つて其の進行を計るべきを力説されんことを請ふ。思ふに熱心なる我が公は必ず之を許し、以つて圓滿なる解決に盡力せらるるならん。

茲に特に王奕友君を派し、同君に依頼して執事及陳武烈君と協議し、南洋の各地に於て廣く勸募し、共に盛舉を援けられんことを囑し置きたり。仍つて一切の手續は、王君が到着して事情

を詳述せる上にて、貴方の方針を述べ、且つ一切を指示せられ度く、懇願の至りに耐へず。以上貴意を得、敬んで公安を頌ふ。孫文。

三九、辛亥革命後英國にて吳稚暉を訪れ たる際の書翰

——一九二一年——

1、稚暉先生大鑒

弟今日午後米國より英國に來りたるが、行動は極秘に附しつあり。今晚八時に先生と張君とを訪れしも、残念乍ら外出中なりし爲め會ふこと能はず、明晩も同時刻（八時）に重ねて往訪すべきにより家に留つて待たれんことを乞ふ。

近日の中國の事は堂々たる大國民の風有り。従つて今後列強は必ず當に刮目して見るべく、凡そ我が同胞たるものは自ら當に喜びの餘り寢食を忘れ居るならん。今後の策は只各省が同徳同心、以つて力を建設に致すに有り。斯くすれば、我が黨の標榜する民權民生の目的も、日を指して之に到達することを得べし。弟文謹啓。

2、袁世凱に致して大勳位を辭する書

——民國元年——

頃日葉恭綽君北京より上海に來り、閣下惠贈の大勳位の證書を携へ來りたるが、此の件は文終始敢て受領せず。其の理由は既に先きの電文中に詳述し置きたるも、茲も重ねて言はざる能はざるものあり。賞位は國家の當然行ふべき儀典なるも當今國家の基礎未だ固からざるを以て、國人の論功行賞は時期尙早なり。且つ國家の認めて功と爲す所のものに對しても、個人は之を以て自己の祖國に對して當然盡すべき義務となして、絲毫も賞を望み榮を求むるの心無かるべきものなり。文不敏なれども竊かに此の主義を海内に提唱せんことを願ふ者なり。之れ文の勳位を受けざる所以なり。文、乙未の年、始めて革命軍を廣州に起し、次で庚子、丙午の兩年に事を擧ぐ。此の三回は皆文自身の主持せる所なり。而も皆成る所無く、之が爲に其の生命財産を犠牲にせる同志甚だ多し。其の後各處に起りたる革命も大抵は皆文と關係有り。其の爲に同志の生命財産を失へる者極めて多し。従つて若し之が爲に行賞せば、賞せらるる者の數極めて多く、枚擧に勝へざるべし。此の故に文一人榮譽を受くべき理無し。今回の革命の成功は、全國の人民と南北の將士とが和衷協同せるが爲に能く成就し得たるものにして、文としては更に

特別の褒賞を受く可き處なし。若し文が徒に自己一身の殊更なる榮達を圖るが如きこと有らば、多年事を共にせる人々にて、死後の事を計らずして死し、生きて今尙流離して所を失へる多くの人々と其の家族とに向つて、文將何を以つてか之に對ふるを得んや。之れ文の敢て此の勳位を受けざる所以なり。

文南京政府の職を辭してより、識るも識らざるも、其の公私の關係を以つて來つて金錢の補助を求むる者、毎月必ず百數十名に達す。而して其の公益に關係有る者に對しては、文は均しく力を量つて之を補助するも、純然たる私人關係の者に對しては、一切之を拒絶しつつあり。中國人民の今日の如き窮乏なる状態を以てして、而も博施濟衆を實行せんとせば、堯舜も猶病むべし。若し文が既に勳位と其の年金とを受くるに於ては、之れ革命に因つて金錢を獲たるものなるにより、曾つて革命に従事せし者が、其の私的關係を以つて來つて文に助けを求むる場合、以つて之に對ふるの辭無く、應接暇有らざるの勢有るに至るべし。之れ文が此の勳位を受くる能はざる所以なり。

若し閣下が文個人に對して惠を加へんと欲する所有らば、則ち竊に閣下に告げたき一事あり。文に一男有り、名を科と言ひ、已に米國の大學の入學し居り、更に子の嫁陳氏に二女有り、名

を名と言ひ婉と言ふ。皆米國の中等學校に在學中なり。留學規則有るも、以上の中、後の三人は尙未だ官費生としての資格を受け居らず。此の故に閣下特別待遇を以つて吏僚に命じ、此の四人の官費を補給することを許さしめ、以つて其の讀書を成就せしめ、文の私累を輕減せしむれば感謝に耐へず。

此の項の勳位證書は、幸便有るを俟つて、人に托して京に送つて奉還すべし。豫め茲に布達し、伏して諒鑒を乞ふ。並に勳祺を頌ふ。孫文。

四〇、國旗の事に關し參議會に與へたる返書

— 民國元年 —

貴會より咨り來りたる、五色旗を國旗として使用することに對する議決の件に付ては、本總統は此の問題は遽に頒布施行すべきものに非らずと思考す。蓋し現在民國各省の既に使用しつつある旗は、大別して三種あり。首めて武漢に義兵を擧げし際は内外十八省の旗章を用ひ、蘇浙は現在五色の旗章を用ひつつあり。今其の一を用ひて他の二を廢することとするも、其の用ふる所が他に較べて最良なりとなす何等充分なる理由無く、且つ此等を折衷して論を定むることも不可能

なるを以つて、本總統は現在遽に之を決定するを欲せず。滿虜亡びて民選國會成立したる後、之を國民の公決に付せんとするものなり。更に若し現在之を決定することとするも、五色旗を以て最良の國旗となし得るや否やにつきては、容易に之を明言し得ず。(一)清國の舊例によれば、漢軍は五色を以つて一二品大官の旗幟となせり。故に今滿清の國旗を黜けて而も官旗を用ふるは未だ失體たるを免れず。(二)其の用意は五大民族を意味するものなるも、其の色の分配と、代表する民族と、其の取義とは至つて不明確にして、概ね黄色を以つて滿族を代表せしむるが如き類なり。(三)既に五族の平等を言ひ乍ら、而も上下に排列するは依然として階級の存續することを表現するの感あり。

國旗の頒布施行に當つて重要視すべき三點は、其の旗の歴史と取義と美觀との三なり。而して武漢の旗は之を以つて首めて全國の義兵を擧げ、蘇浙の旗は之を以つて南京を克復し、天日の旗は漢族共和の爲に黨人が之を用ひて南方に義兵を擧げ、爾來十餘年、陸皓東は乙未の年に身を以つて此の旗に殉じ、其の後も黃花崗、防城、鎮南關、河口等の各役及最近に至つては民國紀元前二年の廣東新軍の投降、倪映典等の流血、同じく民國紀元前一年の廣東城の起義、七十二烈士の流血は何れも皆此の旗の下に於て行はれたり。且つ南洋、米洲等の各地の華僑にして共和に同情

し居る者も亦多年之を使用し、外人は總て認めて以つて民國の旗となしつあり。旗章の取義に至つては武漢にも極めて正大なる主張あり。青天白日の取義も亦頗る宏美なり。即ち中國は極東の大國にして、日は東方より出で且つ恆星の最たるものなり。其上、青天白日は光明正照、自由平等の義を示し、更に之に赤誠を附すれば三色となり、之が主張の理由も一層多きを加ふるに至るべし。然れども本總統は現在之を決定すべきに非らずと爲す者なるを以つて、之につきて詳論することを爲さず。之を要するに武漢の主張にも完全充分なる解説有るべきも、現下革命用兵の際に當り、國旗の統一は尙急ぐ所に非ず。米國の如きも幾度か改變して後、始めて現在の旗章を定めたるなり。故に本總統は暫く頒布施行することなく、民選國會の成立迄之を俟たんことを希望するものなり。謹んで覆す。孫文。

四一、民生國計會に返書して移民開墾の事に賛成する書

——民國元年——

手書は誦悉せり。移民開墾、地租増收等の事は其の主旨甚だ偉なるも、事國政に關するを以つて應に議院と政府との雙方の贊成を得るを要し、僕個人の名義を以つて、直ちに政府に向つて商議すること能はず。然れども貴會の宗旨は此の事の性質と甚だ合致するものなるにより、努力鼓吹して唱導の功を收め、民國の前途に大なる利益を齎されんことを祈る。孫文。

四二、女子共和協贊會への返書

——民國元年——

來書は具悉せり。天賦の人權は本來男女の別によつて懸異あるものに非らず。平等大公の心は此理に同じきものなり。共和民國成立以來將に全國を合して一致進行せんとしつあり。我國の女子は多才にして、同盟會に入つて國事に奔走し、百折不撓、其の美は各省の志士に異らざるもの有り。更に勇往、軍に従つて北伐し、或は身を赤十字會に投じて艱難を辭せざる者有り。或は慷慨軍需を助けて輿論を鼓吹し國民精神を振起せる者あり。此等は皆既に彰々として人の耳目に在り。將來女子の參政權を有するに至るべきは蓋し必至の事なり。

貴社員等才學優美にして、而も遽かに參政を求めず。全國女子界の聯合を計り、教育を普及し、

法政を研究し、實業を提唱して以て國家の進歩を協助せんとす。願力廣大にして思慮高遠なり。寔に嘉尚に堪へず。

要求さるる所の女子法政學校開設の件は、貴社員等より教育部に委細を上呈し、其裁定を待つて處理せらるべし。當處より貴社擴張公益の用として五千元を補助すべきにより、貴社員等は宜しく力行して倦まず、以つて我國の進歩を促されよ

女子參政權は何年に至つて實行するや、國會に婦人傍聽席を設くることを許可し得ざるや等のことに至つては、皆之れを公論に決し、參議院に諮り、其の議決を俟つて實施すべし。茲に復し併せて公安を候ふ。孫文。

四三、自由禁烟權を要求して英國民へ

——民國元年——

鴉片は中國に於ける數十年來の最大の一なり。而して其の流毒は、之を兵戰、惡疫、飢饉に比して更に甚しきものあり。方今共和成立せるに當り、我が國民の悉くが、熱心に禁烟を續行して之が徹底成功を企圖しつあり。弟職を辭して後も常に禁烟問題を憂慮し、反覆之を深思せる結

果、之が爲に重要なことは、全國に亘つて之が播種を禁ずることとなるを知れり。然れども若し播種の禁止と共に之が賣買を禁止せざれば、播種禁止の令は極めて施行し難し。蓋し現在鴉片の價格は頗る騰貴し居るを以つて、若し之が賣買を許すに於ては、愚かなる農民は其の栽培の有利なるを好むべく、従つて中國の廣大なる幅員と、多難なる時局とを以つてしては、賣買を禁ぜずして栽培を禁止するは甚だ困難なることなり。故に必ず先づ賣買と運送とを禁止して、然る後始めて之が實行を望み得るなり。如何んせん、昨年英支鴉片新協定の訂立を見たる爲、禁賣禁運に大なる障礙を來し、我國の禁烟政策をして荊天棘地の中に進退谷るに至らしめつつあり。惟ふに之れ貴國の仁人志士の初心に非らざるべし。曩に貴國の仁人志士は我國の禁烟を援助せられたるが、之が感激の情は久しく已に吾人の肺腑に銘し居る所なり。仍つて今又其の仁慈公義の心を掬し、懇に貴國人士に求む。我國の更始一新せる時に當り、我に自由禁烟の權を還し、吾人をして此の至酷至烈の毒物を除去せしめ、我が人民をして孽海より出でしめよ。余は我國に若し禁賣の權有らば、之が栽培の禁止は必ずや能く速に其の功を成し得べきを確信するものなり。之れ敢て四億の同胞に代つて大英帝國國民に哀訴懇請する所以なり。孫文。

四四、南洋の同志へ

——民國元年——

南洋諸同志公鑒

文、國事に奔走し、久しく未だ通信せず。心中自ら甚だ遺憾となす。茲に諸同志に告ぐべき數事あり。即ち次の如し。

(一) 文、歸國の始め僅に南方の諸省を経歴せるのみなりしが、次で共和告成し、國礎略定つて、大總統の職を辭し、以つて民生事業を實行せんとせるに、論者謂ふ、共和は形式的に其の規模を備ふるに至りたるも、猶南北意見の對立するを以つて恃むに足らずと。然れども前月弟が直隸、河南、山東、山西等の各處を漫遊せる際に見たる所によれば、北方人士の共和への傾向は、實に眞意有るものにて、實行に當つて新舊兩意見の對立を速急に解除し難かりし爲、遂に相互に誤解を生じたるものに過ぎざることを知れり。即ち文は到る處に於て各界の非常なる歡迎を受け、皆相見ることの晩かりしを恨むが如き態度あり。文の數回の勸告と説明とによつて、翕然として風に從ひ、南北間の疑惑は渙然として氷釋し、爾來一道同風、共に國事に趨き、斯く

て大なる進歩を見るに至れり。

(二) 同盟會を政黨に改組して以來、黨勢日に發達し、共和黨の諸勢力と黨見の不同を見るに至り爲に國事に影響すること尠からざるものありしが、近時數個の政府團體が、政綱を同じうするの故を以つて、協同團結して國民黨と稱するに至り、既に八月には成立大會を開催し本部の總機關を北京に設置することとなりたり。文の京に抵りたる日は偶然此の日に當り居りし爲、幸にも其の盛況を目睹することを得たり。惟ふに政黨の天職は、黨綱を恪守し、國情を觀察し、以つて國民の意志を舒ぶるに在り。故に種々なる政策の實行に當つては、當に偏見を除去し、一つに國家を以つて前提と爲さざるべからず。黨徳清澄なれば黨勢必ず日に強盛となるべし。今や國民黨の基礎已に定り、勢力又強大なり。今後は宜く大局の情勢を思念し、穩健を尙んで機に應じて事を行はざる可からず。我國は國基未だ固からず、勢力も亦衰微し、恰も大病の後なるが如き状態なるを以つて、遽に劇劑を投すべきにあらず。而して之が維持の責は政黨に在り。文、不敏なりと雖、諸同志と共に黽勉し、我黨をして國の爲、民の爲に至大至公の名譽を維持せしめんとするものなり。次に國民黨本部は當然之を中央政府の所在地に設くべく、凡そ各都市に分立するものは支部又は分部と稱するものとす。故に尊處も宜しく即日國民黨南洋支

部と改稱せられたし。

(三) 同盟會は已に改めて國民黨と爲りたるを以つて、今後同盟會の名義は存續するも、已に變じて歴史的社會的團體となり、政黨の外に在つて間接に三民主義の發達を求むべきものなり。只同盟會は久しく既に鼎革の功を代表し、無數の心血と財力と諸先烈の身家生命とを失ひ、以つて神州の名實を恢復したるものにて、其の聲威は磨滅し得ざるものなるを以つて、此の頃諸同志は上海に同盟會俱樂部を設立し、以つて此の種價値の保存を圖らんとしつつある旨申越有りたり。此の舉は獨り我黨の歴史上の光榮たるのみならず、又實に民國の莊嚴を増し、外人の觀聽を動かすに足るものなり。想ふに諸同志も必ず其の成るを觀るを樂しむならん。仍つて其の由來と内容との説明書一束を送付致すべきにより、諸同志に於て力を量つて出資し、羣力を以つて此の盛舉を成就せしめられんことを祈る。之が紀念は永久に垂るべきものなるにより、其の規模は大ならざる可からず。文は最近政府の委任を承けて、全國の鐵道事務を計畫處理しつつあり。之が爲に繁忙なること異狀なるも、此の事の準備一通り完成せる上は、將に歐米を遊歴して資金を調達し、以つて計畫の實施に着手する考なるを以つて、其の際或は尊處に立寄り、諸同志と握手歡言して禮を傾け、舊交を温むることを得べし。南方の海天を望み、心、筆と共に

に馳す。餘は只諒察を乞ふ。孫文、十月九日。

四五、容閔の歸國を邀ふる書

——民國元年——

容閔老先生偉鑒

此の革命成るに垂んとし、戰爭將に終り、僕平常抱く所の目的の將に達せられんとするの時に際し、俄に太平洋の對岸に於て老同志の大いに歡悅の聲を發するを聞く。之れ誠に人をして聞き起つて舞はしむるに足るものなり。而して先生が海外に寄留して今に至りたる原因は、想ふに亦滿清の專制を傾覆し、大事業を建てて、吾人の爲に自由平等の幸禮を奪還せんとし、此の故に異域に逃亡するに至れるものならん。然れども同病相憐むものは只に先生のみに非ず。僕等も亦此の苦みを飽受せり。今幸に天心漢を憐みて胡運將に終らんとし、秀麗なる漢族の山河を重ねて光天化日の下に見ることを得たり。僕の幸、何ものか之に如かん。

然りと雖、吾人の專制政體下に攝伏するもの已に二百六十餘年に及び、之が爲に教育頽廢して、人民蒙昧となり居るを以つて、彼等は此の自由平等の説を聞くに於ては必ずや驚倒するに至るべ

し。此の故に此の破壊の後を受けて民國建設の事に當らんとするの時に際し、各處に於て人才を需むること切なるものあり。僕等素と先生の盛名が環宇に播震し、加ふるに才智と學識と練達との人に過ぐるもの有るを知る。故に先生の歸國を歡迎し、歸つて此の中華民國に在つて完全なる政府を創立し、以つて我が幼稚なる共和を鞏固ならしめられんことを懇請す。若し此の懇請を允許され、他日吾人が自由平等の幸福を享受し得るに至らば之れ悉く先生の賜なり。先生久しく郷里を離れ祖國を思ふこと切なるものあり。惟ふに必ずや我を棄てざるべし。風に臨んで筆を濡し鶴望の至りに勝へず。謹んで茲に書を致し、併せて道安を請ふ。弟孫逸仙拜。

四六、南洋の各同志へ

——民國二年——

同志諸先生鑒

久しく相會はざるを以つて渴想に勝へず。引續き貴書に接し、深く感謝す。十一月二十六日の貴書は再三拜讀せり。惟ふに黨勢の衰微は本と弟の豫知し居りし所にして奇とするに足らざるものなり。蓋し團體を連結するは猶交友の如く、患艱を共にするは難く安樂を共にするは安く時勢

の變遷と勢力の消長とに因つて長短する所無きは更に尤も難き所なり。此の故に安樂なる時の交友は、一度生死の關頭に當れば、未だ各々其の路を尋ねざる者無し。天下を曠觀すれば滔々として皆之れなり。故に能く責を盡さざるも亦責むるに足らざるなり。只我輩は已に中國の改革と發展とに當ることを以つて自己の任務と爲す者なるを以つて、石爛海枯の時有るとも、此の身尙存し、此の心死せざれば、失敗も以つて失望せしむる能はず、困難も以つて精神を萎縮せしむる能はざるなり。斯くて猛力を貫注して邁進し、能く世界進歩の潮流に應じ、善長惡消の天理に合するに於ては、遂には必ず成功の一日有るべく、若し我が身に及んで成る能はざれば、四億の蒼生も亦風を聞きて興起する者有らん。

此の度の失敗後、表面より之を觀れば已に勢力は全く烏有に歸したるかの如く思はるるも、其の實内地の各處に於ける革命分子は、湖北革命以前に較べて萬倍にも増加し、袁氏は種々なる政策を以つて民國の爲に革命黨を製造し、國會と省議會とを解散し、南方の軍隊を裁撤して自ら策の得たるものなりと爲し居るも、天に逆ふ者は必ず殃害を受くるを知らず。即ち此等裁撤されたる議員と兵士とが變を爲さざるの理無し。始皇は蓋世の雄を以つてして、内は坑儒焚書を以つてし、外は長城を築きて胡を逐へるも、而も二世にして滅びたり。今袁氏は内に對しては始皇の威

無く、外に對して始皇の武無し。而も北には蒙古兵の長城に逼る有り、西には回民の旗を關外に掲ぐる有り。且つ宗社黨も亦蠢然として動かんことを思ひ、黨輩は合して夫々權を争ふ。時局斯の如し。烏んぞ能く久しかるを得んや。

惟ふに我黨は既に中國を革命して、民生の幸福を圖るを以つて目的と爲すものなり。故に此の内外急迫し、四方靖んぜざるの時に際し、唯に應に精を聚め神を會して、亂根たる袁氏を除去すべきのみならず、更に應に袁氏を打倒せる後の對内對外政策をも考究せざるべからず。諸先生は久しく海外に居住し居るを以つて、必ずや全球を洞察し、宇内を詳觀するの一念有るべし。

張靜江君は同志中の健なる者にして、思想識見共に衆に超越する者なるが、先きに既に貴處に赴きたるを以つて、想ふに已に面晤し、今回の失敗の原因に就きて、當に稍其の經緯を明かにする所有りたるべし。財政の一件に至つては、現在資金調達の見込無きのみならず、同志の衣食さへも顧る能はず。之が爲に先日大降雪のありたる日には、在東の亡命客中には、竟に火に向ふ能はずして疾を致せる者ありたり。弟、力を盡して救濟の法を設けつつあるも、力弱くして遍く救濟する能はず。今後若し何等かの上策を講ずるに非らざれば、殊に以つて此の血戦中の同志の寒苦を救ふ能はず。此の件に關し同志諸先生に於て之が救濟を深慮されんことを望む。

言短くして意長く、備さに述ぶることを得ず。海風便有り、重ねて德音を待ち、併せて道安を頌ふ。伏洞察されんことを乞ふ。孫文、十二月二十日。

四七、南洋の同志へ

— 民國二年 —

南京獨立の際、曾つて貴地の同志より五千元を送金し來りたるを以つて、上海に赴きて吳世榮君に手交し、戦線の軍隊に渡す様依頼し置きたるが、已に獨立を取消したる後なりしを以つて、其の金は遂に吳君の手中に留りて支出するに至らず。爲に有用の財を化して無用のものたらしめつつあり。之れ殊に諸公の熱誠に負くものなるを以つて、吳君に書を致して其の金の返還方を依頼し下さる譯には參らざるや。當地の同志は流離して所を失ひ、多くの者は衣食さへ給與せられざる状態なるも、彼等は心志堅銳にして前途有望なり。若し諸公より資金を供給して救濟せらるれば、尤も高誼に感謝すべし。未だ以つて如何と爲すかを知らず。仍つて茲に書を致して貴意を得、併せて公安を頌ふ。孫文、二月四日。

四八、討袁の役に當り鄧澤如へ

— 民國三年 —

1、澤如兄大鑒

此の頃來書に接し、一切を具悉せり。仍つて黨務部の居覺生等に渡して詳細返書せしむることとせり。

追つて黨の規則を送附すべきにより、各地の同志分送されんことを請ふ。此の頃夫己氏は日に人心を失ひ、海内には動機四伏し、歐洲には風雲大いに起りて東顧の暇無く、國賊が恃む所の外債と兵器との供給救濟は、已に其の來源を絶たるるに至れり。之れ正に吾人奮起の機會なり。南方同志の近狀如何を思念し、併せて大安を頌ふ。孫文、九月一日。

2、澤如兄大鑒

弟去歲以來、大業恢復の志は敢て少しも懈らず。今や歐洲には戦亂起りて東顧の暇無く袁氏は後援を失ひて只斃るるを待つのみなり。此の機會は實に失ふ可からざるものなるを以つて、海内の同志は已に進行を準備しつつあるも、只軍需極めて缺乏し居るを以つて、能く時に應じて

進行し得ず。亟に望む、兄等南洋に於て資金の調達を提唱し、以つて之が供給救済に當られよ。兄は黨の内外に於て共に信用勝り居るを以つて、若し起つて一呼せば、事必ず成就するに至るべし。殊に兄に懇請したきは身を抽んで南洋を離れられたきことなり。即ち弟は兄に請うて東京に到つて本部の財政事務を處理されんことを望むものなり。弟の視る所によれば能く此の任に勝ふる者は兄の他に之れ無きなり。兄にして辭する無ければ幸甚し。茲に軍資會調達規程を送付するにより、照察の上、一切の組織に着手し、一段落つきたる上は直ちに來東して授助されんことを祈る。

更に聞く所によれば陳競存と李烈均とが數十萬圓を陳楚楠、林義順の兩君に渡して商業を經營せしめつつある由なるが、確否を審にせざるにより秘密裡に調査して報告あらんことを乞ふ。先は右要用のみ。併せて大安を頌ふ。孫文、九月八日。

3、澤如先生大鑒

數日前一書を致し、資金調達規定を同封し置きたるが、想ふに已に查收せられたるならん。頃日、麻坡よりの來信に接し、該地の分部が已に規定に照して成立せることを知れり。之れ皆足下の提唱指導の力に依るものなり。然れども文面によれば同志宋淵源が貴地に到りて福建軍事

公債を募集し、李濟民が三民實業公司の株式を募集しつつある趣なるが、之れ統一の辦法に非ず、流弊を滋くするものなり。故に先生に於て熱心なる各同志と共に、資金調達局を發起し、一面海外の黨員を指導し、規定に依つて事を處理し、未だ本部の承認を経ずして、個人又は各省に於て自ら政を爲す者有らば、共に之を以つて之を曉諭されんことを望む。又先きに依頼し置きたる、先生の來東援助の件につきましては、繰合せて速に來東されんことを請ふ。至囑の情に耐へず。併せて大安を頌ふ。孫文、九月十五日。

追つて香港人にして海外に出でて資金を調達する者頗る多きも、同志と雖未だ本部の命令を奉ぜざる者は一概に承認し能はざるを以つて、各同志に惑はさること勿らんことを告げられたし。仍つて各處に於て集め得たる資金は總て東京の本部に送金し、本部の各専門委員に於て收納することとし、以つて紛岐するを防ぎ、統一聯絡の功を收めたし。

四九、討袁の役に當り鄧澤如へ

——民國三年——

1、澤如我兄大鑒

十月一日の手書は敬悉せり。兄にして速に來東し得ずとするも、尙本部の事は之を處理し得べきにより、兄は本部財政部長の名義を以つて南洋に於て資金を調達し、贖金の領收證は兄が署名捺印して之を發行せられたし。弟は兄の來東を請うて財政部の事務を處理せんことを欲する者なるが、其の東京の職務は暫く弟より人を派して代理せしむることを得べきにより、英領蘭領の南洋各地に於て均しく資金調達の事を處理されんことを望む。之れ黨の爲に人を選べるものなるにより、幸ひ辭退すること勿れ。償還期日は自由に處理して不可なきも、只各款は必ず直接東京に送金し、廣東福建等に於ける軍事の費用も、須く東京より支出することとせざる可からず。既に統一的辦法による以上、弟の處に於ても僅に一方面のみを顧ることは不可能なることなり。

要用のみ、併せて臺安を頌ふ。孫文、十月二十日。

2、澤 如 兄 鑒

今日展堂より轉送し來れる手書を拜誦せり。

昨日の新聞に記載されたる香港の電報によれば洪兆麟は兵を惠州に起して獨立を宣言し、又十二日には約一千の革命黨員が、同時に五ヶ處の兵營（或るものは省城に在り、又或るものは佛

山に在り）を襲つて之を攻略したるが、仲元等よりは未だ來電無し、或は已に内地に入りたる爲、其の消息は却つて外人よりも遅れたるものならんとあり。弟等の行動は廣東の事の如何を視るを要す。若し廣東の事にして尙大なる成功を收め得ざる時は、弟は兄が先づ東京に來りて當地の黨務情況を視察し、然る後重ねて香港或は南洋に至つて資金調達局を設立し、適當なる人を選んで資金の調達に當らしめられんことを請ふものなり。

陸文輝は先きに委任狀を東京に送還し來りたるにより、弟より説明を加へて重ねて之を送附し置きたるを以つて、兄は彼に面接の上、弟よりの來書を受け取りたる後、彼の必が釋然たり得たるか否かを詢ねられたく、若し尙未だ釋然たらざるに於ては、彼より委任狀を取り返されし。今後資金調達委員は悉く兄に於て統制し、委任狀にも兄の副書を要することと致したきにより、各地の人員を撰擇して御報告願ひ度く、其れによつて委任狀を發行して貴處に送付すべきにより、貴處より更に各自へ交付せられたし。

不取敢右迄、併せて近安を頌ふ。孫文、十六日。

五〇、范鴻仙の暗殺されしことにつきて 鄧澤如へ

——民國三年——

澤如我兄大鑒

茲許委任狀一枚を送附すべきにより、查收されんことを請ふ。

次に現在兄未だ來東せられざるにより、英蘭各領の南洋に於ける資金調達のこととは之を兄に依頼すべきにより、其の局所設置、人員派遣等のことも均しく兄に於て指揮されんことを乞ふ。仍つて英領の事落着の上は蘭領に赴かれたし。蓋し我黨は從來英領を本位とし、蘭領とは交渉疎かりし爲、兄の人望を以つてするに非らざれば、能く之と提携し得ざるなり。

先々月范鴻仙君は上海に於て暗殺されたるが、范君は安徽の舊同志にて、事の處理に當ること已に久しく、今回は上海の事を擔任し、已に北軍の過半数に運動しむたる爲、袁賊は其の勢の防遏すべからざるを知り、之が暗殺に賞金六萬元を懸くるに至りしなり。斯の如く彼の死は宋教仁の死と相類似するものあり。更に范の死と同時に上海の鎮守使は其の北來せる將士二百餘人を捕

へて殺せり。蓋し皆范と通謀して代表者の任に當り居たるが故なり。此の外、製造局を攻めんが爲に埋没しありたる爆發藥も亦發覺するに至れり。而して上海は本と杭州城の事と氣脈を通じ居たりしを以て、范の死に依つて浙江の事も亦頓挫するに至れり。即ち先月二十日杭州に於ては五ヶ處の機關を破壊され、黨員三十餘人は逮捕され、軍事主任夏之麒（寅卿）も其の中に在りたり。夏は老成して重望を負ひ、屢々江浙に在つて武備陸軍學堂總辦と爲り、廣東の趙と共に勢力尤も大なりしものなり。而して其の江浙の事を謀るや、已に數ヶ月に及び、一切の準備は整ひ居たるも資金不足の爲、期日を遷延しむたるものなるが、遂に漏洩し、之が爲に我黨の重要人物も險を出づること能はざりしなり。寔に傷む可し。

然れども現在各同志は依然奮勵進行しつあり。皆謂ふ「第一革命は武昌に於て兵を擧げしも、實は三月二十九日の廣東の役を以つて其の先と爲す。革命は成功の遲きを患へずして、事に死するに其の人無きを患ふ。今此の影響と此の模範との各省に及ぶもの有り。革命の成功は當に近きに在るべし」と。弟の意も亦斯の如し。第二革命に於ては我が黨員にして戦に死せる者一人も無かりしが、范君と夏君とは流血を以つて前事の辱を洗ひ、以つて果斷の種を將來に残せるものなるにより、其の死は決して徒死に非らざるなり。其の餘の各省に於ては尙幸に甚しき變失なし。

御懸念のことと存じ併せて通知し、竝に公安を頌ふ。

各同志へ宜敷く。孫文、一日。

五一、南洋の同志へ

——民國三年——

竊に思ふに、文が東渡以來、夙夜國事を以つて念と爲し、常に大局の危急と生民の塗炭に苦しむ狀況とを見て悲愴の念を抱き、自ら同志を糾合して誓約し、機關を組織して重ねて革命を圖り、犠牲の精神を以つて救國の天職と區區の誠心とを盡さんとしつつあることは、夙に諸君の洞察する所ならん。然れども今回の立黨は前回の方法と頗る同じからざるものあり。曩に同盟會が國民黨を組織するに當つては、徒に主義を以つて號召し、同志を求むるに當つても只主義の同じからんことのみを求めて、其の人の純不純を計らず。故に當時の黨員は其の數多く勢力大なりしも、内部の分子は意見紛岐し、歩行亂れ、團結自治の精神無く、奉令承教の美德無く、従つて黨の主領は傀儡の如く、黨員は散沙の如き状態にて、外侮至れば立ちどころに患難の志摧け、疎きこと路傍の人の如かりしなり。之れ他無し、當時の立黨が徒に自由平等の說に眩惑され、未だ曾つて

號令の統一、黨主領への服従等の事を其の條件となさず。殊に黨員の一黨に於けるは、國民の政府に於けるが如く、動ともすれば自由平等を争ひ得る如きものに非らざるを知らざるなり。若し黨員各自が自由平等を争ふに於ては、世を擧げて當に能く存し得る者無かるべし。蓋し黨員の一黨に於けるは猶官吏の國家に於けるが如きものにして、官吏は國民の公僕なるを以つて必ず須く自己の自由と平等とを犠牲にし、絶對に國家に服従して、人民の爲に自由平等を謀らざるべからず。黨も亦之と同様に於て、凡そ身を革命黨に投じて救國救民の事を以つて自己の任務となす者は、當に先づ一個人の自由平等を犠牲にして、國民の爲の自由と平等とを謀らざるべからず。故に黨の主領に對しては當に其の命令に服従するを要し、國民に對しては其の一個人の權利を犠牲とせざるべからず。伊太利の「ミカエル」は政黨社會學なる書を著したるが、其の中に謂ふ、最も平等的政治精神に富む黨派も、其の日常の事務、重要な行動の準備實行等に於ては一人の命令に聽従せざるを得ずと、之に依つても如何なる黨たるに論なく、未だ其の黨の主領の命令に服従せざる者無きを知るを得べし。且つ革命の際は軍令を行施する必要あり。而して軍令は尤も服従を責ぶものなり。此の故に今回の革命黨改組に當つては、命令に對する服従を唯一の重要條件となせるなり。仍つて凡そ入黨する人員は、必ず甘んじて文一人に服従することを願ふものなり

や否やを自問し、此の點毫も疑慮すること無き者に限り入黨することを得べし。口と心と相違するが如き輩は寧ろ割愛すべし。吾人は斷じて一人にても多くの黨員を得んとして努むるが如きことを爲すべからず。斯くして始めて良莠の混淆を免れ得べし。之れ吾人の今回の立黨が前回の其れと同じからざる所以なり。

先きに初めて革命運動を起せる當時の同人は、均しく精神的に結合しむる爲、一切の規則は未だ制定せざりしも、此の頃漸次黨員の増加を見、黨務も日に隆盛に赴きたる爲、何等かの軌範有るに非らざれば依據するに由なく、加ふるに海内海外の紛擾あり。故に此の際、規則を定め、支部を設けられたく、茲に總規を定め、之を貴方に送附致すべきにより遵守施行せられたし。若し地に就きて支部を開設さるる場合は、心を盡して研究し、總規に準じて適宜處理せられんことを乞ふ。本總規は本黨全體の組織を規定せるものにて、特に本部の事に詳なるにより、各支部の組織は各地の情勢を參酌して各自規則を定め、本部の許可を得て後決定せらるべし。只注意を要するは(一)各支部の分科組織は悉く本部の組織と同様ならしむるを要せず。又本部、總協理、各局院等の名目は本部のものを襲用し得ざるものとす。本部中の軍事部、政治部、協贊部及部内の各院と支部とは皆必ずしも之を設立するを要せず。部長と副部長とを設け、總協理は設けず。各

分科の事務整理は、科又は股と稱して部、局、院等と稱せず。以つて紛淆を免れ、限界を明瞭ならしむるを要す。(二)本黨は秘密結社にして政黨と同一性質のものに非らざるを以つて、各地の支部設立も當に秘密に附し、事に當つても宣傳せず、黨員の紹介には尤も宜しく慎重を期せざる可からず、從來設立されたる國民黨支部は政黨の性質を帶ぶるものなるにより、現在の黨と並行して悖らず。従つて故組せず。以つて枝節の發生を免るべきなり。更に同心同德、以つて事に當り、黨員の新舊によつて差別を設けざること最も大切なり。

之を要するに、今回は秘密に結黨するものなるにより、時としては國民黨の名義を用ひて旗幟とし、又時としては別に名目を立てて號召する等、此の點何れにするも差支無きにより、諸君に於て状況酌量の上、適宜之を謀られたし。孫文。

五二、中華革命黨の組織に當つて李源水へ

——民國三年——

源水先生鑒

此の頃高維兄よりの來函に接したるが、足下已に吳世榮君に許し、先きに南京に送金せる資金

を東京に轉送し、以つて同志の貧苦を救済することとなりたる由、厚誼と隆情とを深く感謝す。早速尊處に通電し置きたるが、想ふに既に到着したるならん。尙至急送金あらんことを切望す。至囑の至りに勝へず。當地の同志は困苦顛沛し、備さに艱苦を嘗め居るも、尙精神的には團結し、百折不磨の慨あり。

弟初めて此の地に來り、重ねて旗鼓を整へんと欲し、特に本部を組織して同志を集合し、各自命令に對する服従を誓約し、以つて統一を期し、従前の散漫なりし弊を洗除せんとせり。然るに各同志は均しく踴躍して加入し、黨勢日に隆昌に赴けり。此の頃本部支部の各規則と革命方略とは、均しく已に引續き制定され、現に各地の組織を擴張せんとしつつあり。規則書の印刷完了を俟つて各地に分送する考なり。

同志は素と足下の熱誠と、國を愛して終始一の如きことに對して欽慕の情を寄せつつあり。刻下の此の地の組織に對しても是非賛成せられんことを願ふ次第なり。若し賛成して能く支部の組織を擔當せらるるに於ては、現在國民黨支部内に在る秘密團體の規約を郵送致すべし。尊處以つて如何となすや。返信を寄せられんことを望む。専ら茲に復し、併せて御多幸を祝す。孫文、四月十八日。

五三、資金調達の事に関し鄭螺生と李源水へ

——民國三年——

1、螺生、源水兩兄大鑒

手書具悉。兩兄愛國の熱誠の終始懈らざること、感佩に勝へず。歐戰正に酣にして東顧の暇無く、袁氏の後援已に絶えたるを以つて、正に我黨の大業を恢復すべき時機なり。海外の同志、之に鑑みて急ぎ資金を調達し、以つて救済に資す。之れ毅力を徵するに足るものなり。

現在國內の同志は共に夫々進行を計畫しつつあるも、只資金缺乏し居る爲、未だ能く時に應じて發展する能はず。然るに今兄等の提唱によつて内外の力を合することを得たるを以つて、大功の成就も當に日を指して待つ可し。

今回の事により弟は完全なる統一を求めて流弊を防がんとするものなり。故に重ねて黨規を制定して一切を整頓せんとし、現在各部の資金調達の事にも全力を盡す考なり。仍つて書翰を以つて各同志に告げ、集め得たる資金は一括して本部に送金し、本部より各處に供給することとせり。而して資金調達本部又は某々機關と稱するものにして、種々なる方法を用ひ、夫々の名

義に於て各個の所用資金を調達するが如きものは一切之を認めざるものとす。然らざれば眼前已に紛擾を極め居るを以つて、將來必ず衝突するに至るべき虞れ有るが故なり。

次に廣東の軍事は弟已に鄧鏗を派して専ら其の事に當らしめ、經費は弟の處より供給しつつあり。故に弟は澤如兄に謂うて、直ちに日本の本部に來つて財政を經理せられんことを願ふものにて、必ずしも香港に到るを要せずと考ふるものなり。蓋し香港の人事は複雑なるを以つて、澤如兄が彼の地に到るも、主持頗る困難なるべく、其れよりは寧ろ來東して本部に在つて事を處理すれば、弟も助力を得べきが故なり。

澤如兄は素と黨人に信用あり、才幹も亦優れたる者なるを以つて、兄等に於て弟の爲に其の來東を勧められんことを望む。

専ら茲に復し、併せて大安を頌ふ。孫文、九月八日。

資金調達規則を送附致すべきにより、参照あらんことを乞ふ。

2、慎剛、蝶生、源水三兄公鑒

十月十七日の手書を敬悉せり。張と陳とが廣告を登載せる一事は、寔に其の意の在る所を明かにし得ず。而して南洋の資金調達は之が爲に無形の障礙を蒙りたり。従つて彼等は實に其の責

任を負はざるを得ず。

先きに各省に於て紛々として資金調達に當る者有り。之が爲に統一に大なる障礙有りたるを以つて、曾つて書を澤如の處と尊處とに寄せ、集め得たる資金は一括して東京に送金し、然る後本部より各地の需用に應じて送付する様依頼し置きたるが、聞く所に據れば廣東の事急を告げ、已に南洋より香港へ一萬餘元の送金有りたる由なるが、之れ例外にして已むを得ざるものなり。然れども其の金の受取人は南洋へ領收證を送り返す必要有るを以つて、尊處より東京本部へ之を送り、弟の親書せる領收證と交換して送付することにすれば始めて正當なる手續に合し得べし。

金錢の逼迫せる時に當つて、各同志が力を竭して軍需を助けるる熱誠は、寔に尊敬に値す。殊に兄等の提唱の力は尤も得難きものなり。専ら茲に復して、公安を頌ふ。

同志各位へ宜敷く。孫文、十一月六日。

五四、南洋の同志に「ピナン」の家屋賣却方を依頼する書翰

——民國三年——

南洋同志公鑒

日支交渉の経過により、袁氏賣國の證迹昭然たるものあり。内地の人心異常に憤激す。我黨は此の時局に當り、急速に進行せざるを得ず。従つて現在資金を需要すること甚だ切なるものあるも、同志の力は已に甚だ疲弊せり。査するに辛亥年間同盟會の「ピナン」に於ける殘餘金（仲介者の著服せるものを除く）尙二萬餘元有り。之を以つて大屋二軒を購入し置けるを以つて、直ちに「ピナン」の同志と協議の上、其の家財一切を賣却し、賣上金全部を東京に送金して需用に應ずる様取計はれたし。

在昔辛亥年間廣州の三月二十九日の役に當つては「ヴァンクローヴァー」と「ヴィクトリヤ」の兩地に於ては、共に致公堂の家財を賣却して軍需を助け、海内海外の義舉を壯にせり。況んや此の家財は黨の所有に屬するものなる以上、此の急迫せる時に當つて之を軍需となすことに何等の疑

義有る譯無し。

本書到著の上は直ちに協議執行して、遅延すること勿らんことを請ふ。先ば右要用貴意を得、併せて公安を頌ふ。孫文、五月二十六日。

五五、許、宋を南洋に派するに當り鄭螺生等へ

——民國三年——

1、螺生、源水、孝章、仁甫、八堯、赤霓同志鑒

許崇智、宋振の兩君南洋より歸來し、備さに諸兄の熱心に招待されしことを聞き、感謝に耐へず。

當地は積極的に進行しつつあり。事の遅延を許さざるを以つて許、宋、黄等の數君を「フィリッピン」群島に派遣し、一つは以つて黨情を視察し、一つは以つて軍資を調達せしむる考へなるにより、事の一段落を俟つて、重ねて南洋に赴くこととなるべし。

謹んで茲に鳴謝し、併せて大安を請ふ。孫文、六月十六日。

慎剛、螺生、成就、源水先生公鑒

七月十九日の手書を誦悉し、藉りて一切を詳にするを得たり。此の商務病弊の時に當り、公等能く再接再厲、力を竭して資金を調達し、以つて巨款を集め得たるは、全く愛國の熱誠の高度に達したるに依るものなり。宋黃二君の報告書にも亦林先生が深く社會の信用を得、今回の提唱に當つても其の餘力を遺さざりしことを述べあり。感謝措く能はず。要するに此等は皆國と黨を思ふ公心より出でたるものにて、此の點弟も敢て私人として謝を述ぶるものに非ず。精衛兄よりは已に來書有り、將に東京に抵らんとしつつある由なり。専ら茲に致し、併せて公安を頌ふ。孫文、八月七日。

3、慎剛、蝶生、源水、赤霓、八堯、孝章、怡益、增波我兄並各同志公鑒

許宋二君の報告によれば、貴地同志の團結堅く、各地の中心と爲りつつあるかの觀ありと述べあり。之れ全く兄等の提唱の力に依るものなり。感佩甚し。

近來各地共資金調達と救亡の策とを協議しつつあり。「マラッカ」と麻坡とに於ては、已に一般職金の外に生産品の徵收と、資本金の減少による職金の方法とを議せる由なり。想ふに貴地に於ても亦已に畫策進行中の事なるべく、貴地の同志の素養を以つてせば、尤も大なる効果を收むることを得べし。斯の如く協同一致、群策群進することは、眞に民國の前途の幸なり。

日支交渉の經過により袁氏の賣國の證據已に明かとなり、國內人心の異常なる激昂は、清朝末年の鐵道騒動よりも猛烈なるものあり。吾人は此の時局に際して、急速に事を進行する必要あり。現在沿江各省の準備は已に頗る整ひ、若し經濟問題にして稍能く解決し得ば、意の如く發展することを得べきにより、兄等速に之を圖り、良機を失ふこと勿らんことを望む。専ら茲に致して公安を頌ふ。孫文、五月廿五日。

五六、支部組織の事に關し洪門會へ

——民國二年——

冠省、民國紀元以前に於ては、我が洪門會は自由組織を以て引續き活動し、國の爲に艱苦を嘗めしこと數百年の久しきに及べり。然るに辛亥の一役に於て虜朝の政權遂に覆り、完全に已に種族革命の目的を達したるを以つて、祕密結社時代の事を顧みて、尙初衷に負かざるものあり。志有りて竟に成るに至る。諸公の偉力誠に没す能はざるものなり。未だ幾許も有らずして袁氏約に背きて國を竊み、兵を擁して帝制を布き、茲に於てか第二革命の勃發を見るに至りたるが、不幸にして精神潰散して失敗相繼ぎ、景炎等勢に趨くの徒輩は、平日革命に附和し乍ら、時に及んで

盡く假面を棄て、賊道に走り義に叛きて、民賊の爲に力を致し、之が爲に同胞同志の殺戮さるる者、數ふるに勝へず。國家の法律淪亡し、是非暗黒なるに非らざれば、此の時に當つて、尙人權保證の道を設けざるの理有らんや。茲に於てか人天共に袁氏を怨むこと、學國の公認する所なり。文、天職を以つて各地に於て同志を集合して、中華改命黨を組織し、近時機關も既に備はり、進行も亦見るべきものあり。只今回の組織は前回と異なるものあり。即ち前回に於ては根本的に經驗を具備し得ざりしも、今回は必ず其の覇權を妨ぐ必要あり。故に總規十二ヶ條に載する所も、首として黨員は元勳に隸屬し、公民は參政執政の優先權を得となし、全く眞正革命黨の保障を目的とし、當年の勇進者を鼓勵し、後に來る若を表率するを以つて基準となし、其の義深遠なるものあり。幸に海内海外各同胞の一律に鑒及する所となり、新進黨員の類を以つて集る者數萬に上る。而して我が洪門會の從來の主義は既に昭然たるものあり。今後は之を掲げて再接再厲し、應に協力並圖せざるべからず。政治革命と種族革命とは其の性質に於て既に判別し難きものなるも、種族革命は多くの祕密機關を設置して夫々別個の活動を爲すことを得、之に引換へ政治革命は義に仗つて主張を爲し、堂々の陣と正々の旗鼓とを以つてするに非ざれば、以つて國民の觀聽を動かし、外鄰の干涉を避くるに足らず。今日如何なる團體に論無く、其等の總てが已に合流せるは、

實に此の意あるに依るなり。文、忝けなくも洪門會の一分子に屬し、之と密切なる關係に在り。仍つて文は各地の洪門團體が急起直追して共に革命事業を圖り、全會員が誓約書を書きて中華革命黨に加入し、其の機關の外部に對しては如何なる通信名義を用ふるも何等差支へ無きも、内部的には一律に總規と通則とに遵據して中華革命黨支部に改組し、以つて消息の疎隔を免れ、指臂相助の妙用を收めんことを欲す。望むらくは諸公、極力國家主義を提唱し、相互對立の弊を破り、迅速に處理して、其の結果を回答し、以つて正式任命に便せしめられんことを請ふ。若し天民國を祐けて完全に目的を果さしめ、能く洪門の名譽を達せしめば、功勞は將來益々無窮に垂るべし。書意を盡さず。

専ら獨に奉達す。孫文、謹啓。

五七、海外國民黨各支部改組の通告

——民國三年——

冠省、善良なる一國の政治は、全く強力なる政黨を以つて憲制を擁護し、少數者の專制に抵抗することに依つて得らるるものなり。故に政黨の作用は一には以つて多數の政治的智識を有する

者を養成し、人民をして政治に對する興味を有せしめ、二には政黨内閣を組織して其の政策を行ひ、三には政府を監督又は左右して、政治を正軌の外に出でざらしむることなり。而して之れ皆共同活動の精神なり。

民國成立以來、同盟會は五黨を併合して有力なる國民黨を組織したり。之れ民國に入つてよりの第一の誕生なり。然るに袁氏武力を以つて國會を解散して憲制を破壊し、人民の政治に容喙するを許さず。之が爲に本黨は早く已に其の作用を失ひ、袁氏は之が解散を迫らざるも、名存して實は已に亡ぶるに至れり。然れども茲に於て解散さるるも、我が輩の精神にして克く存する以上、機關の名稱の如きは必ずしも惜むに足らざるものなり。

、政黨の目的は國事を均しく政治的に解決するに在り。然るに今や海内多事、生靈塗炭に苦しみ、法を鋤きて制を臆ひ、驢に非らず、馬に非らざる状態なり。之を以つて進まば何ぞ能く完全なる法治を望み得んや。弟此の現象を覩るに殊に初衷に異なるものあり。故に第二革命の失敗後、繼續して積極主義を持し、新舊同志を統率して第三回の進行を謀り、務めて武力を以つて彼の暴政を除かんとす。而して之が爲には先づ破壊して然る後各般の建設を爲すを順序とす。只組織の初に當つては團體は務めて一致を求むるを要す。國民黨は同盟會の産兒にして、同盟會は革命黨の元

素なるを以つて、其の精神と主義とは終始一貫するものなり。今國民黨は解散されたるも、革命精神は日久しくして愛篤く、未だ少しも磨滅せず。今日破壊の能力有つて始めて他日建設の餘地有り。時によつて臨機の處置を取り得て始めて鞏固なるを失はず。故に國內各省の國民黨支部及交通部にして政府によりて解散せられしもの竝に其の餘の租界内に設けられたるものは、總て秘密裡に改めて中華革命黨支部或は交通部と爲し、誓約書を書き、新規程を遵行して直接本部の指揮を受くることとなれり。唯海外の各支部は袁氏の命令違はず。爲に依然として存續し、勢の屈する所とならず。又時の懈る所ともならず。之を波に隨ひ、流れを逐ふ者に較ぶれば、勝ること千萬なりと雖、此の風雨飄搖の民國に値り、袁氏の急亡を救ふに足らざるは、國民の共に見る所たるを以つて、自然黨員の心理も革命を以つて前提となし、政治の研究を以つて第二の問題と爲さざるなし。既に國民黨の歴史に溯り、國民黨の輿論に徴するも、均しく革命事業と相維相繫の關係に在り。只機關の名稱は隔絶せる爲、未だ能く聯絡一致する能はず。仍つて特に茲に公信を寄せて海外各地の國民黨支部竝に交通部に通告す。若し未だ中華革命黨に加入せざる者有らば、全部誓約書に記入し、總規に遵據して重ねて改組を行ふ外、暫くは從來通りの名稱を用ひて差支へ無きも、内部的には必ず一律に其の實を行ひ、若し一部を已に改めて中華革命黨支部と爲し居

る者は、其餘の部分にも同様に改組を行ひ、或は先きに設立せられたる支部と並行し、又は或は別に支部を設立する等、夫々各地の情勢を酌量して適宜處理せられたし。而して若し能く一定の手續に照して適宜處理したる上は、本部に報告して正式に委任し、以つて之が統一を謀るに便せしめられたし。諸公の毅力と熱心とに俟つて始めて國歩の殷盛を期し得べし。偶名に循つて實に核らんことを求む。而して新舊兩黨は共に皆文の發起せるものなるにより、茲に縷述して諸公に告げ、以つて實地進行の便たらしめられんことを祈る所以なり。望むらくは諸兄之を察允せよ。右懇願す。孫文、三年十一月 日。

五八、中華革命黨組織に當つて日本より

鄧澤如へ

——民國三年——

澤如我兄足下

久しく音信を通ぜず。當地に於て黨の組織に當り居りたる爲、之が成立を俟つて後、詳細に通報すべく考へられたるが爲なり。而して今其の緒に就きたるを以つて、特に茲に足下に一言す。

弟昨年此の地に來り、重ねて新黨を組織して捲土重來の計を爲さんことを發起し、同志と共に秘密裡に之が組織に當り、従前散漫不統一の弊有りしに鑑み、今回の立黨に當つては、特に黨首領の命令に對する服従を主とし、各自誓約書を書きて自己の生命と自由と權利とを犠牲にし、命令に服従し、義守に忠を盡し、生死共にせんことを誓はしむることとせり。而して前後已に四五百人を得、均しく最も信頼するにたる同志なりしが、其の後來り入黨する者尙未だ多からざりしところ、此の頃引續き本部規定と新革命方略との制定を見るに及び、當地の同志は風を聞きて踴躍加入し、以前の同志中の重要分子は勿論、多數の新進氣鋭なる同志も亦入黨し、之が爲に聲勢益々張り、從來傳へられぬたる我黨分裂崩壞の兆候は悉く已に消滅するに至れり。仍つて今後の舉事は必ずや前者の覆轍を蹈むことなく、諸事共に第一人の統率の下に歸すべく、従つて國事は未だ願の如くならざるも、黨務の大成は日を期して待ち得るに至るべし。

今回の組織に於て必ず第一人に服従すべきを誓はしめたるは、第一第二の兩革命に際し黨員は皆其の是とする所を獨斷獨行し、其の間に統一無く、之が爲に勢力を失ひ時機を誤れること尠からざるものありたるが故なり。識者が我黨の敗因を不統一に歸するは寔に謬らざる見解なり。即ち南京政府の際の如き、弟は總統たりしも木偶に同じく、一切は皆弟の主張によらず。袁氏の命

を受けて總統となりたる一事に關しても、袁氏は自ら命を清帝に受けたるものにて、民國の命を受けしものに非ずと自稱したるにつき、弟當時之を憤つて力争し、大義名分の關する所なるを以つて、寧ろ重ねて開戦すべく、放任して惠恣横行の風を長ぜしむべからずと爲したるも、當時の同志は皆弟を責め、且つ弟の主張に反對せり。然るに今日袁氏竟に其の黨に囑して命を國民に受けしものに非ずと宣言するに至れり。今にして始めて當時の弟の主張の正當なりしを悟り得るに至りたるべし。

此の外、南京建都と、袁氏をして南下して職を受けしむることとの二事に關しても、弟は當時極力之を主張せしにも係らず、之れ亦同志の反對する所となりたり。又第二革命前宋教仁暗殺事件勃發に際しても弟は當時直ちに開戦すべきことを力説せしが、克強は之を允さず。遂に時日を遷延し、爲に開戦するや直ちに敗北するに至れり。以上の諸事に徴するも、統一と服従無ければ何事によらず、立ちどころに失敗するを知り得べし。故に前轍に鑑み、極力從來の積弊を洗除せんとせるに、幸ひ多數同志も均しく以つて然りと爲し、遂に此の成功を收め、今や已に之が緒に就き、南洋、歐米等に規則書を分送し、各地に於て支部を設立せしむることとなれり。足下は久しく南洋に居り、聲譽素と遍きを以つて、想ふに能く此の主旨に本きて各地に支部を設け得べし。

し。仍つて茲に特に情況を詳報し、足下が此の事に賛成し、此の主旨を傳播されんことを希望する次第なり。想ふに足下、必ずや此の請ひを却けざるべし。規則書類一切は近日中に送付致すべし。

以上貴意を得、併せて近祺を頌ふ。孫文、四月十八日。

五九、朝日新聞記者に答ふ

——民國三年——

茲に貴記者より中國人は何を以て日本を深く恨むや、また兩國の感情を調和するの法ありやとの質問を承く。余當に誠を竭して之に答へ並に之を吾が日本の故友に告げん。

余は從來最も熱心なる中日親善の主張者なりしも、近年日本政府は毎に吾が國の官僚を助けて國民黨を挫かんとするは痛恨を禁ぜざるなり。夫れ中國國民黨は五十年前の日本維新の志士なり。日本はもと東方の一弱國なるも幸ひ維新の志士あるを得、始めて能く發奮して雄となり、弱を變じて強となれるなり。吾が黨の士も亦日本志士の後塵を歩み而して中國を改造せんことを欲するものなり。余が日本との親善を主張するはこれが故なり。圖らずも日本の武人は其帝國主義の野

心を逞うし、其維新志士の抱懐を忘れ、中國を以て最少抵抗力の方面と爲し、而して之に向つて其侵略政策の發展を謀らんとす。これ中國と日本との立國方針の根本上相ひ容る能はざるものなり。日本人の見解によれば則ち曰ふ。中國は從來列強の侵略を受く。而して日本を列強に較ぶるに何等他の諸國より一層侵略に急なるが如き事實なし。然るに何を以て獨り日本を恨むことの尤も深きやと。嗚呼、之れ少弟の強盜と伍して以て其長兄の家を劫し、而も猶之に對して兄の弟を恨むこと強盜を恨むに過るは不當なり。吾等二人は血氣を同うすればなりと言ふに異らず。これ今日日本人の同種同文を言ふものの句調なり。更に甚しきものあり。即ち日本が對獨宣戰の結果青島を攻克するや、列強に對しては青島を我に還すことを宣言し、而も我國が歐戰に参加するや反つて列強と密約を結び以て獨逸の山東に於ける利權を繼承せんとせり。夫れ中國の參戰たるや日本も亦勸誘國の一なり。是れ顯然中國の勞に服するを欲し而も日本は坐してその利を享けんとするものなり。この事たるや中國人の眼光を以て之を觀れば如何なる事とならん乎、即ち廣東語に所謂「豚の仔賣り」なり。何をか「豚の仔賣り」と謂ふや。即ち往時、「ペルー」、「チリー」、「キューバ」等の地は開墾の人に乏しく、外國の資本家は中國人の勤勞を利し、而して廉値に備ひて、遂に中國の勞働者を招けり。然れども當時海禁未だ開かれず、中國政府は勞働者の渡航を

禁じ、西人はただ澳門に於てのみ勞働者を募集するを得たる也。故に毎年澳門よりの渡航者は十數萬を計上せり。而してこれ等の勞働者は皆内地より拐はかされたる者にして、甘言厚利を以て餌とし、孫子の金儲けの希望を以てせるなり。而して勞働者の一旦欺かれて澳門の豚の仔館に入るや終身脱走の途無く、而して豚の仔頭（勞働者誘拐者）は則ち高價を以つて之を洋人に賣り、海外に渡航せしめて苦しき勞働を爲さしめ、勞働者は終世辰勞し、且つ種々の痛苦を受け韓躑殘殺を視るは尋常のことと爲す。是、仔豚の人の料理を受くると異なるなし。故にこれら誘拐者の手にかかりて賣られたる勞働者を豚の仔と曰ふなり。曩に日本が中國に參戰を勸め、而して同時に又山東の利權を攫取せんとせるは是れ全く中國を賣りて豚の仔と爲すに異なるなし。夫れ豚の仔の地位は固より家奴に比して更に遙かに下位となす。家奴は身分賤しと雖も若し服務勤勞、奉命惟れ謹めば猶ほ主人の憐顧を望み得、且つ溫飲の憂ひ無し。豚の仔は是と異なる。是故に當時澳門の豚の仔頭をなせる者は如何なる貪利を得るに論無く、斷じて其家奴を賣りて豚の仔と爲すに忍びざりし也。必ずや休戚相關せざるの人を誘拐し賣りて豚の仔と爲せるなり。中國に就て之を視るに、日本は今日臺灣朝鮮を他人の爲に服せしめ、坐して其利を享くるに忍びざるなり。此の故に日本は已に中國を臺灣朝鮮の下位に置くものなり。是れ忍びんとして忍び得ざるものなり。若し

之を以て先例となさば今後、世界に戦争あらば日本は必ず中國を参加せしめ坐して其利を收めんとするに至るべし。これ直ちに豚の仔を以て中國を待つものなり。尤も甚しきは昔澳門の豚の仔頭は人を賣りて豚の仔と爲し、その利を洋人より取りたるに過ぎざるも日本は今回中國を参戦せしむるや、既に南洋三群島を獲て以て之が酬償と爲せるも、猶ほ足らずと爲して更に山東の利權を攫取す。是れ既に中國を以て豚の仔と爲し、而して猶ほ豚の仔の本身に向つて一鬮の肥肉を割取し以て自享せるものなり。天下惨忍、背理の業の尙これに過ぐるあらんや。中國人の日本に對する痛恨の骨髓に深入せるの所以は即ち此等の行爲に在るなり。而して日本人にして之が辯護をなす者あり。則ち曰く、日本の山東利權を取れるは戦勝を以て攻取せるものなり。果して然らば則ち日本は何ぞ正に堂々列國に向つて山東利權の繼承を青島攻克の時に於て要求せずして、鬼々崇々、中國の歐戰参加の日に於て始めて列強に向つて密かに之を酬償の具と爲せるや。夫れ中國は尙ほ未だ日本に隸屬せざるなり。日本政府は竟ひに中國に對し其決否の權を擅行し、且つこの權を行ひ以て列強の酬償を得。これ中國を賣るの行爲に非ずして何ぞ。夫れ今回の歐戰は固と分けて兩方面となし旗幟甚だ鮮明なるものあり。其の一は即ち獨、塊、土等にして乃ち侵略を以つて目的となすもの、他の一は英佛米露即ち侵略反對を以つて目的となすものなり。故に英米の軍

は歐洲戰場に在り戦勝攻取、而して獨逸より奪取せる名城大邑は皆に青島に百倍せるのみならず、其犠牲も亦日本に萬千倍す。而して英米は攻克せる所の城地を皆一々原主に返還せるなり。日本は侵略反對の方面に加入せる也。何ぞ戦勝攻取を以つて山東に於る獨逸の利權繼承を要求し得んや。若し日本の本意がもと侵略にありとなさば當時協商國方面の加入に應ぜずして當に獨逸方面に加入すべきなり。或は又謂ふ、中國の参戦は斷じて未だ何等の功績を立てず。日本の功を貪るを得ざる也。而して此頃の戦争たるや獨逸の侵略主義反對の戦なるを知らず。則ち百數十年獨逸の侵略し得たる所の領土は皆一々原主に返還せり。彼の一「ポーランド」、「チエッコ」二族も亦赫々の功無きなり。而して「トルコ」も已に恢復す。我が中國の山東青島何ぞ獨り然らざる。且つ「デンマーク」は中立國にて、戦に於るや更に言ふべきの功なし。而も獨逸の六十年前に奪ひたる領土は今亦原主に返還せり。此の故に中國が戰國に参加せるを以つて青島の返還を望み求むるは固より當然のことなり。仍ち日本人士は口に同種同文の親善を倡へながら、而も其中國を待遇するは遠く歐米に如かず。是れ何ぞ中國人の日本を恨みて歐米と親むを怪しむに足らん。日本政府と軍閥とは其所爲を以て其欲する所を求め、而も猶ほ中國人の反動せざらんことを望み、舉國一致以つて遠交近攻の策を採る。斯くては借に亡びんのみ。即ち日本が今日獨逸の山東に於る

利權を繼承せるは即ち他年獨逸の敗亡を繼承するの前兆たるのみ。東鄰の志士、其れ果して同文同種の誼あらば宜しく速かに日本政府の猛省を促し、日本の立國方針を變易せしめ、以つて中國方面に於ける侵略を爲さざらしめば庶くば多ことあらん乎。孫文。

六〇、討袁の役に當り南洋の同志へ

——民國四年——

1、南洋同志公鑒

兄等と別れて以來迭々寒暑を更へたるも舊雨の懷は未だ嘗つて一日も我が心曲を去らず。國本未だ固からずして民賊忽ち威を張り、黨人、迹を東に避けてより又二年なり。弟祖國の危急に瀕すると海内海外の同胞の苦痛を受くることを視て、急ぎ彼の惡政府を倒すに非ざれば以つて挽救するなしと爲し、且つ當に往事の失敗を引きて鑑戒と爲すを要するにより、一面に於ては日に進取を圖り、他面に於ては重ねて黨務を整理し、完全に責を負うて統一進行せんことを企圖せり。而して此の頃海内の是非漸次明かとなり、人心日に彼を去つて我に就き、加ふるに内地の同志は奮發懈らず、海外の同志は力を竭して扶持しつあるを以つて、民國亡びず。

共和を恢復し得べきこと必要なり。

弟と同志諸兄とは夫々異境に居り、其の間信書の往來によつて情意を通じ得べく、吾人は目的の爲に集合し、精神的には相互感應し得るものなるも、黨事進行上の各節に關して、互に一箇所に集りて共に協議談合すること能はず。寔に遺憾に耐へず。且つ此の頃頻りに異りたる意見を抱きて故意に反對を唱ふる者有るにや聞く。我が同志諸兄は之が爲に惑はさるることなかるべきも、中立者等は間々之が爲に動かされ、爲に大業に妨げ有り。仍つて茲に特に許崇智、葉夏聲、何天炯、宗振の諸君に請うて共に南洋に到りて兄等と折衝し、併せて弟の近日の所懐を述べしむることとせり。四君は皆黨の要人にして、其の經歷は贅述を待たざるものなり。特に夫々公信を與へて證と爲す。

専ら茲に致して同志各位の公安を頌ふ。孫文、三月九日。

2、澤如兄鑒

茲に許崇智君等を派して南行せしめ、同志の聯絡と黨勢の擴張に當らしめ、且つ各般の進行状況を報告せしむることとしたるにより、貴地に到りたる際は然る可く折衝の上、共に各地に赴きて熱心なる各同志を紹介されることを請ふ。又許君等出發の際は偶々公金缺乏し居りたる爲

其の所持せる旅費も多からざりしにより、若し必要有らば、兄の處に於て法を設けて、公金取扱支所より、若干を支出し、許君より其の金鎖に對する領收證を受取り置き、他日、本部の財政部に送金する際、其の領收證も共に送附し、財政部長より數の如く債券を發給する様取計はれたし。茲に書を致し併せて大安を候ふ。不一。

同志各位へ宜敷御先言ありたし。孫文、三月十四日。

3、澤如先生鑒

許宋兩君歸り來つて、備さに熱心なる款待を受けんことを述べ。兄等の公誼と私情とに衷心感謝の情を禁じ得ず。

現在の情勢は急進に有利なるも、各處の小額の資金を以てしては、共に皆大事を圖るに足らず。故に重ねて許君等を「フ、イリッピン」に赴かしめて大金の調達に當らしむることとせり。約一箇月の後には重ねて南洋に返るべく、恐らくは目的を達成することを得るならん。仍て貴地に到りたる際は極力周旋せられたく、交情に甘え、敢へて拒否するなからんことを祈る。弟の心身は舊に増して悉々強健なるにより、御放念ありたし。専ら此の書を致し、敬んで大安を請ふ。孫文、六月十六日。

六一、資金調達と討袁の事につきて鄧澤如へ

——民國四年——

1、澤如仁兄同志鑒

六月十三日の惠書竝に「バタヴィヤ」よりの書翰は均しく誦悉せり。「バタヴィヤ」よりは別に來翰有りしが、文意は同一なりしを以つて、已に返書し、其の預金を東京に送金する様依頼し置きたり。

南洋の各領に於ては、兄の鼓吹有りし爲、自然効果も見る可きもの有り。又資金を直接上海に送金する件に關しては、前回は事急にして十萬元の不足有りし爲、之を許したるものなるも、現在は斯る事情無きにより、當地に送金して一括し置く方、使用と計算とに便利なり。

陸軍總長の退職と次長の彈劾せられしことは、皆確に其の事有り。北京の内訌烈しく、猜嫌甚だ深きものあるを以つて、時に及んで一度び事を擧ぐれば、當に治天の勢を具し得べし。汝爲の來翰によれば、「フィリッピン」方面に於ては踴躍して釀金を申出來り、能く十萬の金額に達し得べしと言ふ。南洋一帯に於ても若し兄が勧誘し、同時に集りたる資金を當地に送金

し來れば、所定の計畫は必ずや能く實現することを得べし。弟が東京を離るるとの説は虚構なり。若し依然局面に變化無ければ、弟は他處に行かざる考へなり。

2、澤如先生大鑒

袁氏の賣國交渉進展以來、近時竟に其の爪牙を嚇して公然と帝政運動を爲すに至り、爲に内外の人心異情に憤激し、素と袁の親信せる者も亦多くは離叛するに至れり。吾人は自ら共和を創成せる者なるを以つて、之が變改は斷じて忍びざる所なり。近時一兩年以來、之を謀りて急がざるに非ず。事に當る者も夫々其の力を致したるも、財政窮乏し、之が爲に往々成るに垂んとして敗れたるなり。故に今茲に我が力を厚集して時に乘じて大いに起たんとするに當り、先づ巨款を籌集するに非らざれば能く之を爲し得ず。故に陳英士君、許汝爲君、鄧仲原君を派し、南行して英、蘭各領及暹羅に到つて資金の調達に當らしむることとせり。殊に蘭領は之を重視する考へなり。許鄧二君は曾つて先生と折衝せんこと有り。陳君は我黨の闘士にして、第一革命に於ては上海にて東南の鎖鑰を握り、其の功最大なるものあり。第二革命以後も意志極めて堅銳にして、本部成立するや、弟に代つて總務を司掌し、能く勞に任じ、怨に任じたる者なり。

貴處に到りたる上は速ばざるを正して、一切を指導されんことを望む。感激に勝へず。
以上要用のみ、併せて大安を頌ふ。

漢民兄も近日中に「フリッピン」に赴きて資金の調達に當るべし。孫文、十月三日。

3、澤如仁兄大翰

去臘許鄧兩君倉卒として歸來し、許君は上海に留つて福建の事を畫策し、鄧君は獨り東來して一切を報告せるが、近日中に又重ね南渡しで事の進行を助くる豫定なり。執信は廣東の經營に當りつつあり。雲貴兩省の獨立後、湖北、江西、蘇州、杭州の各處も均しく發動を準備しつつあり。其の間多少の蹉跌は有りたるも、元氣を傷けられしこと無く、依然たる勢力を保持しつつあり。只長江一帯には敵の大兵駐屯し、且つ彼等には津浦京漢の兩線による運輸の便有るを以つて急ぎ彼等と争つて資力を過費するは得策に非ず。故に現在のところ、廣東と福建とに全力を注ぐことに決し居る次第なり。此の兩省にして一度び統一されんか、雲貴兩省を打つて一丸となし、斯くて南方の局勢一度び自活し得るに至れば、長江沿岸の各省も自然動搖するに至るべし。更に北方の經營は之れ亦現に大いに見込み有り。陝西の革命軍は斷じて撲滅し難く、内蒙の馬賊は宗社黨と結托し、我黨の爲に敵を牽制するの役目をつとめ、従つて多數の北兵を

南下せしむることは不可能なる状況に在り。南方は武器を補充せる上は大舉して北上すべく目下計畫中なり。

現に決定し居る計畫は大略以上の如きものなるが、之が爲の軍需は頗る浩繁なるを以つて、巨款に非ざれば以つて供給救済するに足らず。昨年各處より送金し來りたる分は、盡く雲、貴、川、陝及沿江各地方の事に使用せるが、許、鄧兩君の去りたる後、今年の南洋よりの送金は去臘繼續して送金ありし時の如く好成绩ならず。蘭領の各地は最も滞り居る有様なり。(許、鄧兩君の去りたる後は、已に釀出を承認し居るものの中、大半は未だ釀出して東京に送金し來り居らざる状態なり。)此の新策の施行に着手せんとするに際し、當事者をして決心有るも障礙の爲に行ひ得ず、全功を一簣に虧くが如きこと有らしむべからず。故に努めて各地の資金調達局を鼓舞し、速に殘餘額の送金方を催促せしめ、東京又は香港に送金して軍用を助けしむる様、取計らはれたし。又已に全部を送金せる者に對しては、其の力を竭して重ねて釀金救済に當る様勸誘せられたく、此の儀懇願す。

専ら茲に致し、併せて大安を請ふ。同志各位へ宜敷く。五年一月二十日、孫文。

六二、討袁後鄧澤如へ

——民國四年——

1、澤如我兄竝諸同志公鑒

此の頃袁氏の勢力は一落千丈せる状態にて、其の帝制取消し以來、益々大局を左右する勢力を失ひ、内外交々迫られ、其の必ず倒るべきこと、殆ど已に問題と成らず。然れども吾人の責任は之れより益々重大となるに至るべし。蓋し辛亥の往事に鑑みるに、倒袁の成功は實に既往に於ける倒滿の成功と同一なるに依り、今後は眞の民黨に非らざれば、良く共和の維持に任じて、民國の振興に任ずるを得ず。一般官僚の復活は第二第三の袁氏を生ずるに異らず。

今廣東の事を以つて之を言へば、龍氏の如きは全く毒物にも等しきものにして、其の罪惡は決して、袁氏に劣らず。今四面より民革命軍の迫る所となり、而も獨立を宣布せるが、之れ辛亥當時の張鳴岐の偽獨立に同じく、尤も假借し難きものなり。弟別に已に各主任と面談し、彼等に諭して従前通り反對して怠るなからんことを述べ置きたるが、其の他の者に至つては衷心民黨に賛成し居る者に非らざるを以て、共和創造の功勞無く、民國保全の誠意無く、只眼前の利

害に迫られたるものにて、偶機會を得れば再び奮然として自己を主張するに至るべく、此の故に敢て信任し得ざる者なり。斯くて中國の前途を想へば、其の紛糾の解決容易ならざるを知るなり。故に吾人は艱難を避けず、努めて之に赴くの覺悟無かるべからず。弟等海外に在る者にとつては、其の活動は従前に比して容易となれるも、凡百の事は皆自己を中心とせざるべからず。又國是未だ定り居らざるを以て、須く吾人は侮りを防ぐに足る實力を有せざるべからず。即ち組織の改善、現在部隊の統御等に要する武力も皆死を懼れざる我が同志を以つて之れが基本勢力たらしめざるべからず。斯くて後始めて堅固にして揺がず、以つて一切に戰勝することを得べし。

南洋の同志は久しく薰陶を受け、且つ勇壯爲す有るに足る人士に乏しからず。此の故に専ら書を致して兄等に託す。速かに此等の人士を物色して東來せしめ、其の地點は尙未だ確定し居らざるも、豫め此の計畫を通知し置くにより、尊處の同志に於て之が召集に當られたく、前記の地點につきては近日中に重ねて通知すべし。更に之に軍事上の訓練を加へ、他日、中下級將校として選任するに便せしめられたし。此の策は其の關する所甚だ重要なるを以つて、幸に意を加へて忽にせざらんことを祈る。以上の他、敢死有爲の士は此の機に乗じて採用し、毒蟲猛獸

に對する直截適當なる工夫を講ずるに便せしむべきにより、併せて之が物色方配慮ありたし。廣東の事に關しては別に香港、澳門より詳細なる報告有りたるべきにより、茲には之を述べず。沿江各省及東北方面の事につきては、近日中に必ず何等かの好き消息有るべし。専ら茲に致して、近安を頌ふ。同志諸兄に宜敷く。孫文、四月十日。

2、澤如、卓平同志仁兄惠鑒

三月二十二日の惠書を誦悉し、英甫兄が熱心に軍資金を援助し、同人は深く欽佩し居る由を知れり。先きに已に屢々書を寄せて勸説し置きたるが、來書の趣によれば、將來廣東の大局定りたる後、彼に廣東省實業界の職と資格を與へ、更に援助を與ふべしとあり。寔に妥當なりと思考す。即ち現に軍事倥傯たる有様にて、羣賊の平定にも時日を要すべきにより、廣東の事の落着したる後、改めて此の事を協議處理するも、未だ晚しとなさず。

龍賊獨立を宣布して一時を騙らんと圖る。然れども其の用心は路人も之を見るを得べし。我黨は繼續進行して少も已まず。月來頗る有利なる消息に接しつつあり。想ふに此の點尊處に於ても亦當に聞知せられたるならん。更に各省の布置も進歩甚だ見るべきものあるを以つて放慮せらるべし。

専ら茲に復し、義安を候ふ。孫文、四月二十六日。

3、澤如我兄大鑒

五月十日の手書誦悉。收支各般の事項に關しては、財政部より詳細返答すべし。「ピナン」の資金につきては今日新政等に書を寄せ、別に怡保にも手紙を出して其の處理方を督促し置きたり。此の金は黨の公金なるにより、元々一地方の事に非らず。従つて兄等にも亦問責の權利有るなり。

某々政府は某々當局が袁氏に接近せる爲め、其の間に或る種の秘密關係有り。且つ其の要求せる所は既に承認せられたるが、公布せられたるもの外に別に報酬として定められたる四箇條の密約有り。斯る事情なるを以て、袁氏の求援も亦必ず實現さるるに至るべし。只黨人驅逐の一事に至つては外交的に狡猾なる一味の者は、以つて然りと爲し居らず。現に我輩は某々等に對して何等の希望をも有し居らざるも、此の地は國內と消息を通じ易く、歸國にも便利なる上に、現在漸く進行に着手せる問題有る爲、差支へ有りて彼等を去り得ざるなり。某國政府と其の國民の意見とは二つに岐れ居り、將來若し有事の際、政府が悪意を抱けば實行に困難を伴ふべく、此の點清の末年、元老が我國の革命に干渉せんとせるに當り、民黨が反對し阻止したる

前例と同一なり。

夫己氏は先月北京の總商會に意を授け、上海の商會に打電して、袁を皇帝とすることに對する同意を求めしが、此の事は其の後未だに發表せられず。或は國內の人心が交渉の失敗を憤つて激昂し居るを以つて、敢て遽に實行し得ざるが故ならん。

専ら茲に復して、大安を頌ふ。孫文、五月二十六日。

4、澤如先生臺翰

七日の手書と徵信録とは已に落掌せり。財政部に命じて詳細に對照調査せる上、別に返書を差上ぐべし。今回の資金調達に當り、獨り國の爲め黨の爲めに艱難を冒して巨款を集められしことに對し、十餘年來の心復の交りを忘れ、兄に對して言辭に盡し得ざる謝意を表するものなり。兄は余を知ること深き者なれば、必ずや能く余の微表を諒察せらるることならん。

昇彭、澤民の二君來訪し、携へ來りたる手書も亦閲讀せり。會館の事に關する限り、海外の華僑を主と爲すものなるにより、其の計劃も博く衆意を採らざるを得ず。只だ未だ債務償還問題の決定を見居らざるを以て、更に此の問題を提出するは妥當に非らざるべし。一面兄の此の地に來るを待つて處置の方法を協議し度きにより、能く來り得るか否かにつき御通知願ひたし。

基金の額につきても其の節談合の上決定することを得べし。預金を以つて會館の費用に充つることは差支へ無きを以つて、暫く据置かれたし。朱執信の取扱へる費用は先きに既に本部に報告有りたり。南洋より公愼隆に送金し來れる金額と、本部より送金せる金額とは夫々詳細なる記載無く、收支を一括して記載し有るにより、財政部より明細書の送付を受くる考なり。周蘇羣分の金に對する明細内譯書有らば送付を乞ふ。

従軍せる華僑には紀念功章を與ふる考にて、既に人に託して之を鑄造せり。然れども之が鑄造と印刷とは共に手續を要するにより、二ヶ月後始めて全部を作製し得べし。仍つて譚盛將に書を寄せて、先きに澳門にて作成せる名簿の送付方を依頼し、名に按じて發給し、偏することなからしめられたし。已に債券と功章とを陳肆生君に託し、二等三十枚、三等五十枚を携行せしむることとせり。其餘は鑄造完成の上、重ねて送付すべし。茲に復し、併せて臺安を請ふ。孫文、二月四日。

5、澤如先生大鑒

英士兄の靈柩は本年五月十八日安葬するに決せり。而して之が爲の紀念碑建立と修墓、送葬、運柩等に要する諸費用は頗る多額に上り、豫算一萬元以上に達するも、當地の同志は皆極度に

窮迫し居る爲、法を設くるに由し無し。然れども英士は國の爲、黨の爲に鞠躬盡瘁して其の職に殉じたる者なるにより、死して葬むる無きは實に我黨の責任なり。故に黨内に於て七八千元を集めて葬費に充つることとし、已に各支部に書を寄せ、力を盡して之が調達を籌り、集まりたる金を調達局長に交付して、上海に送金する様依頼し置きたり。之れ死友に對する吾人の責任なるを以て、兄も亦必ずや之を辭せざるべし。而して各支部も必ずや之が爲に夫々其の力を盡すべきも、遅延して急に應じ得ざる虞れ有るを以て、英領の各同志には兄より書を寄せて催促し、他方先きの債券の端數より四千元を流用支出し、先づ之を上海に送金し、將來收入を得たる場合填補することとせば葬期を遅延せしむるが如きこと無かるべし。仍つて右様取計方懇請す。回示せられんことを乞ふ。併せて臺安を請ふ。孫文啓、一月二十八日。

6、澤如先生大鑒

十二月二日附貴書敬悉。新聞社と會館との設置につき各人等しく賛成し居る由、欣慰に耐へず。然れども華僑會館は一箇所のみ設置すること能はざるを以つて廣州、汕頭、厦門等の處にも當然分館を設けて進行すべきものと思考す。之が規則は近日中に草定して各地に分送し、以つて同意を求むべし。

先は右奉復旁々、公安を請ふ。孫文、正月七日。

7、澤如先生台鑒

茲に浙江省より特派されて専ら南洋の實業調査に赴く王孚川君（名は廷揚）と丁心耕君（名は福田）と有り。貴地にも赴きて觀光する由なるを以つて、特に紹介するにより、可然應待し、導いて一切を觀せしめ、且つ貴地と隣接地の實業家とに紹介して、詳細なる調査をなさしめられたし。斯くすれば將來歸國後報告して政府を鼓舞し、實業を振興し、華僑を保護する上に於て必ずや大いに助けとなる所有るべし。

専ら茲に敬達し、併せて台安を請ふ。孫文。

8、澤如先生大鑒

三月十三日二十九日の兩書と四月一日の執信に致せる書とは共に閱悉せり。債券の控と誓約書並に委任狀の控とは均しく財政部に於て受領し、返書を出して記録しあり。王孚川君は本と浙江省より派遣せし者、現に浙江督軍は交替せるも、地方人は依然華僑と聯絡して實業を經營することを希望しつあり。今回は兄が王君を應待せられたるにより、將來彼の歸國後は必ず感情の聯絡に資する所有るべし。徵信録は已に財政部に於て受領し、名簿も亦受取れるを以つて、

獎章完成の上は各地に分送すべし。黎總統に上る書も已に新聞社に交付して刊印せり。陳肆生君は緬甸在住の華僑にて、曾つて山東軍義軍團に在つて奮闘せる者なるが、其の解散後歸省するに當つて彼に託して新架坡に至つて兄に之を交付する様依頼し置きたるが來翰に依れば未だ受取らざる由、恐らく新架坡にて誤つて他處に持參せるものなるべきにより、新架坡の支部と緬甸支部とに陳君の行蹤を調査する様依頼し置きたり。茲に復し、併せて大安を請ふ。各同志に宜敷く。孫文啓、四月二十五日。

9、澤如我兄鑒

送金し來れる二千六百四十兩、上海銀參千六百五十一元四角五分は既に領收せり。此の金は英士の送葬費なるにより、黨名を用ひて領收書を發給せずして、其の家族より禮狀を書きて送附することと致したきにより、暫く此の書狀を保存し置きて領收證の代りとなされ度し。餘は後便にて。不取敢御返事迄。台安を請ふ。孫文啓、四月二十八日。

10、澤如兄大鑒

仲愷に致せる書を読み、已に各地に書を寄せ、總ての債券の發行を停止し、全部を回收せられたるを知り、敏腕に敬服せり。

只蘭領各地の債券は兄の取扱ひしものに非らざるを以つて、別に本部より人を派して回収し、林師鑿に之が援助方勸告され度しとの趣なりしも、林君は香港より重ねて上海に到り、次で又北京に赴き、現在尙未だ上海に歸來し居らず。兄は貴地の資金調達委員長なるを以つて、蘭領には間々直接本部より債券を受取りたる者有るも、其等受取人の姓名と其の號數とは皆調査し得べきにより、此の事の處理は結局兄に依頼するを以つて最も適當とすべく、回収せる債券は一箇所に保存し置き、法を設けて送り返し、其の數目も速に清算し置けば償還の際の障礙を免るるを得べし。而して此の二者は皆兄に非らざれば處理し得ず。仍つて各支分部の資金調達局長に書を寄せて此の事を委囑せられたく、此の件の處理につきて辭退せざらんことを望む。許鄧二君の手を経て發行せる債券と、本部より直接送附せるものとは、寫しを取りて全部尊處に送り、検査に便することとなすべし。而して此の事を處理し終りたる上は、速に上海に來られんことを請ふ。實業の前途に關し、多數の問題有り。兄と面談協議の上解決致し度く、希望至大なるを以つて、必ず來遊されんことを祈る。

公安を請ふ。不盡。孫文、九月十四日。

11、各支分部長並資金調達局長公鑒

敬啓、茲に鄧澤如君に依頼し、債券の受取證と數目とを整理することとせるにより、各地の債券受取證にして已に發賣せるもの分は、某處に若干を送り、其の經費若干を要したる旨を夫列記し、控へと共に鄧君に渡し、賣りたるも未だ其の金を送り居らざるものも同時に鄧君に渡して數目を明かにし、又未だ發賣し居らざる債券も亦速に鄧君に交付して、本部に送り返し、償還交渉の準備に便せしめられたし。各地共此の方法によりて適宜處理されんことを祈る。併せて公安を頌ふ。孫文、九月十四日。

12、澤如吾兄臺鑒

茲に湖南省の同志が錫鑛公司を組織し、湖南全省の各錫鑛中最良なるものを選んで採掘せんとし、且つ華僑の投資を希望し、南洋同志の自ら來つて各鑛山を視察し、最も適當なるものを選択決定せる上にて、採掘に着手すべしとなしつあり。此の事は國家の爲にも有利なる事業にて、民間事業の興盛の基ともなり、南洋には錫採掘を志望し居る者多きを以つて、其の宿望に酬ゆべきものとも思考さるるにより、兄に於て諸同志と協議し、要人を推舉して速に歸國せしめ、以つて他黨に先を越さることなからしめよ。茲に湖南の同志より送り來れる仔細を抄録して送附す。又此等の各鑛山は均しく現經營者と商議して引續ぎ得べきものなり。此の書面に到

着の上は直ちに返書を賜りたく、以つて弟より湖南の同志へ答復するに便せしめられたし。大安を請ふ。孫文啓、五月二十九日。

13、澤如我兄大鑒

十月一日の來書は先日領收し、先きに送り來れる、臺帳も已に受取り財政部に交附し置きたり。功章と賞狀とは受領者紛々として來り、當地には已に現物無きを以つて、先日已に東京に手紙を出して請求せるにより、不日送附し來るべく、之が到着の上は直ちに分送致すべし。山口の外資は當地に於ては未だ受取り居らざるにより、想ふに鄭鶴年が着服したるものならん。書翰を以つて該地に其の旨通知せられたし。

更に當地の事情の中、兄に告ぐべきものは、先月胡寥の兩君を派して入京せしめ、一つには黨務を主持し、一つには華僑に對する債務の償還方を要求せしめんとせり。偶々唐君入京して外交部の職につきたるを以つて胡寥の兩君は兄を新架坡の領事に推薦せるが、其の後唐は帝黨の攻撃を受け、辭職して上海に歸り、展堂も同時に歸來し、仲愷を京に留めて債務償還の事に當らしむることなれり。然れども此の事は必ずや段氏の欲する所に非らざるべく、未だ拒絶の意志を明示せざるも、已に屢々閣議を開きたるを以つて、或は成議有りたるやも知れず。若し

萬一資金無き爲め拒絶せらるるに於ては、四川河底の砂金採取權を要求する考なり。川省の砂金が其の産額極めて多く、久しく外人の垂涎措く能はざるものなることは、兄も亦聞く所ならん。此の外、黨務關係のこととしては、各地に於て國民黨復歸を求め居り、弟も之が決行を決意せるも之が爲の規定と手續とは完備せざるべからざるを以て、費用も自然少額たり得ず。現在國會に於ては多數を占め居るも、各省會は第二革命後、已に各地方長官に依つて遺す所無く蹂躪せられたる爲、重ねて經營するに非らざれば不可なり。即ち湖南正誼社の成立を見たる外他は尙闕然たる状態なり。此の間の窮状はも兄之を諒知せらるることなるべし。若し復黨を實施することとなれば、各省には分部を設くる必要あり。従つて之に要する交際費も少額なる能はず。然るに軍隊の解散と軍事の停止との爲に募債してより後は、當地に於ては僅に在米華僑よりの送金によつて融通し居る状態にて、而も各種の費用と支出とは頗る巨額に上り居り、此の間の衷情は兄は外部の人に非らざるを以つて告ぐるも差支へ無きなり。東京本部の各同志は均しく已に上海に歸り、或者は暇をとつて歸省せり。又數日來既往二ヶ月間に處理したる各般の事の事情を書面に認めて各地に送り大要を知らしむること爲し居るに、より、人を分つて復寫すべく、數日後には新嘉坡一帯にも送付し得べし。

茲に復し、並に臺安を請ふ。孫文啓。

追而前便に於て、兄の來滬を請ひ、各事を協議すべきことを依頼し置きたるが、兄若し暇有らば速に來らんことを望む。

14、澤如兄鑒

本月五日尊處より耀平兄に渡し、臺灣銀行を通じて送金し來れる五千元は已に領收せり。明細書の到着を俟つて財政部より領收證を發給すべきも、不取敢茲に返書を寄する次第なり。臺安を頌ふ。孫文啓、十月十九日。

六三、討袁の事を論じて鄭螺生等へ

——民國四年——

1、慎剛、澤如、螺生、源水先生並各同志大鑒

袁氏某某と密かに相結託し、昨日要求條件の悉くは已に通過せり（其の第五項も撤回せるには非ず、只懸案と爲し、後日祕密談判によつて承認し、以つて人の耳目を避けんとするものなり）袁は朝夕帝たらんことを思ひ、已に北京の商會に意を授け、打電して上海の商會の意見を詢ね

たる有様にて、中華民國の名義は將に消滅せんとしつゝあり。之が爲に國內の不平の聲は甚だ烈しく、袁の部下たる馮段の輩も亦反對を表示し、其の意は詰問の電文を見るも知ることを得べく、更に此の事は清末の鐵道國有騒動に較ぶべきものにて、容易に全國を激動し得べきにより、我黨としては逸すべからざる機會なり。沿江の數省は一兩年以前より極力計畫準備しゐたるが、今や已に運動を開始せり。故に現在機會と人心と共に相應するの狀態にて、黨の要人は已に險を冒して深く内地に入り、急に發動せんとしつゝあり。成敗は此の一舉に在るを以つて、我が同志の援助を懇請す。英領の勢力は強弩の末となり居るも、此の時に當つて圖らざれば形勢料り難く、已に派し置ける人員と、布置しある機關と、已に活動しつゝある軍隊並に會黨は共に驟に維持收束し難き狀態なり。仍つて此の實情を心有る同志に告げ、共に極力籌畫して余の期待に副はれんことを請ふ。専ら茲に致して公安を頌ふ。孫文、五月十日。

2、螺生、源水、慎剛、怡頭、熾三、道舜列位同志大鑒

近來國內に於ける袁賊の信用は大いに失はれ、又歐洲には戰亂あり。之れ定に我黨の大業を恢復すべき機會なり。幸に我が海外同志は熱心にして懈らず。故に望む、兄等能く力を竭して資金の調達に當り、以つて軍需を救済せよ。

先きに資金調達規定を送附し置きたるが、惟ふに已に覽に達したるならん。今回は從來の失敗に鑑み、最も統一的方法をとつて紛岐することなからしめ、又事後の衝突を防ぎ、對内對外共に完全なる美果を擧ぐる意圖なるも、唯慮る所は、舊日の同志にして未だ此の點に考へ至らざる者が、驟に一方的計畫を遂行せんとし、海外に出でて資金の調達に當ることにて其の用心の盡くが非なるにはあらざるも、事實に於ては何等裨益する所無きなり。現在本部の資金調達總局は南洋、米洲等に夫々分局を設けて調達に當らしめ、集りたる資金は全部直接本部に送金し、弟親ら領收證を發行して證據となすこととせるを以つて、他種の名義を用ひ、未だ本部の承認を経ざるものと、本部發行の領收證を有せざるものとに對しては、將來とも一切責任を負はず。仍つて茲に通知するにより、同志各位へ傳言有りたし。専ら茲に致し、併せて大安を頌ふ。孫文、九月十一日。

六四、日支交渉に關し北京の學生へ

——民國四年——

手書を閱覽し諸君が勤學の時に當り尙國を愛ふることを忘れざるを知り、頗る感佩せり。此の事

に關しては各方面よりの來書頗る多きも諸君之を言ひて最も眞摯溫健なり。然れども惜い哉諸君等は未だ交渉の内容を知らず。之を知らば來書に言へる所と必ず同じからざるべし。之を言ひて憤慨するの情は弟と異なる無し。蓋し弟は平日國家を愛し平和を愛することに於て人後に落ちざることを自信し、常に重大なる犠牲を拂ふことを惜まず。故に第一革命に當つては職を退きて衰を推し、以て流血の禍を免れ、張方の難には身自ら都に入りて之が爲に宣言を解き、十年政治に預らず、國人をして専必彼に信託せしめんとせり。即ち一ヶ月の東遊も決して嘗に袁氏の爲にのみ游說せしにあらざるなり。然れども宋教仁暗殺事件發生するや、弟翻然として彼の奸人にして恒情を以つては測り得ざる者なることを知り、且つ必ず共和を破壊する心有り、然る後、惡に動くに至るべきを思ひ、此の故に一念討賊を主張し、愛國の故を以つて重ねて平和を愛すること能はず。而も彼は戰勝して驕り、益々忌憚する所無く、此の二年來、倒行逆施せざる無く、國人虐政の下に憔悴し、言狀し得ざる状態なり。其上歐洲に戰爭ありて東顧の違なきや、間隙に乗じて帝號を僭稱し、助を日本に求むるに至れり。此の度の交渉は實に彼より之を請へるものにして、日本人の條件を提出せることに對しても、彼は相當の報酬は却け得ざることを知り、悉くを祕密裡に處理せんとせるものなるも、一度び外字新聞が之を發表するや、輿論沸騰し、彼と親しき段

馮の如きも亦出でて反對し、仍つて遷延せざるを得ざることとなり、日本人が其の強硬なる態度を増加したる後之を承認し、國力を以つて如何とも爲し得ずとの口實を得んとせるものなり。日本よりの要求條件は、山東、滿洲、東蒙、福建、漢冶萍の鐵、石炭等皆利權の重大なるものなるも、袁は此等に對し最後通牒を受取らざる以前に於ても已に左程反對し居らざりしなり。第五項に至つては我國を全く之が爲に第二の朝鮮たらしむる城下の盟に等しきものにして、局外者すら訝る所のものなり。而して此の項を懸案たらしめし原因は、日本が國民に戰意無きを知り、且つは國際上宜しく圓滑なる手段を取るべきものなることを知り、爲に假に讓歩して他日の協商に俟つを上策とせるが爲なり。然れども袁氏の回答文中に尙左の一節有り。

「第五條の五項（顧問、兵器、學校、病院、南滿鐵道、宗教等に關するもの）に對し、日本政府の提案を承認す。蓋し民國政府は日支兩國永遠の平和を望むものなるを以て、此等一切の懸案の速に解決されんことを願ふものなり。」（萬朝報、十一日）

山東、滿蒙、福建に關する二十一箇條條件は日本の急ぎ得んことを欲する所のものなるも、之が承認の速無き爲、暫時讓歩するものにして、之が攫取の速かならざるを恐るる心に於て何等の變り無きなり。上海の大陸報に言ふ、「北京の電報によれば日支條約には公布せるものの外に四箇條

の密約有り」と。蓋し露支密約の先例に倣へるものなり。日本の新聞も亦言ふ、「今回の要求條件は條約と附屬公文と宣言書の三種を以つて拘束せられたるものなるも、條文中の一部分は支那政府の希望に従ひ、密約となして之を公布せず」と。（十二日、時事新報其他）以上によつて觀るときは、袁氏は帝位を僭稱せんが爲に、甘んじて國を賣り、禍首罪魁となることを辭せざるものなり。異人任傳に「國は必ず自ら滅び、而して後、人之を滅す」とあり。故に國有る者は常に自ら其の國を愛し、侵略併呑も其の力の能ふ所を視て之を爲す。然れども大盜室に在れば取るが如く携ふるが如く、爲に禍本を清め得ずして外侮を扞ぐ能はず。此の故に彼等は我國を擾亂せんとするなり。仍つて一致して國の爲に盡さんことを思ふも、相去ること萬里にして如何とも爲し得ず。而も果然上海より消息あり、北京の商會が袁を帝に推すことにつきて上海の商會の同意を求め來りたる由傳聞す。久しからずして王莽と「ナポレオン」三世との故事を重ねて茲に實現せんとするなり。嗚呼、無數の犠牲を拂つて始めて獲得せる民國の名も亦之が爲に滅びんとす。尙何をか言はん哉。辱けなくも來書の獎飾を承け、更に責任を加ふるものあり。謂ふ國歩艱難なる民國を坐視して其の沈淪を致すべきに非らずと。茲に復す。幸に弟の不敏を責むること勿れ。學安を頌ふ。孫文。

六五、馮國璋へ致して秦毓璠の釋放を請ふ

——民國五年——

華甫先生督軍執事

東南の柱石たること久しく、賢勞に感服す。旌麾に咫尺し、未だ拜眉を得ず。玆に啓するものは、共和再造以來、諸般の事に亘つて更新し、共に積弊を除かんとし、此故に黎大總統は先づ釋罪の令を頒布し、執事にも亦屢々囚徒釋放の擧有り。江蘇の政治犯は次第に赦されつつあるも、同じく江蘇の獄に繋がるる秦毓璠君は、獄吏尙未だ報告要求せざる爲に、猶自由の惠を受くるに至らず。秦君は先きに南京總統府の秘書たりしを以て、弟略其の品性を知る。其の人、名門に長じて行修頗る慎む者なるも、反對者の讒に逢ひたる者なり。故に其の至らざりし所につき重ねて取調べ相成度し。秦の家族の涕泣して來り告ぐる所に據れば、某某なる二人の村人あり流言を散布して私怨を晴しむる由なり。今其の印刷物一枚を送附すべし。

次に秦君に若し公金横領の罪ありしものならば、程前督軍は法によつて必ず徒刑と罰金とを併せ科すべきものなるに、内亂罪に處したるは何故なるか、之れを以つても當時の法廷の是非を窺ふ

に足るなり。且つ江西、南京の往事に徴するも、反對の聲有りし爲、某は逃亡し、某は席捲し、屢々隨意專斷の府令有るを見る。若し秦君にして兵事に附和し、今に及んで非法の誣妄に遭ふ者ならば、克強協和輩の如く率先して艱を構へし者は、益々大罪に處せらるるを免れず。而も民國の帝制を傾覆せる黎大總統と執事が猶其の罪を免るるは寬嚴稍不倫なりと言はざる可からず。故に秦君が尙蘇獄に繋がるるは、必ず未だ其の獄吏の申請の能く執事に及ぶ能はざるに因るものならん。仍つて若し此の進言に依りて彼の省釋を命ぜらるるに於ては、秦君の一身は永く明德に感銘すべく、一般報國の士も亦益々奮服するに至るべし。

秦君の同村人は未だ子孫百世に至る迄其の居を同じうするを以つて、數代不解の深仇を造り、數十百年報復循環の端緒を開く可からざるを知らず、秦君の獄中に瘦死するは大錯を鑄るものなることを知らざるなり。巷間聞く所によれば民國三四年の頃、某は故郷に於て父の喪儀を營みたるが、其の儀たるや頗る盛大にして四方より來觀する者有り。然るに當局が秦君を蘇獄より引き出して南練兵場に於て斬首すとの報道喧傳され、無智の男女の出でて快心の報を探ぐらんとする者極めて多し。仍つて秦君の前過を反問せるに、革命當時私産を差押へたることと市街擴張の爲に某なる者の垣根を破毀せるが爲なりとの事なり。斯る理由の爲に之を殺すは甚だ苛酷に過ぐる

嫌有り。今回若し仁鏡高燭して、秦君の小過を恕し、罪恨共に消ゆるを得せしめば、百年の後に至る迄、名賢の大惠を忘るることなかるべし。勛安を頌ふ。不備。九月十九日。孫文。

六六、黎元洪に致して顧問を辭す

——民國五年——

手諭を得、身に餘る賞揚を辱うし、且つ囑するに高級顧問を以つてせらる。執事の仁徳は萬方を蓋ひ、憂國の至誠は天下の共に見る所なり。文、匡濟を慚ぶと雖、隱淪を志す者に非ず。況んや艱屯の秋に在り。實に風雨同憂の誼有り。豈建設の始に當つて微力を致さざらんや。國實に事あり、謀つて庶人に及べば、文必ず其の愚慮を竭して、以つて高深を助くべし。然れども顧問の鴻號に至つては、之を受くれば任重くして才足らざるの愧有り、評者或は尸位素餐の譏あらん。仍つて敢て此の悃誠に鑒み、成命を收回せられんことを請ふ。風に臨んで遙想し、恐懼に耐へず。敬んで鈞安を請ひ、伏して垂鑒せんことを祈る。孫文。

六七、國內と國外の同志へ通告する書

——民國五年——

一、全國各同志鑒

數年無音に打過ぎ相思殊に切なり。雲海互に隔て思慕維れ勞す。幸に聲氣相同じく、時時感應す。上海に返りてより、終日軍書の事に執筆し、信書を以つて起居を候ふに暇無く、殊に遺憾なり。然れども各同志愛國の誠は、銘記して未だ嘗つて懷を去らず。〇〇の國に盡して熱心なることは、黨内の起居にも必ず忘れざる所なり。

弟茲に謹んで六月以降の我黨の目的と事務進行の大略とを概括して同志に告げん。

袁逆自ら斃れ、黃陂任を繼ぎ、約法を恢復し、國會を再集してより、我黨は停戦を宣布して、我黨の革命の志が護法に在りて、利の爲にするものに非らざることを示さざるを得ざるに至れり。黎能く法を守れば我黨の目的は已に達せられたる譯なるを以つて、山東、廣東及各路の軍隊に令して一律に戦を停止せしめざるべからず。段氏内閣を組織し、我黨の數人が其の閣内の地位を占めたるも、之れ弟の欲する所に非ず。唯我黨の同人が固く結束して解けず、純然たる

政府監督の主義を取り、時機を俟つて我黨の政策を實行せんことを欲する者なり。故に月來の事務も黨務の擴張を主としつつあり。現に在京の議員と各地の同志とは常に國民黨復歸の説を唱へつつあり。國會議員にも尙國民黨の籍に屬する者多く、間々不健全なる分子有りたるも、今回の變亂後誠を竭して悔悟せる者多し。故に先月胡漢民君に托して都に入つて一切を支持せしむることとせり。而して昔日の進歩共和の兩黨中の一部は深く我黨の用心堅固にして、至公無私なるを信じ、日に相接近して合併を圖謀するの議有り。唯北京の政争至烈なる爲、之に及ぶ暇無きなり。現に弟は黨務擴張を計らんが爲に、衆議に循つて復黨の準備を爲しつつあり。然れども其の手續は完備するを要し、之が爲の經費も多額に上るを以つて、先日各支部に通告し、重ねて黨員より毎月贖金せしむることとし、入黨の基金をも徴收することとせり。然れども勢力の消長より見て、依然杯水車薪の恐れ有り、擴張計畫の實現を助くるに足らざるを以つて、此の點兄等の援助に俟たざるを得ず。

次に華僑の債券償還を要求せんが爲に、民國二年以降我黨は、袁氏が法律を無視し、民國を破壊せる事に對し、日として之が討伐を職志となさざること無く、各同志に依頼し、家を毀つて相助し、遂に之が徹底的達成を見るに至りたるが、數年來資金を募集し、屢々巨額に達したる

を以つて、今共和の再造せらるるに當り、政府に之が償還を請求し、原議に符合せんことを期する考へなり。仍つて昨日已に廖仲愷君より、黎總統と財政部とに向つて、金額に照して償還せんことを要求せり。然れども中央の財政は頗る窮乏し居り、先きに日本より借款せる五百萬圓も數度の政變によつて今や殘餘無かるべく、今又我黨の永年の巨款を償還せしむべく交渉中なるにより、恐らく之が回收を速に實現せしむることは不可能なるべく、仍つて之に代るべき優先的利權を要求して、我黨に屬する華僑に缺損を來さしめざる考へなり。更に又各種の實業を興す計畫あり。即ち停戰の宣布後、弟は實業の經營に着手し、以つて國內産業の振興を期し、利益の外溢を杜ぐ考なり。弟の初志としては先づ銀行を經營し、以つて各種實業を振興せしめんとするものなり。只其の事は大事業にて、大資本を要し、規則も整備し、規模も宏大なるを要するを以つて、現在之が計畫協議中なり。弟は此の事が成就して一つには華僑の爲替に利し、二つには華僑の儲蓄に便し、三つには各種實業事務の之によつて解決されんことを望むものなり。

只之が爲の資本の調達は容易なることに非ず。各地の同志に於て集め得る資金が合計幾許に達し得るかを豫め計算し計畫せんと欲するを以つて、兄等先づ貴地に於て集め得べき窮極の資金

額の豫測額を速に通報ありたし。又目下華僑にして歸國せる者は、常に職業無きに苦しみ、内地の黨人にして自活し得ざる者も亦多きを以つて、適當なる法を講じて安住せしむる必要有り。故に先づ内地の礦産中、其の産額最も多き一二區を擇んで之を經營し、更に長江一帶に於て地を擇んで開墾する考へなり。若し經營宜しきを得ば必ず大利を博し得べく、現に已に人を派して一切を調査せしめつつあり。稍見込立ちたる上は重ねて報告するところあるべし。

次に我黨は早くより上海に完全なる機關無く、爲に世人は我が黨の用心と行事とが國利民福を謀るに足るものなることを知らず。善良なる政策有りながら、之を宣達して國人をして信仰せしむるに由無きは、最も遺憾なることなり。仍つて之が建設を企圖し、我づ我黨の信用を鼓吹することとせるが、昨今各地に宏大なる機關紙を設立せんことを要求する者多きも、徐朗西君經營の民意報を擴張して、完全に我黨の意思を代表し、我が黨の政綱を發揮し得るものたらしめんとしつつあり。唯、萬の資金を以つてしては其の完備を求め得ざるを以つて、兄等に於て代つて其の資金を募集せられたし。之が株式募集規定は近日中に印刷して送附致すべし。

上海に華僑會館を設立して、華僑と内地人との交際機關たらしめ、商工業者は之を以つて調査聯絡の場所とし、内地の各種天然資源と生財の機會とを知らしむることとし度し。斯くすれば

外人に機先を制せらるるが如きことなかるべし。而して其の會館の規模は出來得る限り宏大に組織は出來得る限り完備ならしめ、海外の華僑が歸國したる際は問津する所有らしめ、務めて海外華僑の財と智とを合して、祖國の利源開發の目的を達せしめざる可からず。將來之が爲の規定を作成したる上は送附申すべきにより、各地の同人は協力して之を成されたし。

以上の各項は我黨の近日來の計畫中同志諸君に告ぐべきものなり。現在時局逼迫し、民國の基礎危きこと累卵の如く、之が奠定を謀るも第一人の力を以つてしては能くし得る所に非ず。従つて同志の協助に俟たざるを得ず。仍つて煩瑣を避けず、茲に種々懇望せる次第なり。代つて策謀し、速に良果を收め、以つて國家を裨益せられんことを乞ふ。

中國の現状は安寧なるが如きも、袁の同類は猶遍く各地に伏在し、張倪等の武人は敢て國政に干與して妄肆甚しく、前途遙々として歸着する所を知らず。而も内閣は其の職責を盡さず。實に深憂すべき状態なり。念慮せられ居ること存じ、併せて茲に通告し、並に台安を請ふ。孫文。

2、中華會館列位、郷先生大鑒

久しく山斗を仰ぎ景慕殊に深し。先年渡米せるも國事繁忙を極め、克く道を繞つて南州に至り、

諸子に従つて遊んで切磋の益を得ること能はず、今に至る迄猶以つて遺憾と爲す。

昨日朱伯元君歸來し、備さに高義を述べ、資金の調達を力助け、以つて民國を救済せられたるを知る。今共和の再造されたるは、之れ諸君の擁護の力によるに非らざるは莫し。更に聞く、造船會社設立の議有りと。航業と工業とは相互關係有り。之れ弟の深く感佩する所なり。

弟、夙昔より天性質直にして、二十年來只救國を知りて其の他の事を知らず。滿虜已に除かれたるも、中間復袁逆の變有り。爲に國人流離顛沛して控告する所無きに至る。弟之を憂ひ國人を率ひて討伐し、隨處隨起、數年未だ嘗つて逸豫せず。幸に天、中土を相して袁逆自ら斃れ、黃陂法に依つて任を繼ぎ、約法を恢復して重ねて國會を召集し、仍つて弟は罷兵を宣布し、以つて革命の目的の護法に在りて、利の爲にするものに非らざることを示せり。而して黎能く法を守れば目的は已に達せられたる譯なるを以つて、各路の軍隊に令を發して一律に戦を止めしむる必要あり。一方在野の同志を結合して政府を監督するの主義を取り、他方商工の各事業を經營して國利民福を圖らざる可からず。茲に近年計畫しつつある諸事につき、其の要旨を擧げて諸君に告ぐべし。

其の一、停戦後弟は實業を振興して利益の外溢を杜ぐ考へにて、先づ銀行を經營し、依つて以

つて各種の實業を獎勵する考へなり。此の事は大事業にて、必ず須く大資本を集むる必要有るを以つて、現在之が協議中なり。若し此の事にして能く成就し得ば、一つには以つて華僑商人の爲替取組に利するを得べく、二つには其の貯蓄に便し、三つには各種實業の發達に資することを得べし。而して其の株式の募集は華僑の友人より之を始むる考へなるを以つて、將來規則編定の上は直ちに送附して調査決定に便すべし。

更に歸國せる華僑は常に職業無きに苦しむを以つて、之が安住の法を講ずる意味に於て、内地の鑛山中産額最も多きもの一二區を擇んで採掘を開始し、又長江一帶に地を擇んで開墾する考へなるを以つて、經營宜しきを得ば大利を博し得べし。適當なる人を派して調査せしめ、一應の見込みつきたる上は重ねて通知すべし。

其の二、上海に華僑會館を設立して、華僑と内地人との交際機關たらしめ、商工各般の事業は之を以つて調査聯絡所たらしめ、華僑をして各種の天然資源と、生財の機會とを悉知せしめ、外人に先を越さることなからしむる考なり。而して其の會館の規模は必ず宏大たらしめ、組織は必ず完備たらしめ、歸國せる華僑をして問津する所有らしめ、務めて華僑の財と智とを合して、祖國の利源開發の目的を達せしめざる可からず。仍つて將來規則決定の上は、各地に送

附致すべきにより、同人協力して之を成されんことを望む。

其の三、共和建國以來已に五年に及ぶも、中間亂離れて殆んど霸墜し、人民の國體を頑視すること秦越人の肥瘠を視るが如く、漠として相關せず。善良なる新聞紙を得て之が爲に鼓吹指導するに非らざれば、危険は依然として去らず。此の故に現に一つの大新聞社を設立し、一には人民をして共和の世界最良の政治たるを知らしめ、二には人民をして人種の貴ぶ可きを知らしめて、從來の如く放棄して他人に蹂躪するが如きことなからしめ、三には力を竭して實業を調査し、華僑歸國の案内たらしむる考へなるを以つて、之も株式募集規定刊行の上は郵送致すべし。

以上の三事は均しく現在の切要なる計畫なるを以つて、力を竭して之が爲に協助し、速に良果を收めて國家を裨益せられんことを切望す。

更に現在の中國の現象は表面靜穩なるが如きも、袁氏の同類は各地に伏在し、張倪等の武人は尙敢て國政に干與して妄肆甚しく、前途遙々として歸趨する所を知らず。而も内閣は其の職責を盡さず寔に憂ふべき状態なり。思念せらるること存じ、併せて通報す。時に好音を惠まれんことを請ふ。専ら茲に致し、並に公安を請ふ。孫文。

六八、黄克強先生の逝去を通告す

——民國五年——

各支分部同志均鑒

拜啓陳れば、黄克強先生が、同盟會創立以來、文と事を同じうし、艱難に奔走して今日に至れるは、凡そ我が同志の均しく知悉する所なり。然るに先々月國慶日、突如胃中血管破裂の症を患ひ、吐血數盃にして暈絶時餘に及びたるを以つて、直ちに獨逸人醫師克禮氏ケルを招きて診治せしめ、其の云ふ所に據れば些したること無き由なりしが、其の後も依然胸膈に飽悶を覺えりたる所、先月下旬に至り、肝部腫大の徴候を發見し、三十日午後五時又忽ち吐血し、止らずして病勢極めて危急となりたり。次で醫師の注射により暫くして血は止みたるも三十一日の午前二時突然重ねて吐血し、醫師は再度の注射を試みたるが、旋で脈停り、氣絶えて復救ふ可からず。嗚呼哀哉。克強盛年にして稟賦素と厚し。今回の討賊には未だ比肩して力を致し、提携奮闘することを得ざりしと雖も、尙之れを他日に冀ひしに、遽に茲に凋謝す。國の爲、友の爲に悼傷百端なり。謹んで同志に告ぐ。共に之を鑒察せよ。孫文啓、民國五年十一月一日。